

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
1	1071	他に考える交通手段は自転車しかありません
2	1071	公共交通機関で移動可能な場所へは、公共交通機関で移動し、公共交通機関での移動が不可能な場合は、環境負荷の低い移動方法で移動することが望ましい。
3	1071	必要最低限の利用でした。
4	1071	公共交通機関をもっと積極的に活用する。
5	1071	公共交通機関が整備されれば
6	1071	自宅は山の中にあり、近くの小規模スーパーまでは坂道ばかりである。自転車に荷物を載せて移動は困難である。また、休日ごとに買い出しに行くときも(15キロメートル)、途中jrを利用するも駅までの距離が4~5キロとなり、重量物を持って移動は困難である。自宅から駅までバス等の公共交通機関があれば利用してもよい。
7	1071	近距離での、自転車利用の促進を行いたい。
8	1071	自宅から駅まで、駅から職場までが距離あり、乗り継ぎが2カ所あるため、電車通勤だと1.5倍の時間がかかる。また、電車の便が少ないため特に帰宅の際の電車の便に制約されるため、やむなく自家用車を使用している。電車の増便がないと使用しにくい。
9	1071	必要最小限
10	1072	平均値の2倍にはちょっと驚きましたが、居住地及び勤務地の交通環境を考えますと、それもやむを得ないかなと思われま。交通機関が未発達であり、生活に必要な各種施設及び勤務地が遠隔地にありますので。
11	1072	可能であれば公共交通を使用する。
12	1072	自転車でも可能なかぎり通勤したが、雨が降ったので自動車をを使用した。
13	1072	迷うことなく、神経を使うことなく、いやな思いをすることがなく、わかりやすい交通手段が望ましい。
14	1072	私は、車を所有しておりません。
15	1072	通勤は、ほとんど徒歩、電車、バスを使用しており出張のあるとき車で通勤している。休日は、地方都市であるため車がないと生活できない。公共交通機関の乏しい地域であるため車は止むを得ないと思う。個人より大会社において通勤バスの利用を促進されることが先決ではないでしょうか。
16	1072	田舎に於いては自動車 都会は電車
17	1072	燃費の良い軽車両を活用すること、特にバイクを利用すれば渋滞の影響を受けにくく、一石二鳥である。
18	1072	通勤に公共交通機関を使用できればCO2排出量が抑えられる。だが、現状の公共交通機関のダイヤでは使用することは難しい。
19	1072	理想は出来る限り公共交通手段利用。
20	1072	自家用車で行かなければ時間が掛かるところだったのでやむを得ない。
21	1072	できるだけ外にでないようにした。
22	1072	広島市内の公共交通網は基本的に垂直交通体系となっているため、市街地周辺地から周辺地への異動に公共交通を利用することは不合理な場合が多く、水平交通手段としてはマイカー利用もやむを得ない。
23	1072	大崎上島に住んでいる。島内での移動は限られた手段となる。移動の手段は徒歩、自転車又は自動車を使用するか路線バスとなる。路線バスは平日1時間に1本くらいで土日は減便となる。元気で暮らしている時は、一家に2台くらいの乗用車を所持しないと大変だ。
24	1072	目的地までバス利用の往復をするに所用時間は5倍以上となり合理的でない。
25	1072	中長距離の移動は、自宅が団地内でバス停が遠く、幹線鉄道までバイクを利用している。団地内の路線バスの停留所、便数が改善されればもっと公共交通を利用できると考える。
26	1072	私の通勤は自転車ONLY、妻の買い物は徒歩が殆ど、は高評価と考える。但し、平均月に1回の帰省はマイカー。帰ったとき、車がないと、田舎なので移動が困難なこと、2人乗ると車の方がJRより安上がりなのが理由。これを、JRに切り替えるのは難しい…。『望ましい交通手段の使い方』は、現状ではここまで…かな。
27	1072	ガソリンの高騰や環境問題もあるが、選択肢が少ない地域においては使用を控えるしか方法は無し。
28	1072	近距離の移動は出来るだけ車以外の交通手段を心構えが必要。
29	1072	我が家はそれほど頻りに車を使用している訳ではないので意外な結果です。
30	1072	休日ダイアリーのマイカー移動は1台に家族3人同乗しての移動なので、排出量は三分の一になると思う。マイカーしか交通手段のない場所なので、外出を控えるしか削減方法はない。
31	1072	通勤は、できるかぎり自転車通勤とし、業務等でも近場に行くときには、なるべく自転車を使用する。
32	1073	できる限り公共交通機関を利用する。
33	1073	今回は自動車等を利用する割合が高いものになりました。しかし、都市部と比較して交通機関の不便さや各店舗の距離が離れているなどを考えると妥当かなと思います。環境のことを考え、募金してます。
34	1073	近くに用がある場合で車が必要ない場合は使用する車よりCO2の排出の少ない交通手段を使うようにするとよ
35	1073	三輪バイク、バイクなど自動車により燃費のいい乗り物への乗り換え
36	1073	今回はたまたま自動車利用がありませんでしたが、環境負担の少ない交通手段をすすんで利用するようにし、利便性との関連も考え、さらに公共交通を利用すべきだとも思います。
37	1073	自動車の利用は必ず家族2人以上の場合に限って使用している。一人の場合は125ccのバイクで活動してい
38	1073	休日には、使わないのでこんなものでしょう。
39	1073	家族同時に動くことが多いので、車利用も仕方ないと思っている。自転車での買い物も自転車がごに入らないことが理由のひとつでもある。
40	1074	なるべく自家用車を使用せず、公共交通機関を用いるようにする。
41	1074	電車通勤
42	1074	近隣はなるべく自動車を使わないようにする。
43	1074	外出を控えれば、もっとCO2排出は減るだろうが、そうもいかないのが、なるべく公共交通機関を利用するよう
44	1074	公共交通機関の少ない地方への出張があるので致し方ない。
45	1074	今の職業柄、今の地域性を考えると現状のまま致し方ないと思う。
46	1074	心がけることが必要。しかし、つい車を使ってしまいうこともある。あるいは、高齢の親のためには、車を使いた

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
47	1074	なるべく公共交通機関を利用する。
48	1074	パークアンドライド。全駅には不可能でしょうが、駅に駐車・駐輪場を設ける。近い距離の移動は自動車の代わりに自転車を使用。自転車道路の整備。
49	1074	買い物に行ったりするには自家用車が便利がよい。 幼い子供を連れてバスなどに乗るのは周囲の目もあり大変である。 利用しやすい公共交通であればよいのだが。
50	1074	通常、やむをえない場合以外は基本的には車は使わないが、今回は引越しなどの特殊事情が重なった。
51	1074	たまたま、遠出もなくCO2の排出量が低くなったように思う。
52	1075	自家用車の使用をもう少し少なくできないか考えてみたい。
53	1075	TPOに応じて、バスなどを利用する
54	1075	できるだけ自転車
55	1075	結果的に見ると自動車はあまり使っていないが必要が無かったため。 近距離の買い物などの外出時にできるだけ自転車の使用を心がけたい。
56	1075	マイカー利用は過疎地には重要であります。 現在、過疎地は公共交通機関が利用できない状態にあり、また、買い物等も郊外に大規模な駐車場を設けて誘導している状況あるため、一歩家を出るためには、マイカーの存在は必須であります。
57	1075	自家用車の他に代替手段が無い現状では、他の交通手段を使うことはできない。後は外出回数を減らす事し公共交通機関を使うと、移動時間が多くかかり、目的地に到達できないことが多々ある。公共交通機関をもっとはりめぐらせば良いのだが、地方(田舎)では公共交通機関の発達は無理があり、どうしても自家用車等の個人所有機関に頼らざるを得ないと思う。
58	1075	公共交通機関に頼らざるを得ないと思う。
59	1075	自動車を利用するしかない
60	1075	単身赴任のため、自家用車の方が時間的、経済的負担が少ないため使用しているが、今後は公共交通機関も利用したい。
61	1075	私の生活圏の公共交通の利用環境は恵まれているが、休日の買い物等にはマイカー利用は不可欠である。また、地方においては一般的に交通環境に恵まれていない、つまり、マイカー利用に頼らざるを得ない方々が圧倒的に多く、今回のアンケートはそれなりの意義はあると思うが、現実とのギャップに疑義を抱くところである。しかしながら、地球温暖化防止などの環境保全に国民一人ひとりが関心を持ち、何かを取り組むということは必要なことであろう。当然、当アンケートは幅広く展開されているものと思いますが、
62	1075	通常の使用だが、もっと公共交通に利用転換できる部分がある。
63	1075	通勤はバス利用が望ましいが、終バスは19時と早く利用しにくい。
64	1075	公共交通機関を使うには便数が少なく、どうしても車移動になりがちである。ただ近くの移動には、できるだけ自転車、徒歩で行くよう心がけたい。
65	1075	妻のクルマ利用率が多かったのは、仕事の都合上一時的で、やむを得ないものであり、削減は十分可能。
66	1075	家族の中では、妻の通勤方法の改善が大きく必要と考えますので、列車へシフトさせたい。
67	1075	通勤に自転車を使用する。
68	1076	極力自転車を利用して行動する
69	1076	現状では、自家用車の利用は最小限であると考えています。
70	1076	目的地が近ければ徒歩、自転車(別途購入必要)での異動が望ましい。
71	1076	なるべく、自家用車の使用は、控えるべきである。
72	1076	車利用率を減らせばいいと思う。
73	1076	通勤は車を使わなければ出来ない状況であるので、今後もこのままの通勤形態で通勤を行います。土日で近距離の移動には自転車をを使うのが望ましいと考えております。
74	1076	地球環境のためには可能であれば移動に公共交通を使ったり、自転車利用がベストであると常々認識はしている。 しかし、毎日の通勤では公共交通を利用した場合、マイカー通勤に比べて3倍近く(2時間以上)時間がかかり(公共交通のダイヤ等による)、やむなくマイカーを使用しているの、5.0点とした。
75	1076	歩いていけるところは徒歩にする。
76	1077	通勤時の車利用を減らすことが必要であると思う。
77	1077	少くとも不便でも公共交通機関があるのであれば、利用すべきだと思う。
78	1077	現在所有している車を、電気自動車等環境に優しいものに換える。
79	1077	自動車を使用するにしても、もっとエコ運転は出来るのではないと思う。
80	1077	特になし
81	1077	望ましい交通手段は、公共交通機関ということは承知しているが、現在のバスダイヤでは通勤に支障がでることあり、協力したいが中々難しい面がある。残業がなく、定時に帰宅できればバス便もあり協力できるが、現状では帰りの最終便が早く難しい。
82	1077	市街での買い物や飲酒を伴う食事のとき利用する
83	1077	つつい車を使ってしまうが、できるだけ公共交通機関や徒歩で移動するように心がけるべきだと思います。
84	1077	マイカー又は公共交通機関を区別した取り組みのバランスに配慮する。
85	1077	過疎地や小規模地方都市の場合、公共交通機関はコストや利用率、利便率等総てが負の循環となり、結果的に不便あるいは公共的手段がない等の理由で利用できない。環境とコストは付きものであるが、今環境を考えなければならぬ以上、誰かがコストを負担しなければならない。都会の間は、地方の過疎や不便は努力が足りないからであり、補助金等の経費負担は必要ないと言っているが、その地方を過疎にしたり、人口減少させているのは都会である。都会に工場や商店、官公庁、大規模住宅等の施設を作り田舎からどんどん資源を
86	1077	公共交通機関が移動したい時間帯にないため、自動車に頼らざるを得ない。
87	1077	買い物は近場にもあるので、歩いていく等の代替措置を考慮してもよかった。
88	1077	平均値より低い、なるべく歩きたい
89	1077	代替手段(電車又はバス)利便性が悪くやむを得ない
90	1077	CO2を減らすには、自転車などを利用する。
91	1077	公共交通の利用が不便(便数、時間等)なので普段から自動車を多用していますが、今後は自転車の利用も検

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
92	1077	家が山の中腹にあり買い物等近くに店がないため車利用となる
93	1077	運行回数が多く公共交通機関が利用可能な場所へ1人で移動する場合は可能な限り公共交通を利用して
94	1077	自転車利用
95	1077	中山間地域に居住しており、自家用車以外他の交通手段がない。又、生活時間を考える上で移動時間を短縮することは非常に貴重。
96	1077	公共交通機関の発達度の未熟な地方都市では、車に頼らざるを得ない現状がある。地方都市ではマイカーに優る交通機関は無い。
97	1077	・通勤は鉄道とバスによる交通手段に変更することが最良。 ・近距離の所用は可能な限り自転車、徒歩で。
98	1077	通勤は1人であり公共交通のバスを利用している。マイカーの移動は家族での複数にほぼ限っているため、個人の効率は優先している。総合的には無駄が少ない方だと思う。
99	1078	できる範囲でエコドライブ心がけていきたい。
100	1078	極力、公共交通機関又は自転車等の使用を心がけるべきと考える。
101	1078	自動車の検査・登録業務で手数料を得ている職場が、自動車の存在を否定するわけにはいきません。デメリット(環境への負荷)ばかり強調されがちですが、公共交通がそれほど発達しておらず、また移動距離、移動時間の長い地方では自動車が必要な場面も出てきます。また、自動車という乗り物は「運転する楽しみ」を持ち合わせています。より環境への負荷が小さく、自分の好きな移動時間に移動できるための移動手段が必要だと思います。
102	1078	マイカーへの依存がかなり高いと自己診断していますが、なかなか公共交通機関への転換もできないところもあります。出来るだけバス等を利用しようという気持ちはあるのですが。
103	1078	今回の調査期間は、通勤で車を使うことが多かったことと、休日も外出しなかったことで、車の利用率が100%になってしまった。普段は通勤は自転車なので、その場合の数値が知りたい。 また、カロリー消費をもっと増やしたい。
104	1078	平均より低かったのはなによりです。 もっと自転車を使いたいのが空気と路上のほこりと排気ガス濃度が高いので、走行中くるしいのでこまっている。又、バスが多くの黒煙をだしているのも問題です。
105	1078	晴れた日は自転車 雨の日はマイカー
106	1078	自転車の利用が健康にも一番！！
107	1078	交通手段の変更は考えにくく、低公害車へ移行したい。
108	1078	よいと思う
109	1078	わかりません
110	1078	通勤時間帯のマイカーへの乗車率は運転者のみの車両が多くて人間の運送効率を考えたら非効率である。二輪車は交通渋滞を引き起こさないのもっと優先(駐輪場の整備等)されてもよいと思う。
111	1078	近場の用事の際は、できるだけ自転車や徒歩が望ましい。
112	1078	自動車、自転車
113	1078	公共交通がない場所へは、やはり自動車で行くしかありません。
114	1078	近距離では徒歩 休日の交通機関の利用
115	1078	現在の状況ではこれが精一杯。
116	1078	できるだけ公共交通、自転車で移動する。
117	1078	できるだけバスを利用する。
118	1078	公共交通を利用したくても、公共交通自体が存在しない交通空白、また、衰退して利用できない環境が多い地方都市に居住するため、どうしても自家用車に頼らざるを得ないが、もう少し利用縮減が出来るような自家用車の利用方法を考えたい。
119	1078	このあたりが実行できる範囲だと思います。 (年間3,000kmの利用ぐらいです。)
120	1078	クルマの使用はできるだけ使用しないことが望ましい。
121	1078	現在の居住地は、公共交通機関の利便性が低いので、自家用車に頼らざるを得ない状況であるが、自転車を利用することにより、その使用を抑えている現状では、妥当な数値と思われる。
122	1078	自転車・バスをもっと利用すればいいとは思いますが。
123	1078	通勤手段としてバス等の公共交通の利用が望ましいが、出勤手段はともかく帰宅手段において、残業後の遅い時間帯での利用とか、パート勤務の妻の場合、諸々の生活品購入の手段とかを勘案すると、現実問題として公共交通の利用は非常に困難である。
124	1078	マイカー使用は出勤、買い物が主な利用である。出勤については、公共交通機関の利用は少し無理をすれば利用は可能しかし、運賃の問題がある。買い物については距離的な問題等があると考えます。
125	1078	電車・バスの公共交通機関の運行ダイヤをJRのぞみのような定時パターン運行として時刻表を気にしないでいようにしてほしい。
126	1078	通勤に車を使わなくても、休みの日に使用頻度が高いことがわかった。近場に用事があるときは出来るだけ自転車を使うように心がけたいと思う。
127	1078	必要最小限の使用とし、なるべく乗り合わせるようにする。
128	1079	実家に帰った時と公用でしか乗用車に乗っていないのに自動車の使用率が高いのは納得がいけないですね(笑)
129	1079	現状ではこれ以上車利用を減らせないため。
130	1079	まあまあだと思う
131	1079	特に長距離はバス、電車を使う。
132	1079	特に乗車人数の少ない自家用車の使用はしない。また、不要な車の所有はさせないために、一人が複数の車を所有する場合は税金を高くする。
133	1079	自転車

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
134	1079	特になし
135	1079	できる限り車の利用を抑えているので、良いと思う。
136	1080	毎日の通勤の手段を公共交通機関か、もしくはバイクに変更する。
137	1080	ちょっとクルマに頼りすぎかなあとは思いますが。
138	1080	移動時間が平均より少ないのでまだCO2排出量は平均より少ないが半分でも移動手段を自転車に変えればまだ少なくなると思う。しかし、子供がまだ小さいので保育園の迎え等を考えるとなかなか移動手段を変えてし
139	1080	目的地によっては、自転車、公共交通機関の利用を考えていたが、調査期間内にはそれらを利用する機会が
140	1080	公共交通機関の利用が便利な地域(都会)では公共交通機関を利用する方がよいが、公共交通機関の不便な地域では自家用車を利用せざるを得ない。
141	1081	地方都市においては都市部に比べて公共交通機関が万全ではなく、どうしてもマイカーに依存せざるを得ない。徒歩移動には限度があり、唯一の交通手段のバスは便数が少なく、商業施設への便もない状況でありマイカーを使用している状況である。
142	1081	公共交通機関を使った方がいいのはわかっているが交通の便があまりよくないので難しい。
143	1081	徒歩、自転車、バイク、公共交通の利用が望ましいと考えるが、他の交通手段が無い、又は時間及びコストが過大になる場合はマイカーの使用もやむを得ない。
144	1081	思いの外CO2の排出量が多いと思う。
145	1081	自宅からの公共交通機関が存在しないこともあり、CO2削減の取り組みを使用と思えば、マイカー使用以外であれば、交通手段は自転車しかない。
146	1081	たまたま、自動車を_usingしてなかったが、公共交通機関へのシフトが必要と考える。
147	1081	公共交通を利用したいが難しい。やむを得ずクルマにしています。
148	1081	一つの場所で用事が済むように、複合商業施設に買い物に行く。出かける前に、道順を検討し最短距離でいけるようにする。遠距離は、自動車、バスなどを利用する。
149	1081	普通車から軽自動車に乗換えました。
150	1081	自宅から、目的地への公共交通機関が整備されていないため、現状ではやむを得ない。 山口市のような利用者の総数が小さい市では、公共交通機関(系統、時間が不便なため利用できない。)が発達しにくい環境にあり、また、それが公共交通機関の利用率を低下させる要因となる悪循環を繰り返している。
151	1081	自転車を有効に活用すればいいと思う。
152	1081	自動車を極力使用せず、近辺への移動は自転車を使用している。
153	1081	やや満足。
154	1081	地方は買い物一つでも公共交通ではたどり着かない。都市圏のように車を保有することが困難な状態(地価、駐車場等)とし、交通も王を公共交通機関でしか移動できない町にしなればいけない。大赤字であっても隔々まで公共交通のみの町を作り直しましょう。ガソリン500円として自動車を持てない状況にしましょう。
155	1081	マイカー以外の交通手段が無いのでそれ以外は考えられない。
156	1081	休日だと言うのに自動車にも乗らず旅行等にも行かずなんて情け無い人生を送っているのだろう、一度しかない人生なのに情け無い。 世間は景気が回復したと言っでは、海外予行など行っているらしい。飛行機はどれくらい燃料を使用するのか？ 3連休はなんのために法整備をしたのだろうか？ 国民が移動すれば経済が活性するからと言っていたようだが、 移動すればエネルギーが必用なのは当たり前である。 法律を変更してはどうだろうか。数年後は秋分の日を絡めて5連休になると言っていた。でも車に乗ることは社
157	1081	荷物があるため、クルマ利用率は低下できない。
158	1081	なし
159	1081	理想は自家用車よりは公共交通機関、自転車等へとシフトできるものはシフトするべきだと思う。しかし小さい子供連れや雨の時、公共交通機関の便数等で自家用車使用もやむを得ない場合が多々あるのが現状です。
160	1081	3.5kmと近距離の通勤であるにもかかわらず、原付を使用していることに問題があると思う。環境問題から言えば、自転車、徒歩等の交通手段にすればと思うが、実行に移っていない。
161	1081	荷物の搬送など、徒歩、自転車等に対応出来ない場合での自動車利用。
162	1081	まだ1歳になった子供がいるため、妻の交通手段は自動車しかありません。
163	1081	歩ける距離は歩く
164	1081	けっこう排出量があるものですね。
165	1081	やや満足です。
166	1082	よくわかりません。
167	1082	公共交通機関が発達している地域と違い、自動車は生活必需品となっている。税金等維持費も莫大かかっているため、自動車を使用しないと損という気持ちがあるところある。
168	1082	平均以下であるというのは予想外だった。
169	1082	買い物等比較的近距离での車使用のため、徒歩や自転車等交通手段をにできるだけ切り替える。
170	1082	休日は買い物で車を使用していますが、近くで済む場合は自転車を使ってみようかと思っています。
171	1082	郊外では、公共交通機関の使用は難しい。
172	1082	自転車を利用する。
173	1082	使用していないのでCO2軽減にもなる。
174	1082	2日間の調査期間中に自動車を使用しなかったため、Co2排出量もゼロであり、微々たるものであるが、交通環境の改善にも役立った。 可能であるならば、過度に自動車に依存しない交通手段を取ることが望ましいと思う。
175	1082	できる限り公共交通機関を利用したいが、地方都市においては利用可能な交通機関に限られるため、クルマに依存せざるを得ない状況である。公共交通機関等の利用促進のためには、利用しやすい路線、ダイヤ設定が

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
176	1082	自宅が高所の古い団地にあり、バスの乗り入れは全く不可能である。最寄りのバス停までも徒歩15分あり、本数も少なく日常交通としては使いづらい。自家用車とスクーターバイクに頼らざる終えない。
177	1083	優先順位の第一は、生活上の利便性。第二が環境への影響。経済性は、現在のところあまり大きな判断基準
178	1083	公共機関等の使用割合を増やす必要がある
179	1083	公共交通を使っていきたい
180	1083	平均とそんなに乖離していないので、まあ及第点では
181	1083	できるだけ、自家用車で移動するのをひかえる。
182	1083	引き続き頑張ります。
183	1083	これからです。
184	1083	できるだけ徒歩・自転車移動。遠方へは公共交通機関を利用する。
185	1083	作業方法がよくわかりません。co2排出量は「運輸関係エネルギー要覧」を見つけないと計算できないのですか？このワークシートに各自が入力すれば自動的に診断するようにしてください。
186	1083	最寄りの駅まで自転車、あとは、JR公共交通機関で職場までの通勤手段が望ましい。
187	1083	・近距離等での自転車、徒歩 ・公共交通機関の利用
188	1083	公共交通機関を利用したいが、JR宇野線の運行方法に不満がある。なぜ茶屋町駅で宇野線の車両に乗ったまま、20分も待たされなければならないのか？茶屋町駅南の瀬戸大橋線との合流するための線路の構造に問題があるのだが最初から宇野線を無視した設計にしている点が気に入らない。
189	1083	まあまあですか…
190	1083	パークアンドライドを活用した移動
191	1083	クルマ社会に依存している。環境影響を考えると考え直さないといけないと考えますが、生活がクルマ中心になっていて、すぐに行動ができないのが現状です。
192	1083	最寄り駅までの交通手段がないため、自家用車が必要であるが、8キロ以内では使用しない。
193	1083	議会と予算と業務が重なり合っているので取り組む余裕が全くない
194	1083	先週末は、車を利用することもなく生活できました。
195	1083	出来る限り公共交通機関、自転車を利用し、自家用車の使用は必要最小限に留める。
196	1083	近距離は自転車を使用
197	1083	クルマの使用は必要最小限にしている。
198	1083	自転車でも行ける場所もあったので、そこを改善すればもっと自動車を使用しなくてよかったかもしれない。
199	1083	公共交通機関のあるところは利用する。
200	1083	遠距離移動では、公共交通機関では不便なため、どうしても自動車使用となる。
201	1083	更に公共交通機関利用の可能性がある。
202	1083	単独での長距離異動があったため、効率が悪かった。
203	1083	なるべくCO2を出さないよう考えながら行動する
204	1083	最大限努力した。
205	1083	自転車と自動車
206	1083	車に乗らない休日も多い。車は買い物やレジャーの必要上仕方なく持っているという感じ。
207	1083	休日に出かける際にも、高齢者同伴時以外は、なるべくマイカー使用を控え、公共交通機関を利用するよう心がける。
208	1083	外出先のうち一つは荷物等があり、タクシー以外の公共交通機関の利用は困難であるが、もう一方は、公共交通機関の利用は可能であった。
209	1083	自動車からのCO2排出量がとても多いと感じました。
210	1083	近距離の移動は、できるだけ徒歩又は自転車が望ましい。
211	1083	自転車、徒歩でできるだけ行動する。
212	1083	平日ほとんど車を使用していないが、休日の大量の買い物に車を使用することはいたしかたない。
213	1083	できるだけ無駄な外出、車の使用を抑えているが、バイクの利用ができる場合は、それを利用するのがのぞましい。
214	1083	買い物など車に頼っているので、できるだけ徒歩又は自転車に切り替えることを今後検討したほうが良い。
215	1083	休日レジャーに出かける時には、ついつい車が楽なので、車に頼りがちですが、休みの日こそ、のんびり公共交通機関を使って出かけた方が、より地球に優しく、自分の健康にもいいのではないかと思います。
216	1083	基本的には自転車利用
217	1083	少し遠くても、同乗者がいないときはときは自転車などを利用する。
218	1083	できるだけ、公共交通機関を使う。
219	1083	・コンビニへはバイクでなく自転車を利用すべきだった。 ・田舎への帰省は交通機関がないため、自家用車の利用はやむを得ない。
220	1083	今回の調査では、クルマ利用率が100パーセントであったが、車以外の交通手段がない場所だったのでやむを得なかった。
221	1083	自宅から近隣の場所への移動は、徒歩又は自転車を利用することとする。
222	1083	使用していないので判断できない。
223	1083	徒歩で可能な範囲であれば、徒歩にすべき。CO2を出さない生活習慣を付けるべき。
224	1083	可能であれば公共交通機関を利用したい。
225	1083	街中は、自転車が一番健康的で、効率的だと思います。
226	1083	質問の前提が「直近の車利用」というニュアンスだったので、良く車を利用した日をわざわざ選んで正直に回答したまでのことである。車利用も、公共交通機関とタクシーを乗り継ぐことにより、かえって不便で費用も多額に上ること等からやむなく車を選んだことをを勘案すべきである。点数などで評価をするというのであれば、「休日の通常の車利用状況」という前提を設定すべきである。

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
227	1083	一日は自家用車の他に交通手段がなかったためやむを得なかったが、もう一日は(雨天とはいえ)バス、徒歩で移動が可能だった。普段は公共交通機関の利用に努めており、今後もそうしていきたい。
228	1083	買い物などに車を使うのを自転車へ替えることを考える。
229	1083	公共交通機関でいけるところは、できるだけそれを利用する
230	1083	妻は、通勤手段が自動車しかないが、私は、頑張れば、自転車でも通勤可能。
231	1083	近くには自転車等で出かけるようにしたい。
232	1083	自転車を活用する。
233	1083	できるだけ公共交通機関を使用する。
234	1083	平日は、交通の便が良くないため、公共交通機関が利用しづらく、また、子供が小さいため、通勤・通学以外に公共交通機関が利用しづらい。休日には双方の実家に変えることが、利用の殆どであり、代替交通機関はない。
235	1083	公共交通機関の利用しにくい地域に住んでおり、通勤等可能なものについては公共交通機関を利用している
236	1083	自家用車の使用は、公共交通手段によっては困難な場合のみとする。
237	1083	環境にやさしく、健康維持にも極めて有効な自転車利用を徹底する。基本的に、やむを得ない場合を除き、自動車の使用しないこととする。
238	1083	平均以上
239	1083	通勤は主に電車・バスを利用しているので評価できる。 休日は郊外に居住しているため、自動車を利用せざるを得ない。
240	1083	住環境(特に都市と農村)によって、交通手段における自動車の重要性が異なるので、一概に望ましい使い方を述べることはできないが、私の家は自動車が無くとも生活できる環境にあるので、自動車の使用は極力控え、自転車で行動するようにしたい。 なお、農村部では公共交通機関(特にバス)の衰退が著しいが、それが益々マイカー使用に拍車を掛けているような気がする。御省におかれては、使い勝手の良いバス運行システム等の開発に努めて頂きたい。
241	1083	家族(1)の車以外での通勤方法を検討する必要があるため、7.0点にした。
242	1083	ガソリン消費量が実際より多いように感じます。 本人は週15リットル、家族は週15リットル程度の使用が実績です。 本人の車は、燃費12km/l、家族は15km/lです。
243	1083	平均より高いのにビックリ
244	1083	家族でのレジャーは自家用車の使用はやむを得ないと考えるが、通勤、通学で利用しやすい公共交通機関の体制の整備が望まれる。
245	1083	交通の便があまり良くない場所に住んでいるため、車の使用はやむを得ない部分があるが、もう少し意識して自転車やバスを利用してもよかった。
246	1083	できるだけ自転車を利用する。
247	1083	もっと自転車を活用すればよいと思います。
248	1083	電車やバスを使うのが一番だと思う。一人で行動できる時はバイクを利用することで、環境への負荷も多少なり軽減されるものと考えています。
249	1083	極力公共交通機関を利用するのが望ましい。
250	1083	家族については、車でないと勤務できないので、改善することが困難である。
251	1084	もう少し努力して公共交通機関の交通手段を利用したいとおもいます。
252	1084	近い場所へは、なるべく自転車や徒歩で行く。
253	1084	少し車を使いすぎだと感じました。
254	1084	徒歩
255	1084	車の利用を少しでも控える
256	1084	天気が良く、短い区間であれば、自転車を利用すべきである。 指標全体としては、ほぼ平均値を下回っている。 今後の課題として車利用率の低減の工夫が必要。
257	1084	自家用車の利用を極力減らし、電車やバスを利用する。 近距離は徒歩か自転車を利用する。
259	1084	自動車が必要な仕事であるためある程度仕方がないのではないか。
260	1084	まずまず。
261	1084	現状が現実的
262	1084	時間があれば仕事での移動を自転車にすることができたと思われる。
263	1084	家に帰ってからの移動手段は子供が小さいため、ほとんどが自動車となってしまっている これは仕方ないことだが、出来る範囲内で自転車を使えるようにしようと思う
264	1084	出来るだけ自転車を使う。
265	1084	公共交通機関が十分整備されてエリアでは公共交通を利用し、その他(渋滞がないエリア)では自家用車で効率的に移動する
266	1084	特にありません
267	1084	実際に自分が排出している二酸化炭素量を目の当たりにすると、大変反省させられるところである。しかし、通勤については、保育園の送迎及び移動距離が長いことをあわせると、現状では自動車に頼らざるを得ない部分が多い。ただし、近距離への外出の場合は、徒歩あるいは自転車などを使うよう心がけたいと思う。
268	1084	車に依存している。
269	1084	交通手段については自動車の利用に変えて自転車での利用も十分可能であり、意識を変えることが必要
270	1084	近距離かつ単独(一人)での交通手段は徒歩、自転車を利用すべき。
271	1084	よくわからない。
272	1084	ほとんど車に乗らなかったためCO2排出量等は少なかったが、意識的に気をつけた結果ではない。
273	1084	できるだけ自転車や公共交通を利用するなどしている

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
274	1084	車利用率が高い
275	1084	車利用は、必要最低限に心がけている
276	1084	自転車、徒歩
277	1084	休日もできる限り、自動車をいわず、自転車での移動に努めています
278	1084	遠くへ行くときにも自分の自転車を使えるように、バス、電車に自転車を持ち込めればよいと思う。
279	1084	この休日は、公共交通機関のアクセスが不便な場所へ行ったため、自家用車の利用となった。 ただ、もっと公共交通機関は利用は検討したい。
280	1084	荷物等が少ない場合、公共交通機関があればそれを利用するか、近距離なら自転車で移動する。
281	1084	運動のためにも近頃は自転車が徒歩で
282	1084	方法として、マイカー以外に利用できる公共交通機関等も考える
283	1084	今回記録した日の移動に際しては、自動車以外の方法はないため、致し方ない。可能な限り、移動に際しては、公共機関を利用するよう努め、自動車利用の場合は、極力、乗り合わせをして、環境に配慮するのが望ま
284	1084	幼児は自転車に乗れない、また、幼児と荷物を抱えて駅まで歩けないことから、休日において、これ以上、公共交通へ転換することは不可能。 よって、自動車利用が望ましい交通手段であり、これ以外にあり得ない。
285	1084	公共交通機関の利用。
286	1084	近距離は徒歩又は自転車で移動、長距離で公共交通の利便性のよいところは鉄道、バス等の公共交通機関による移動が望ましいが、公共交通の利便性が悪い、荷物が多い等のケースの場合は、自家用車での移動も
287	1084	全体的に車の利用は少ないが、まだ公共交通を使えるが、個人の利便性のために自家用車を使用しているこ
288	1084	自転車などの交通機関を率先して利用し、一人での自動車の使用は極力控える。
289	1084	たまたま外出する事が少なかった。
290	1084	田舎に住んでいるため公共交通機関もなく、マイカーに頼らざるを得ない。
291	1084	できる限り公共交通機関を利用するよう心がけているが、農村部に居住しているため、車の使用は避けられな
292	1084	都心部においては徒歩・自転車を中心とした移動手段とする。 郊外においては自動車を移動手段とする。 片道2時間を超えるような場合は極力公共交通機関を使う。
293	1084	子供の塾の送り迎え(夜間)などは自動車ではできないと他の手段を考えてもいなかったが、今後は常に他の方法も含めて交通手段を検討するよう心がける。 家族でも近くの場所に安易に自動車で出かけるのではなく、積極的に自転車で出かけるように家族みんなで取り組んでいきたい。
294	1084	公共交通不便地域に居住しているため、自動車利用はやむを得ない面があると考えています。そういった中、最近、車の買い替えを契機に、環境にやさしいと言われているハイブリッド車を購入しました。車利用を余儀なくされる環境に置かれている場合、既存の行動スタイルを維持したまま、環境に与える影響を軽減するには、このような、技術的進歩を活用するのも手ではないかと考えます。
295	1084	平均に達するには、徒歩及び自転車で外出するよう心がける必要がある。
296	1084	都心部では公共交通・徒歩・自転車の利用、周辺部では自動車を利用。
297	1084	現在の通勤手段は個人的には最速で簡便な手段であると思うが、最寄りのJR駅(約11キロ)をパーク＆ライドでつなぐ方法も考えられる
298	1084	居住地域が交通空白地帯であり、やむを得ない部分もある。
299	1084	公共交通が利用できる場合は、なるべく利用した方がよいと思う。
300	1084	できる限り、環境負荷を減らせるような交通手段の選択と、相乗りやついでの利用などで化石燃料を使う交通機関での移動回数を減らすことが必要と感じました。
301	1084	可能な限り、徒歩、自転車あるいは公共交通機関を使うべきである。
302	1084	現在の生活だと、平日の自動車利用を減らすことは不可能。 休日については、多少は削減の余地ありか。
303	1084	自動車を使用する割合が大きいですが、公共交通機関が整備されていないところへ通勤する場合は、やむを得な
304	1084	通勤にはできるだけ公共交通機関を利用する。 近所へ出かけるときは自転車を使う。
305	1084	比較的郊外に住んでいる関係上、公共の交通機関を利用するには限度があり、妻の仕事は移動することが多く、車の利用は避けられない。
306	1084	通勤は公共機関よりはバイクの方が無駄が少ないと思われるので。 当市の場合、電車等の整備は整っておらず、電車・地下鉄の使用は難しい。家族構成上、子供が3人、しかも乳児がいるため、嫁の移動は、チャイルドシート装着の自家用車での移動はやむを得ない状況にあり、そのほとんどが通園の使用であることから、個人的な評価としては合格点とせざるを得ない。
307	1084	交通の便の悪いところでは、車に頼ってしまうのも仕方ないと思われる。 また、小さい子供が二人一緒に行動しているため、バス・電車等では困難な場合も多々ある。
308	1084	通勤手段を公共交通機関としている。 このことを継続していきたい。
309	1084	市街地部への移動は電車、バスを利用する。近隣へは徒歩、自転車で行く。
310	1084	他に交通手段の無い、丘陵地にあつて、相乗り等相当努力をしている。 公共交通機関も利用しているが選択肢がないので回答できなかった。
311	1084	朝の通勤バスを徒歩にできれば90点。
312	1084	もっと自転車を利用したい
313	1084	なるべく自動車を使わないような生活習慣にしたい。 数キロ以内の移動には自転車を使用的ようにしたい。
314	1085	本来は、自転車又はバイクによる通勤がベストと考える。
315	1085	環境負荷が小さいよう時差出勤している。

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
316	1085	通勤で週に1日ぐらいは、公共交通機関を使用する
317	1085	二酸化炭素消費量、ガソリン消費量共平均の1/3程度で良好であるが、自転車を活用し、さらに数値を下げ
318	1085	通勤を電車にしているために、必然的に出来ている
319	1085	1時間以内でいけるところは、自転車を利用。 1時間を超えるところは、電車・バスを利用。
320	1085	徒歩若しくは自転車で極力移動するようにする
321	1085	平均値を超えていない
322	1085	子どもが小さくて、公共交通機関を利用できない
323	1085	児島方面から倉敷駅へ直接いける電車が欲しい
324	1085	公共交通機関をやるようすれば可能であるが、どうしても利便を優先してしまう
325	1085	週に1度ぐらい別の交通手段で車利用を控えたい。
326	1085	自宅から鉄道駅までを自家用車から自転車に変更する
327	1085	通勤は、公共交通機関化自転車を利用する
328	1085	もっと車の使用を減少させたい
329	1085	電車
330	1085	公共交通機関を利用するまでの距離が長いのでどうしても自家用車を利用するようになる。
331	1085	自分では、車を良く利用していると思っていたが、それほどでもなかった。
332	1085	予想以上の結果でした。
333	1085	1人で4KM未満での移動は、徒歩・自転車・公共交通機関で 2人で4KM以上で荷物があれば自動車、荷物がなければ公共交通機関
334	1085	健康な状態であること、雨天等でないことなどを考慮したうえで、1km程度では、歩行、2~3km程度では自転車などの使用に心がけるべきであるとは、考える。 しかし、バスなどの公共交通を利用して出かけることについては、運行本数が少ないこと、普段から時刻表を持たず、出かけた時間と合わないことなどにより、実態としては、行き先に駐車場もほとんど完備されており、車の利便性から、最近では無意識に車を利用する機会が増えているように感じる。
335	1085	公共機関の利用がしにくい地域であり、電車バス等の利用は難しい
336	1085	休日は自動車に変わる交通機関がない
337	1085	振り返って考えると、自転車利用も考えられることから、近隣については出来るだけ自転車等の交通手段を考
338	1085	満足している。
339	1085	公共交通と自動車を目的に応じて、うまく組み合わせたい
340	1085	自動車利用を少なくする。
341	1085	通勤手段で公共交通機関を週1回は利用するよう努力したい
342	1085	限りある資源の保護と、クルマ利用による環境への配慮は必要だと思うが、公共交通機関が充実しておらず、自家用車の利用度が高くなるのはある程度しかたがないと思う。
343	1085	公共交通機関を利用することができる場合は、可能な限り利用するよう努める。
344	1085	自動車メカ?カ?が勝手に大排気量の車を売り出し、省エネの流れに逆行している。 個人の省エネと平行してメカ?カ?に対する規制を早急にかけるべきである。
345	1085	近距離の移動は自転車・徒歩で行うように努力する。
346	1085	私自身は、でき得る限り公共の交通手段を今後とも利用することとしております。
347	1085	近くは、自転車等の移動手段で二酸化炭素の排出を抑えるよう努めるべきと考えます。
348	1085	もっとも適切な移動手段が、選択可能な状況で選択されているか。 限られた移動手段が、制約された状況で余儀なく選択されているのではないか。 選択可能な状況で、CO2の削減を考慮しているか。 誰もが容易に公共交通機関の利用が可能ではない社会において不公平な排ガス規制は問題である。 (今後とも使いたい時にクルマに乗るよ。)
349	1085	近くに駅やバス停が無いので、自動車を利用する機会が多くなりがちです。もう少し気を付けたほうがよいと思
350	1085	妻が車ばかりに頼り過ぎるところがあるので、もっと自転車の利用を促す必要がある。
351	1085	近隣への移動は、車から自転車などへ移動手段を変更するべきである。
352	1085	公共交通機関を上手に利用したい。
353	1086	移動時間が多い割にはガソリン消費量やCO2排出量が平均に近く概ねこのとおりでよい。
354	1086	通勤には、自転車、公共交通機関など積極的に利用する方が良いと思う。
355	1086	保育園の送り迎えなどやむを得ない場合以外は 自転車や公共交通機関を利用する。
356	1086	勤務時間の短縮により公共交通機関が利用できればと考えている
357	1086	郊外(田舎)ではバス等も1時間から2時間に1本くらいしか通っていないため、何をしても自家用車を使うしか方法がない。
358	1086	望ましい交通手段は、自転車、バイク、バスであるが、自転車は乗れない、バイクは購入費が必要なため「バス」になると思う。
359	1086	CO2排出量が高レベルであるが、通勤における自家用車利用は、公共交通機関の利用がたやすい状況があること、県外への移動については経常的ではないので、6.0点とした。
360	1086	3キロ以内の移動には、自転車を利用することを検討したい。
361	1086	自動車通勤を止めて、JRを活用すること。
362	1086	自動車と公共交通機関の併用
363	1086	記入したデータがちょっと特異日だったかも。実感とはかけ離れている感じ。
364	1086	公共交通機関の利便性が悪い中山間地域における利便性向上が必要
365	1086	まずまずだと思う。
366	1086	可能な限り公共交通機関を使うこと。 都合により、乗用車も利用する。

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
367	1086	近い場所なのに自動車を使用しており、自転車や徒歩で行くべきであった。
368	1086	近くへの移動にあっては、自転車等を活用する
369	1086	公共交通機関、自転車利用が可能な場合は利用する
370	1086	電車等の利用が可能な場合は電車を利用する
371	1086	一人で移動するときはかなりの高率で自転車を利用しているが、休日はむしろ自動車利用が多くなっている。
372	1086	休日の自動車使用は少なくし、できるだけ徒歩、自転車を利用する。 バス等公共交通機関を利用できる場合も利用するよう努める。 買い物や娯楽目的で自動車を利用する場合でも、アイドリングストップを心がけた運転を行う。
373	1086	近距離の公共交通機関の使用がある。 自転車、徒歩に変えることが必要。
374	1086	近距離については自転車等を利用する心掛ける。 やむを得ない場合に、自動車を使用する。
375	1086	できるかぎり徒歩、自転車等を交通手段として利用することが望ましいと思います。それができない場合に、電車、バス等公共交通機関を利用し、自動車を使用する際でも家族で同乗するなどして、1人あたりが排出するCO2の削減を心がけるべきだと思います。
376	1086	小さい子どもがいるので、なかなか公共交通機関利用といかないです。公共交通機関や公共施設が、もっと小さい子連れにも対応していればと思います。
377	1086	通勤については、遠距離であることからやむを得ないし、また、買い物等においても、高齢者が重たい荷物を持つことができないなどの理由がある。ただ休日や、近距離への会合出席での利用はできるだけ控えていきたい。
378	1086	目的地まで待ち時間が少なく移動出来る自家用車以外の交通手段の利用が望ましいが、数時間に1本しか無い列車では現実的には利用可能な場合のみの利用となる。
379	1086	公共交通機関が利用しにくい状況で、休日は、家族一緒に出かけるなどできる限り自動車の利用時間を少なくしており、現状が最良と考える
380	1086	近い距離(1k以内)は歩くか自転車 マイカー利用はなるべく控え、バスなど利用する
381	1086	家が美萩野なので、列車通勤が望ましいと考えている。 ただし、現在、2歳と3か月の子供おり、買い物等(今後は、保育所の迎えが必要となる予定)でしばらくは、車通勤となる。
382	1086	勤務日については、勤務時間、利用可能な公共交通機関、家庭の事情等により、自家用車を利用せざるを得ないと考えていますが、可能な限りの相乗りを入れていくことはできると考えています。 休日は、主に買い物のために、スーパーまでの距離と効率的に行動するため自家用車を使用しています。これからは、可能な範囲で自転車を利用することを取り入れていきたいと考えています。
383	1086	通勤、買い物等に利用できる公共交通機関があれば利用すべきであるが、利用できるものが少ない。また、買い物などは、徒歩あるいは自転車で行ける距離にあればよいが、そのような場所がない。
384	1086	車の利用は最低限に抑えたいのですが、30分以上の自転車利用にチャレンジする必要あり(公共交通機関は時間帯が合わない)もう一歩の勇気がなくて 50点
385	1086	現在の生活スタイルにあった交通手段であり、特段問題ない。
386	1086	・日頃から家族で自転車利用を考えているが、利便性から自動車を利用してしまう。 ・また、公共交通機関も運行回数が少なく、時間的な無駄が生じてしまう。 ・地球温暖化防止のために、次のステップとしてマイカー通勤を自転車へと変えていきたい。
387	1086	公共交通機関を利用した通勤が望ましい。 家族の移動については、代替え等が困難。 週末のレジャー等は、自宅の地理的条件から代替え等は困難。
388	1086	公共交通機関が少なく、地理的に不便な状況ではあるが、Co2排出量が平均の1.7倍という数字には、正直言って驚いた。今後は、公共交通機関で唯一使えるバスを利用したり、妻と乗り合わせたりするなどの工夫を行う
389	1086	マイカー利用では、生活できない。
390	1087	車の依存を少し減らしたい。
391	1087	環境のためには、通勤にはJR等公共交通機関を利用するべきではある。しかし、自宅が駅から遠いこと、駅周辺には目的とする店が少ないことを考えると、どうしても自家用車での通勤になってしまう。できるだけ公共交通機関を使用したいという気持ちもあるが、JR・バスとも運行本数が少なく、夜も遅くまで運行していないため、通勤でバス等の公共交通機関を利用するのが望ましいと思うが、帰宅時間が不明確なためやむをえないと思う。
392	1087	通勤の手段を車だけでなく、列車などを利用することがあっていいと思う。また、買い物などはできるだけ車を利用しないように心がける。
393	1087	緊急時の対応を除いて、勤務時間中に庁外に出かける必要がある時は、一人一人が別の車で出かけるのではなく、なるべく相乗りして出かける。
394	1087	車の便利さになれてしまいどうしても利用しがちになります。しかし、大都市と違い、公共交通が満足されていない環境ではある意味どうしようもない状況です。ちょっと仕事が遅くなれば帰る手段がタクシーしかないというこの地域では車に頼らざるを得ません。内心では出来る限り公共交通を利用したいと思っても、その受け皿がない現状では、心持、満点にはならないかなという考えです。
395	1087	自宅から近隣への外出は、自転車等が利用できる。
396	1087	通勤は、公共交通機関を利用することが望ましいが、残業を行う場合の帰宅時の交通手段を考慮する必要
397	1087	毎日の通勤に公共交通機関を利用すればよいと思うのですが、帰りが遅いため、どうしても自家用車を利用してしまいます。
398	1087	公共交通機関を利用すると大回りになるので、利用できない。しかし、根本的に自転車を通る距離なので、自転車通勤が一番望ましい交通手段である。
399	1087	車利用は何人がで遠出をしたり雨天など、必要最低限の場合とする。
400	1087	やむをえず車を利用しなければならない場合を除き、なるべく他の交通機関を利用する。
401	1087	近距離移動は自転車又は徒歩
402	1087	中長距離の移動は交通の利便性に応じバス、又は自家用車を利用

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
403	1087	なるべく公共交通機関を利用すべきだと思う。
404	1087	バスの便数が少なく利用しにくい。
405	1087	代替手段の有無から判断するとこの程度。
406	1087	鉄道+徒歩
407	1087	近くに行くときは自転車利用に努める
408	1087	CO2排出量及びガソリン消費量が平均と比較して少なかったので評価できると思う。
409	1087	自動車はほとんどが通勤に使い、公共交通機関が少ない状況では利用ができていく状況である。今後は、生活に余裕を持たせながら、1週間に1回程度は交通機関を利用しようと思います。
410	1087	公共交通機関を利用したいが、利用しにくい。(運行間隔)
411	1087	公共交通機関がもっと発達すれば交通手段の選択肢が増えると思うし使用するのが望ましいが、現状ではマイカーを使用しないと買物等に行けないので仕方ない。
412	1087	私も11月から通勤手段をバス通勤に代えました
413	1087	郊外に居住しているため、移動手段は車に限られる。
414	1087	近隣への移動手段として、徒歩または自転車を利用する。
415	1087	公共交通機関もなく、また今回の調査ではすべて自動車を使用しなければならない所だったのでやむをえないと思います。ただ、妻と勤務先が同じような方向なので相乗りという手段も考えられる。(ただし、帰りが同じ時間帯になる日のみ)
416	1087	公共交通機関で網羅されていない遠隔地を除いて、基本的には公共交通機関を利用するのが望ましいと思
417	1087	通勤には、他の交通機関が利用できないのでその他の時に車を減らすようにしたい。
418	1087	自宅から公共交通機関のバス停および駅まで距離があるため、マイカーの利用を余儀なくされている。
419	1087	出来る限り、相乗りを行うようにする。私の所では公共交通(バスのみ)の利用時間が限られるので自動車利用はしかたがないと思います。
420	1088	車は必要最低限に使用する。
421	1088	できるだけ自動車の利用を控え、自転車、公共交通機関を利用する。
422	1088	自転車や徒歩での移動をできるだけ増やしていきたいと考えている。
423	1088	通勤距離が短いので、排出量等は平均より下回っていると思う。
424	1088	車の利用率が高いので、車の利用を押さえる方向での対応が必要。
425	1088	平日の通勤については、公共交通機関が不便なため、片道数時間かかるので、自家用車以外の通勤は不可能である。
426	1088	通勤に公共交通機関を使えないため、仕方がない。
427	1088	代替交通機関がないことから、平日の通勤において、自動車を利用することはやむを得ないが、休日の自宅周辺に出向く際には自動車を活用しないようにする。
428	1088	できるだけ、車に頼らない
429	1088	環境面を考えれば、ある程度は公共交通機関の利用も心掛ける必要があると実感している。
430	1088	できる限り公共交通機関を利用
431	1088	ガソリンの値上がりもあいまって、ガソリン消費を控えようとの意識はあるものの、現実問題として、クルマ以外による移動は困難。 クルマの使用を控えることは、地方都市においては不可能に近いので、クルマの使用を控えつつも、環境にやさしいクルマの開発を劇的に進めていく方向に進むしかないと考えている。
432	1088	目的地点までの距離や行動内容に応じて、徒歩、自転車、公共交通機関、自動車を使い分けているが、バスや鉄道の運行本数の少ない地域では、どうしても自動車の役割が大きくなる。
433	1088	わたしの平日においてはマイカーによる遠距離通勤から電車やバスなどの公共交通機関による通勤に変更すること、また、わたしの休日や妻の平・休日においては、特に近くへ外出する際は徒歩や自転車を利用して移動することに心がけることで、CO2排出量の削減が図られると考えます。
434	1088	田舎なので自動車に頼らざるを得ない。
435	1088	近くは、なるべく自転車や徒歩での移動を実行したい。
436	1088	公共交通機関が発達していないので。
437	1088	通勤時は適宜バス利用等もしなければと思っているが、帰宅時の交通機関の便を考えると、つい億劫にな
438	1088	私自身は、毎日の通勤に自動車を使用していますが、これを公共交通機関に替えることは、帰宅時間が遅くなることが多い現状では難しい。(田舎なので終バスの時間が早いため)自転車で通うにはいささか遠いし。家族も通勤に自動車をしようしていますが、こちらは、定時に退庁することが多いので、バスに代えることが可能。通勤以外の買物等は可能な限り自転車を使うようにしています。
439	1088	もう少し歩こう
440	1088	よくわからない。
441	1088	夫については、長距離通勤をしており、公共交通機関を利用して通勤したい希望はあるものの、不便で利用しがたいため、やむを得ず自家用車を利用せざるを得ない。 自分については、残業予定のない日に限り、公共交通機関利用をするなど自家用車の使用を控える。 休日については、できるだけ、自家用車利用を控える。
442	1088	公共交通機関が脆弱な地方都市では、極く近くでの買い物を除くと、自家用車を使用せざるを得ません。
443	1088	現在の状況では、普段の交通手段として自動車を使用することはやむを得ない。
444	1088	今回は、ありのままの使用方法であったため、車の使用を控えようという取組は一切行っていない。 通勤が中心となっているが、子供の送迎もあり、車以外の手段は考えられない。
445	1088	公共交通機関(電車、地下鉄なし)バスの利用を増やすことが望ましいが、現在のバスの便数では困難。
446	1088	平均を下回っているのは、ちょっと意外。土地柄上自動車移動しないと公共交通機関が発達していないので、平均より悪いと思っていた。
447	1088	二酸化炭素排出量の少ない公共交通機関(バス、電車等)の利用
448	1088	近くに出かけるときは、極力、徒歩又は自転車を使用することが望ましいと思う。 また、公共交通機関を積極的に使用することも必要。
449	1088	車を使用する以外に、近距離についてはできるだけ歩くこととし、遠距離については、電車等を利用することを

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
450	1089	地域地域の交通機関の発達状況によって異なるため一概に言えない。
451	1089	休日の運転はなるべく控える。
452	1089	時間の余裕と事情(連れ及び荷物の具合等)によりますが、自転車、徒歩の割合を増やすこと。
453	1089	乗り合わせやパーク&ライドを利用すること
454	1089	電車
455	1089	通勤、仕事で乗り合いを勧める
456	1089	現在の状況においてこれ以上の交通手段の方法がない。
457	1089	土地柄こんなものでしょう
458	1089	平均よりは数値は低いですが、自動車利用率が100%のため関係なく、今後は公共交通機関の利用や徒歩・自転車の利用が、検討課題です。
459	1089	通勤に他の交通手段を考えることは出来るが、地域性を考慮すると現在の交通手段を変えることはなかなか
460	1089	近距離は二輪車にできる
461	1089	地域性を考えるとやむ得ないと思う。
462	1089	徒歩、自転車等をなるべく利用し、車に依存しない移動手段の選択
463	1089	公共交通機関の積極的な活用及び自転車等を利用し、CO2排出量の削減及び渋滞緩和に努める。
464	1089	積極的に自動車以外の交通手段を使う。
465	1089	公共交通機関が、少ないのでついつい自家用車に頼ってしまう。
466	1089	目的場所に応じ公共交通、相乗りを利用
467	1089	公共の交通機関の利用
468	1089	公共機関の使用
469	1089	多少は移出量が多いようだ。
470	1089	できるだけ公共交通手段を活用するのがベストと考えるが、目的地までのアクセス(待ち時間、乗り換え等)がスムーズに行くことが必須条件。
471	1089	公共交通機関が整備されていないため、自動車以外の手段としては、自転車または徒歩となる。晴天日はよいが雨の日はどうしても自動車に頼るしかない。アンケートもよいが、地域の交通体制の調査が必要では？
472	1089	移動手段として公共交通機関が不足しているため、自動車に依存している。自動車と他の移動手段がリンクすることが望ましい。
473	1089	4km以内位の目的地に行く場合は、車を利用しないのが望ましい
474	1089	公共交通機関が整備されているところは積極的に公共交通機関を利用すること。自動車を利用する場合は、アイドリングをしない等エコドライブにつとめること。
475	1089	環境に与える影響は認識しているが、他に公共交通手段がないので、転換は難しい。
476	1089	公共交通機関を利用することは、環境や渋滞緩和、公共交通活性化の観点から非常に重要であると思う。しかし、本市の現状では車に頼らざるを得ない状況であり、生活の上で自動車に依存するのは仕方ないと認識
477	1089	車の利用を最低限に抑える。
478	1089	自転車と自動車の共存。
479	1089	地域の交通事情から自家用車への依存はやむを得ない。しかし、乗り合いなどの自家用車の効率的な運行により、平均値の二酸化炭素の排出量を目標に考えていきたい。
480	1089	CO2を減すためには、マイカーをやめて公共交通を利用するのが理想かもしれないが、整備されていない地域では難しい。 企業も含めて全ての人が、ハイブリッドカー等のエコカーへの取り組みを進めていけるようになってほしいと思
481	1089	毎日の通勤では、子ども2人を連れ保育園に寄らなければならないので、車を使うことはやむをえない。公共交通機関は、時間のロスが多く、経路もあわず、全く現実的ではない。自転車も、下の子どもが1歳になったばかりで、危険を考えると躊躇する。
482	1090	業務で県庁まで行くのに、車を利用したがJRやバスの便数・ルートを考えてと不適とは思えない。しかも、4人/台で利用。
483	1090	現状のままとする。地方なので交通手段の本数が少なく、特に帰りが問題である。
484	1090	10分間隔で運行されているバスの停留所が自宅から徒歩3分以内のところにあり、それを利用して会社へ通勤する。最終バスを深夜0時まで運行してもらい、帰宅の時間を自由に選べるようにする。
485	1090	これ以上は譲れない数字です。
486	1090	勤務先までの距離は3km強で徒歩で40分弱、飲食等の予定日は徒歩出勤しているが、通常は自家用車出勤している。理由は帰宅時間が不規則で、歩道の整備がいまいちで暗い夜道や雨天時を考えると徒歩での帰宅はちょっと考えてしまいます、交通手段はタクシーのみの状況。 自分の健康、地球の健康には徒歩と思っはいるが、車を選択することが多い。
487	1090	遠隔地が多かったこと、また公共交通機関の乗り合わせが不便だったことを考えるとまあまあではないかと思う。
488	1090	朝の通勤は自転車で、会社の書類を持って動く時のみ自動車を使用する。
489	1090	全ての移動手段として車を使用している。 車でないと仕方がない場合も含まれているが 移動距離が短い時には環境への影響を考えて 徒歩などをしなければと考えている。 今回の日常の行動のアンケートの回答に関しては たまたま移動時間が短い目的地が含まれていなかったため、 全ての移動手段が車という結果になってしまった。 車を使用しない時代はこの先来ないと思うが その中でいかに車を使用せず、一人一人が環境への影響に 対する考えを持ち、徒歩や自転車などの自分の健康の維持増進にも 繋がる交通手段を進んで

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
490	1090	できれば1km内の移動は徒歩もしくは自転車を使うようにする。イベントなどに行く際は道が混雑するため運転時間が長くなるので公共交通機関をなるべく使用すればガソリン消費量やCO2排出量の減少につながる。
491	1090	バス停が近いのでバス通勤をする
492	1090	ガソリン消費量やCO2の排出量は平均より少ないが、近いところでも移動手段がすべて自動車なので、今後は出来るだけ電車、バスを利用するか、徒歩で移動するように心がけたい。 (ただ田舎は都会違って電車・バスの便が少ないため、どうしても自動車を使うことになる)
493	1090	時間制限のない時は自動車以外のものを使用すべきだと思います。
494	1090	できるだけ公共交通手段を使うか、自転車通勤を考慮する。
495	1090	交通手段については、都会・ローカルの地域性の手段を考察する必要がある。我々はローカルであり、車が無ければ動くことが出来ない。確かに、バス・電車・タクシー等の方法は有るが、時間的に限られ非常に不便であり、必然的に車に頼っている次第である。この問題が解決しない限り車の移動はやむを得ないと思う。
496	1090	現在、月一回のノーカーデーにはバスを利用していますが、週1回程度にすること可能と考えています。又、将来的には自転車通勤も実施してみたいと思っており、自転車・バスの利用回数を今後増やそうと思っています。
497	1090	公共の交通手段が使えるところは、使う、ない場合は自家用車を使う。
498	1090	地球温暖化防止に少しでも貢献するため、また健康増進のためにも車を使う回数を減らし公共交通機関の使用や徒歩での移動に心掛けています。
499	1090	公共交通機関で通勤する。
500	1090	近距離は歩く。
501	1090	自転車専用道を整備することで、自転車利用率が上がること。 遅くまで動く循環バス路線を整備する。(但し、自動車とのコスト比較で安いこと)
502	1090	私本人は、徒歩通勤が可能であり、極力マイカー通勤を控えることが望ましい。 家族については、必要最小限の使用を心がけ近地は自転車、公共機関を利用すべきと考える。
503	1090	改善の余地は有るが、公共交通機関を使うには、不便な為(特に家族:保育園の送迎等)自家用車使用を低く抑えてあると思う。
504	1090	仕方がない場合は車を使うようにして、それ以外のときはなるべく、自転車や徒歩、公共の交通機関を使用するようにしたい。
505	1090	休日の、3kmの範囲は自転車を使う。
506	1090	自転車通勤がいいかと思っています。
507	1090	休日も平日同様です。
508	1090	他に交通手段がない。バス便が午前、午後各1便しかない。
509	1090	地域の公共交通機関の現状や自分の移動形体を勘案すれば日常的にバスや電車などの利用は困難でマイカーの利用がかかせません そのなかでとらうる最善のさくは燃費のよい車を選択することが一番だとおもいます。又遠くに行く場合は公共交通機関の利用がよいとおもう。
510	1090	現住所の近くに交通手段が無い
511	1090	公共交通機関の本数及び場所が遠い為に仕方なく、クルマを利用している。 但し、無駄なクルマの使用は出来るだけ控えているつもりである。
512	1090	通勤帯は交通機関が少ないので主として車を使用せざるを得ません。 必要最低限の自動車利用率と考えます。
513	1090	・通勤時間帯(残業・休日出勤含む)のマイカー以外の乗り物が充実していない。 ・家族の利用についても、現状ではマイカー以外の乗り物では時間がかかり過ぎる。
514	1090	通勤は自転車、徒歩等により、CO2の削減が可能。 外出は、買い物等の回数を減らす。
515	1090	取り組んでいない
516	1091	通勤手段として、常に自家用車を利用しているが、時には公共の交通機関を利用することが望ましい。但し、平均よりは利用時間が少ないので、その点はよしとしている。
517	1091	ドアtoドアで自分の動きたい時間に、自由に動けるマイカー以外に選択の余地はない。マイカーの省燃費性能が低いことが-20%。 ろくに客ものらない公共交通機関や、長時間アイドリングしているタクシーの排出するCO2が問題。バイクは雨露がしのげないし、安全性に問題があるので不可。
518	1091	通勤が遠方のため公共機関を利用することは時間の制約等を考えると大変不便であり、交通費も馬鹿にならない状況にある。 通勤のみの車の使用ではあるが、極力近くの買い物等は自転車の利用を考えて行きたい。
519	1091	家の近所であれば、徒歩が望ましいと思う。時間に余裕のある時は極力歩くようにしている。会社の通勤は、公共交通機関が使えれば、そちらの方がよいが、現状はバス・電車は本数少なく、時間がかかり制約されるので使
520	1091	通勤に関しては、自宅から会社まで約10km(自宅は山を切り開いた住宅地の為、アップダウンが激しい)ある為、車通勤が主となる。電車は駅まで約4kmと遠い。消去法で考えた場合、可能性としては、自転車しかない。
521	1091	燃費が良い軽自動車を利用している (20Km/L) なのでこの計算は間違い各自から燃料消費を提出し詳しい計算をするべき
522	1091	本来であれば、通勤時1回/1週間、程度は自転車を利用したい。しかし、本年度は子供が大学受験のため、塾への送迎が必要となり、自転車の使用ができません。ゆえに100%/7日間分の 15%とし、85%としました。
523	1091	通勤時に、なるべく公共交通機関を利用出来ればいいと思う。
524	1091	通勤時間帯の列車運行が少なく、不便ではあるが、定期的に列車利用または、近隣の同僚と相乗り実施。

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
525	1091	理想は公共交通機関の利用だと思っています。 が、都会の様に駅やバス停に行けば簡単に乗れるというのではなく、時間を調べ、間に合わなければ1時間も待たないといけないう等、田舎ではとても不便なので、自家用車使用は仕方のないことだと思っています。近距離はなるべく徒歩や自転車で行くようにすることでしょか…。
526	1091	これから寒くなるので車に換えると、評価は下がるでしょうね。
527	1091	なるべく車で5分程度で行けるような場所は、歩くように心がける。
528	1091	仕事があるときは、自動車を使用することは避けることができないが、休日の過ごし方で、近くの移動をするときは、車を控え、自転車・歩行に変更する気持ちをもつようにする。
529	1091	電車の利用。実際には電車の本数が少ないこと、夜遅い時間には電車ないことなどで利用する機会は少ない。
530	1091	通勤を徒歩または自転車に変更するとよいと思いますが、帰宅時間が遅く、通勤路の中で街灯がまったくない場所があるため、車以外での通勤は困難な状況です。 買い物等には自転車を利用するようにしたいと思います。
531	1091	出張が多くあり、自動車の利用が少なかったので良い結果となった。平日の通勤では自動車以外の通勤方法は考えにくいので、休日などに近くに出かけるときは歩く、自転車を利用するといった工夫をする。
532	1091	やはり望ましいのは、CO2を排出しない徒歩や、自転車通勤と思う。
533	1091	マイカーでの通勤回数を減らす。公共の交通機関を利用する。 同一方向へ移動する時は、同乗する。
534	1091	週1回は電車通勤を考えたいが仕事が定時に終了しない、電車の便が少ないので思案中です。 一両で良いから30分間隔で電車を走らせれば、利用者や利用回数が増える。これを実施しない限り車社会は減少しません。
535	1091	現状を維持する。
536	1091	保育園の送迎がない方が自転車その他の交通手段で通勤 帰宅後に自転車等で改めて買い物に出る ……休日の家族の行動パターンをそろえる……etc
537	1091	「電車・バスを使用したほうが良い」というのは誰でもわかる。 現実には、都会と違って山口では電車・バスを利用するのは高校生が年寄りだけで車を使わないのは絶対に無理です。むしろ採算度外視してまで、JRや市営バスの本数を増やしても渋滞を招き意味がないと思う。
538	1091	交通手段は、電車は通ってなく、バスは日に数えるほどしかありません、自転車ならと思いましたが、子供たちの送り迎えがあり、年齢的に自転車に乗らせるには、危険を伴うので、今は車以外考えられません。
539	1091	電車では、時間的なロスが大きいので、自転車通勤の実施を検討。
540	1091	自転車使用が望ましいと考えますが、どうしても自動車にたよってしまう傾向があります。
541	1091	移動手段が常に車である
542	1091	極力、近場の買い物には自転車を利用する。
543	1091	電車、バスを利用しての、交通手段は、便が少ないため、とても、不便なため、車で、移動の方が、便利。
544	1091	公共機関等をもっと利用すれば、家族でのCO2排出量のシェアは少なくなったと思う。
545	1092	バスや電車の便が悪く、乗り換えの待ち時間も長く、車を使わない場合の移動時間が多くかかる。しかし、急がない用事等の外出には出切るだけ車を控えるようにしたい。
546	1092	近況の交通環境を考慮すると、車での異動は生活活動を行う上で、必需品となっている。しかしながら、環境負荷を考えると現状では問題ありと認識し、アイドリングを極力なくしたり燃費向上につとめたいと考えている。
547	1092	車をなるべく使用せずに自転車、徒歩で通勤、買い物等をすべきであるが一度出ると多くの用事を実施するためにほとんど、車での外出となっている。
548	1092	通勤は公共を利用する事が望ましいとは思いますが、交通の便が悪いためどうしても自家用車を利用してしまふ。
549	1092	交通手段が自家用車に偏っている。
550	1092	家が交通の不便なところにあり、車以外での外出は困難であるが 休日などはできるだけ乗合をしてでかけたり、近くへ行く時はできるだけ 歩いたりしようとおもふ。
551	1092	何に対しての自己評価なのか不明、基準となるものは？
552	1092	近距離であれば徒歩が望ましいと思う
553	1092	交通手段であるバスの便利が悪い(特に帰宅時)
554	1092	朝の出勤時間が早いので出勤には車が必要です。 しかし、近くに出かける時は極力車を使用しないように心がけたい。
555	1092	通勤については、有効な公共交通機関がなく、自家用車を使わざるを得ない。休日については、使用しなくてもいい場合もあるので、努力する点だと思う。
556	1092	環境保護の観点から考えると自動車の利用を避けることが好ましいが 現代社会において効率的な社会生活を維持する中で自動車の利用を 避けるをとら困難である。
557	1092	公共機関が望ましいが、現時点では支障がある
558	1092	通勤時は出きるだけ公共交通機関を利用すべきと考えるが、現在居住している地域では電車又はバスの便が大変不便で、利用出来ない環境となっている。 直ぐに公共交通機関が整備出来るわけではなく、暫くは自動車を使用した通勤手段しか選択肢が無い。
559	1092	今後、最善の努力し公共機関を使用と考える。
560	1092	公共の乗り物
561	1092	通勤には公共交通機関を利用することが望ましい。
562	1092	電車及びバス等の公的の交通機関を利用する。
563	1092	会社通勤には、電車、バスが不便です。 外出時は、相乗りをしている。
564	1092	なるべく歩く

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
565	1092	近くへは、徒歩、又は自転車使用を心がける。 遠方へは公共機関使用が理想的だが、時間がかかるし、荷物が重いのでなかなか実行不可。
566	1092	自動車
567	1092	近いところは自転車や徒歩で遠い所や雨天、荷物が重い時には車を利用する。
568	1092	公共の交通機関であるバスの利用を増やすべきと感じた。
569	1092	将来 自動車3000cc 1000~1500ccの車に乗り換える 当面 自動車 自転車又は徒歩で可能な場合、活用する
570	1092	極力、公共の交通機関を利用したいと思っていますが、地方都市では便が少なく、結果的に自家用車を使うようになります。
571	1092	CO2が平均値より高いため
572	1093	公共の交通機関の利便性が良ければマイカー通勤をしなくてもすむのですが...
573	1093	自動車以外の交通手段については、1番にバス、次に自転車、最後に徒歩が考えられるが、朝、利用できるバスは3便あるが、帰りの便は20時半が最終であり、利用困難。次の自転車については、住んでいる場所が丘陵地にあり、登り勾配9%で約1.3kmあり、自転車をおしてあがるのは体力的に困難。最後に徒歩ですが、上り坂を含む約3kmの往復が毎日、出来ればと考えますが、体力及び時間がかかり、非常につらいので、通勤手段を複数組み合わせるべきかと考えております
574	1093	家から近いお店は、自転車を利用する。
575	1093	出来る範囲内で挑戦した。 これからも継続を心掛ける。
576	1093	積極的に取り組む姿勢が少ない
577	1093	自動車利用が多すぎた
578	1093	近距離行動は自転車を使う
579	1093	自動車利用を控え、公共交通を利用する
580	1093	車に乗るのは必要最小限とどめること。
581	1093	まだまだ自動車に頼っている。バスとか自転車の利用を考えないといけない。
582	1093	公共交通を使っていない
583	1093	公共交通機関の関係からやむを得ない。
584	1093	現状では止むを得ない
585	1094	クルマ利用率、ガソリン消費量、CO2排出量及び交通手段別CO2排出用のシェアが、平均を下まわっている。今後も、平均値を下げるよう、貢献していきたい。
586	1094	平均値より排出量が多いので、なるべく公共交通機関の利用を心掛けることが大事だと頭では分かっているが、つい自動車を使用してしまう。電車通勤を心がけることが大事だと思う。
587	1094	電車通勤が環境への配慮からするとベストと思う。ただし、時間効率を考えるとなかなか難しい。
588	1094	通勤で、自家用車の代わりに公共交通機関であるバスの利用を時々でもするとよいと思う。
589	1094	通勤距離は4キロ程度で本来ならば、自転車が適当な交通手段と思いますが、子どもを保育園に送迎しているため、今はマイカー通勤がやむを得ない状況です。
590	1094	週1日でも徒歩、自転車、バスによる通勤を実施するなど、環境、健康に配慮した行動をとるべきかと考える。
591	1094	雨や所用がある場合は仕方ないが、できるかぎり自転車や公共交通機関を使用するのが望ましいと思う。
592	1094	自動車の乗車に伴うガソリン消費量・CO2排出量については、ハイブリッド車で通勤しているため平均よりは抑えられていると思う。 今後の目標としては、週に1回程度はバスなどの公共交通機関を利用するように心がけたい。
593	1094	週1日
594	1094	電車やバスを利用する。
595	1094	バスを使うのが望ましい。 しかし、残業でバスの最終時間に乗れなくなることも予想され、(5時45分)バスで通勤するには心配である。
596	1094	多少の不便さはやむを得ないとしても、スケジュールや時間配分等を調整して、無理のない範囲内であれば、なるべく公共交通機関や自転車等を利用する。
597	1094	平均に対する比率は、平均以下のものの、車利用率が100%と車依存の生活となっている。この車利用率も平均より比率で下回りたい。
598	1094	数値が正しいものなのかな不安です。
599	1094	自宅から職場の最寄の駅まで電車通勤し、職場までは徒歩
600	1094	他の交通機関が望ましいが、残業等もあり自動車が多くなった
601	1094	利用できる公共交通手段があればできる限り利用する。 自動車通勤の場合でも、乗り合わせて使用する。
602	1094	なるべく公共交通機関(電車・バス)を利用し、通勤するのが望ましい。
603	1094	自動車以外の通勤方法にかえることが望ましいとは思いますが、残業もありますし、家の近くに駅もバス停もありません。残業のない日は、自動車以外の交通手段を利用するように心がけます。
604	1094	車の利用率が非常に高いので、可能な限り自転車や公共交通機関へ転換しなければ。
605	1094	公共交通機関をもっと利用すべきかもしれない。
606	1094	第2・4水曜日はバス通勤しているが、可能な限りバス通勤を増やしたい。
607	1094	特別な用事がない日は、早起きしてバスや電車通勤する。
608	1094	可能な時は、バスや電車を利用するように心がける必要があると思います。
609	1094	自宅が郊外のため、望ましいとは思わないが、現在の、通常自家用車、ノーマイカーデーに相乗りの方法しか考えていない。
610	1094	車社会に慣れた現状で、通勤方法の変更はかなり難しい状況である。 公共交通機関へ移行するにはそれなりの利便性が必要であり、現行のダイヤの大規模な組み替えなどが必要ではないだろうか。 ただ、今回の取り組みを実践するに当たり、目標として週1回程度をノーマイカーデーとしてのノルマにしたい。

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
611	1094	クルマ利用率が高い。乗車時間が短いので、他は平均の半分くらいであることがわかった。
612	1094	公共交通機関の利用が望ましいが、実際は難しい
613	1094	近くに公共交通機関の駅やバス停がないため、移動手段として自家用車以外の選択は難しいが、自転車等の活用によりCO2の排出削減を心がけたい。
614	1094	公共交通機関をできるだけ利用する。
615	1094	仕事の都合や費用の面でなかなか難しいが、職場のノーマイカーデーの時はできるだけ電車等の公共交通機関を利用し、普段の生活においてもマイカーの利用を極力避けるようにする。
616	1094	可能な限り、公共交通機関の利用に努める。
617	1094	可能な限り交通機関を利用することが望ましいが、地域の事情により交通の便が悪い場合は自動車を利用するが、提排気量、高燃費、低公害車をりようすること。
618	1094	近距離の移動は自転車や徒歩とするよう心がける。
619	1094	複数の交通手段を考える。
620	1094	数値化されることにより現状がより明確に把握できた。 しかしながら、子供の送迎等で自動車の利用はあと数年間はやむを得ない気がしている。 全てにおいて、平均を上回っている為、罪悪感を感じるが、生活する上で排出される自動車以外のCO2の量が分からないので、自動車を必要として利用している今、80点と少し高めに評価した。自動車が必要だからこそ、かきこく使いたいとは思っている。
621	1094	バスから電車を乗り継ぎ、最寄り駅から徒歩が望ましい。
622	1094	もっと自動車の利用を減らし、他の交通機関を使わないといけない。
623	1094	職場周辺での業務の場合は、自転車等の活用をすべき。また、目的地までの交通手段に公共交通機関がある場合は、できるだけ利用すべきと考えます。
624	1094	1ヶ月に何回かは、バス通勤を考えたい。
625	1094	理想は徒歩や自転車通勤だと思います。
626	1094	通勤手段を複数選択できる環境
627	1094	都会と違って公共交通機関を利用することが不便であるとともに、起伏に富んだ通勤交通路の生活環境にあるため、マイカーの利用は仕方がないと考えられる。ただし、自転車(できれば電動アシスト付き)を職場のノーマイカーデー等に利用してCO2削減等に貢献したい。
628	1094	勤務先と自宅近くを結ぶ公共交通機関があるが、便数の関係で利用しにくい。これが利用できれば、理想的と公共の交通機関を使用する方が環境にとって良いのはわかるが、あまりにも不都合な点が多すぎるため(バス停や駅が家から遠い、バスや電車の便数が少ない、通勤時間が倍以上かかる等)そこまでして自家用車の使用を避ける必要があるかどうか疑問に思う。
629	1094	理想は徒歩や自転車通勤だと思います。
630	1094	自転車
631	1094	車の利用率を下げ、ガソリン消費量とCO2排出量を引き下げることが可能と思う。
632	1094	買い物や入院している家族(3人)の様子を見に行くためには、私にとっては車は必需品です。 月2回のノーマイカーデーは病院に行かないように予定を組んでバスで通勤していますが、通常の通勤は今のところ車が便利です。 そのうち、病気が良くなったり等した時は、車を利用する回数を少なくしたいと考えます。
633	1094	宇部市は交通機関があまり整っておらずやむなく車で通勤しています。電車が1時間2本以上になれば私としても電車通勤に切り替えたいのですが。
634	1094	良いじゃん。
635	1094	バスや電車での通勤が望ましいと思う。しかし都会であれば交通の便が良いが田舎の方は、近くにバス停もなく、あるとしても、数がすくなかったりする。そのため、望ましい交通手段は低燃費、低排出の自動車が良いと思
636	1094	やめたほうがいい
637	1094	CO2を考えると、電車通勤が良いのですが、駅までの距離及び市交通局(バス)の状況を考慮すれば、バス通勤となります。
638	1094	週5日の出勤のうち、一日は徒歩、さらに一日は公共交通機関(バス)を利用する。(マイカー通勤を週3日以内に抑える。)
639	1094	電車やバスを利用して通勤できるというのはいいのですが、便数や経路などの問題があり、どうしても自動車を利用してしまいます。 ガソリン代に加えて駐車場代もかかるので多少無理をしても電車やバスを利用するというのはいいのですが、どうしても利便性を考えて自動車になってしまいます。
640	1094	自転車通勤
641	1094	通勤で自家用車を利用しているが、もっと小さな車で通勤するとよいと思う。
642	1094	通勤にもっとバス・電車を使用する必要がある。
643	1095	本当は、通勤にバス等を使えば望ましいのですが、交通の便が悪く帰りに困るので車を使用しています。
644	1095	通勤には、自家用車しか考えられませんが、休日の買い物にはバスを利用する(片道でも)ことは、可能です。
645	1095	自家用車は低燃費車に乗っているが、通勤はどうしても自動車を欠かせない。平均よりは排出量が少なかったのがよかった。
646	1095	通勤交通手段に公共交通機関を利用することにより、エネルギー消費量を削減したり、環境への影響を少なくすることが可能となると思いますが、現状では、朝夕、子どもを保育園へ送迎しており、またバスの便も限られていることなどから、どうしてもクルマ利用に頼らざるを得ません。
647	1095	自転車もしくはバス通勤が望ましいとは思
648	1095	自家用車で通勤するしか方法がない 地方では電車、バスではアクセスが悪すぎる
649	1095	バスでの通勤手段はありません。 電車は1回～2回乗り換え、さらにバスに乗り継ぎ職場へいくこととなります。 通勤時間は自家用車で約30分、電車等で約2時間掛かります。 早起きによる余分な光熱水費の使用や通勤途中の疲労等を考えると自動車通勤はやもを得ないと思います。

4.参加者コメント集
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
650	1095	交通手段として車以外に、バス及び自転車という手段がある。しかし、バスは1時間に1本位しかなく勤務時間と合致せず、自転車は国道2号線の大型車両通行が激しく危険なため、いまいちである。
651	1095	交通手段がないため、自動車を使わざるを得ない。
652	1095	通勤についてですが、公共交通機関が利用しやすい立地条件に自宅・職場・大型商用施設があり、かつ、自家用車を使用する場合に比べ通勤時間を短縮できるのであれば、公共交通機関を利用した方が良いと思う。通勤距離が比較的短ければ、自己の健康を阻害しない範囲で自転車等の利用も良いと思う。
653	1095	取り組むことができなかったのは問題だが、代替の交通手段が無く対応は難しい。
654	1095	公共交通機関が十分ではない。田舎なのでバスや電車は1時間に一本なので、これを使おうとすれば反対に仕事や生活に支障をきたすと思います。値段も高いし… だからといって、公共交通機関を使うのに1時間早く起きるとか生活リズムやスタイルを崩したくありません。
655	1095	でも、都会の様に交通機関が豊富なら使用したいと思います。
656	1095	便利なことばかり考えるのではなく、バス等を利用して通勤するなどしたほうが望ましいとは思いますが、環境のことを考えると、バスなどの公共交通機関を使うことが望ましいと思われるが、通勤にかかる時間が2倍になる上に、時間の制約がかかるので、やむを得ない。
657	1095	本当は、バス通勤が望ましいと思う。
658	1095	住まいが田舎であり交通手段は自家用車に頼りがちになってしまいます。地球温暖化問題等、十分に理解しているつもりではあるが、交通の手段がないためどうしても自家用車になってしまいます。
659	1095	自転車通勤も考えられるが、朝、時間的な余裕が無く、また、通勤時間がかかりすぎてしまうため、自動車がもっと、公共の交通手段もしくは自転車等を利用する。
660	1095	勤務地の関係で自動車以外の通勤方法は困難なので、乗り合わせて通勤する等の方法が望ましい。
661	1095	限りなく交通手段が不便なため仕方ない面があると思います。
662	1095	バス、電車を利用するよう心がけたい。
663	1095	公共交通機関が発達していればいいのですが……。
664	1095	環境に配慮できなくて残念です。
665	1095	環境面では、バス通勤が望ましいが、通勤時間、経費が大幅にかかる。
666	1095	公共の乗り物(バス、電車等)を利用すれば、自家用車の使用頻度が減るので、環境に優しくなると思います。(実際のところ、移動時間の関係から不可能ですが……)
667	1095	公共交通機関が整備されていないため、その利用もできない。距離的、地理的にも徒歩や自転車では現実的ではない。バイク通勤の事故のリスクは負いたくない。よって、自家用車でなければ通勤できない。
668	1095	自己満足。
669	1095	経済的及び肉体的に過度の負担とならない程度・範囲で自分に最適な交通手段を考え、実行する
670	1095	近距離では自転車や徒歩、遠距離では電車や地下鉄などの公共交通機関を利用するのが望ましいと考えるが、現状では通勤の際他の交通機関がないため、自動車以外の交通手段を利用するのは困難である。
671	1095	今回の取り組みによりCO2排出量等のことを改めて考えさせられました。
672	1095	途中まで自家用車で行き、その後100円バスが職場のすぐ近くまで行くので、バスで通勤すると、ベストだと思う。しかし、途中まで車で走っても、駐車スペースがない現状。
672	1095	遠いのでバスの便が悪く、子供の保育園の送迎もあり、自家用車以外の交通手段は今は難しいので、この点

4.参加者コメント集

(イ) マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
1	1071	時間が掛かり、手荷物も多い。
2	1071	遅くなると、バスが運行していない。
3	1071	大きな荷物を運ばなければならないため。
4	1071	大量に買い物した場合、荷物を運ぶ方法が他にあれば変更しても良い。
5	1071	一人で参加する場合もあるため。
6	1071	公共機関がないため。
7	1071	出勤時刻と勤務時間開始時刻と同じくらいになってしまうため
8	1071	他の交通機関がない
9	1071	費用、jrの運行時間、夜間の山道の安全上の問題。
10	1071	鉄道駅に到着後の交通手段がタクシーになってしまう。
11	1071	目的地の最寄りの駅からの交通手段がタクシーになる。
12	1072	遠隔地及び交通機関利用が不便な地からの通勤であるため
13	1072	移動に時間がかかるため
14	1072	買い物ですから
15	1072	公共交通機関で行くと時間がかかる。
16	1072	車で行くのに対し割高で時間がかかる。
17	1072	料金が割高
18	1072	業務上無理。 交通機関では、不便である。
19	1072	時間がMONEYである。SLOWは響きよいが生産性を考えると難しいと思う。
20	1072	目的地が山間部にあるため。
21	1072	山に行くのに他の交通手段がない
22	1072	公共交通機関の便が悪い
23	1072	色々なことに支障をきたす
24	1072	公共交通機関が整っていない
25	1072	家からコンビニまで遠い。
26	1072	車でないと、家を出るのが6時過ぎになるため。
27	1072	学校から帰る時間、塾が終わる時間が遅いため、塾に間に合うように行くとするとタクシーのりようにねり、また終わってからバスで帰ると家に着くのが10時半頃になるた
28	1072	公共交通機関で行きにくい。荷物が多い。
29	1072	車を持って行って修理するため
30	1072	車でいかなければ3時間くらいかかりそう
31	1072	食料品等の買い物に行く頻度が少ないため、一度の買い物で大量の物品を購入をすることから、持ち帰りの負担が大きいため。
32	1072	買い物の荷物が多いため
33	1072	定時に職場に行けない。
34	1072	目的地に希望の時間に到達できない。
35	1072	荷物が多いため手提げ移動には無理がある。
36	1072	目的が買い物であり、多くの買い物荷物が発生し、公共交通では無理。 駅、バス停までの移動、車内の混雑を考えれば、当然と考える。 一人での少量の買い物であれば、公共交通利用の可能性はある。
37	1072	息子2名の下宿先が、かなりへんぴな場所にあり、公共交通機関が通ってないため、車で行くしか方法がない。 公共交通を利用するとしたら、タクシーの利用となり、移動費用が高む。
38	1073	公共交通機関のルートがない
39	1073	公共交通機関のルートがない
40	1073	単身赴任のため帰省するとき経済的にも時間的にも無理がある
41	1073	公共交通機関を使う場合と比べ、多人数で行くなら車の方が安価だから。行動範囲も広がり、唐突な出来事にもすぐ対応できるから。
42	1073	ガソリン代が高い
43	1073	直行する交通手段がない。 店自体が車での来店に対応して郊外にある。
44	1074	複数で行動する場合、交通費がかかる。
45	1074	車で行ったほうがはるかに安くつく。
46	1074	子供が小さいため自転車等の利用が難しい。
47	1074	直通の公共交通機関がない。
48	1074	荷物が多し。自宅から遠く、公共交通機関だと乗り換え等で時間がかかる。

4.参加者コメント集

(イ)マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
49	1074	公共交通機関が少ない。
50	1074	自転車を利用したいが、子供が小さい。
51	1074	通勤は、電車に変更できるが、出張で公共交通機関の少ない地区に行くので、クルマが必要。
52	1074	通勤だけならば何とかなるかもしれないが、公共交通機関の発達していない場所への出張が多く、それに利用しなければならないため。
53	1074	高齢者(親)の通院のための送迎であり、タクシーでは時間が不規則で、利用しにくい。また、距離が近距離である。
54	1074	公共交通機関がない。
55	1074	目的地が2個所で、それぞれが離れており、バス等の本数も少ない。
56	1074	出発が朝早くて、JRがない。最寄りの駅から目的地まで遠い。
57	1075	交通の便が悪いので難しい。
58	1075	バスなどでは帰りの時間の調整が難しい
59	1075	子供を含む家族で移動するため。荷物が多い。
60	1075	帰宅のバスの時間が早く、便数も少ない。何よりバス停から自宅まで、1.5kmもある。
61	1075	自家用車でなく、公共交通を利用すると移動時間が120分となり、自家用車の倍以上の移動時間が必要となる。退社時間が18時以降になると公共交通では帰宅できなくなる。
62	1075	変更しようとする、公共交通機関を利用する事となるが、公共交通機関をりようすると移動時間が120分となり、自家用車の場合より70分移動時間増える。また、退社時間が18時以降になると公共交通機関では帰宅できなくなる。自家用車以外での移動はな
63	1075	公共交通機関の便が少なく、限られた時間のみしか移動することが出来ない。
64	1075	移動開始時間が遅く、公共交通では目的地に予定時間までに到達できない。
65	1075	運動用の道具がたくさんあり、自転車に載せることができない。
66	1075	良い時間帯に公共交通がない。帰宅するのに困難になる。
67	1075	電車・バスを複数乗り継ぐこととなり、また、途中、バス等不便地域に用務があり、時間的・経済的にも負担増となる。
68	1075	日用雑貨から食品類など嵩張る買い上げた品をどうやって運搬するか、宅配便に委託するなんてできますか。
69	1075	同乗といっても必ずしも相手方とのスケジュールが合うわけでもない、簡単には事は運ばない。
70	1076	仕事を終えて運動するための利用であるが、公共交通機関では時間の予定が立たない
71	1076	観光バス又は公共交通機関で移動が難しい。時間的制約もある。
72	1076	買い物の持ち帰り等車でない場合移動が困難
73	1076	単身赴任により週末に帰省しているが、公共交通機関が不便であり費用も相当掛かるので変更は難しい。
74	1076	公共交通機関が、存在せず、自転車の利用では、荷物の持ち運びが、難しい。
75	1076	家族5人で移動しているため、及び道具の運送があるため、他の交通手段では、無理がある。
76	1076	バスの便が悪く、目的地まで距離があるため。
77	1077	交通手段がない
78	1077	単身赴任で帰宅するために自家用車を利用しているが、費用、時間、アクセスに難点が
79	1077	公共交通機関の終発時刻が早い。
80	1077	大量物品購入する際、自家用車が便利。
81	1077	接続時間にムラがある。
82	1077	便利さ
83	1077	残業がなければ変更ができないことはない。
84	1077	バス等を使った場合、実家で身動きが取れなくなる。
85	1077	車以外の利用だとバスが考えられるが、バスの本数が1時間から1時間半に1本しかない、出勤や帰宅に時間の制約ができてしまう。帰宅時には途中で買い物や用事を済ますのに寄り道をしなければいけないので、その都度バスに乗り換えていたのでは膨大な時間と労力がかかってしまう。
86	1077	週に一度しか大きな買い物はしないので、買った品物がたくさんあり公共交通機関での移動は大変である。車で行くと片道20分程度で行くが、公共交通機関でいくと1時間以

4.参加者コメント集

(イ)マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
87	1077	運動用具一式を持って行かなければいけないので、他の乗り物に変えるのは難しいで
88	1077	郊外のスーパーのため。
89	1077	親戚の葬式、納骨、法事が昼2時から夜9時までであり、いくまでの交通手段は確保できるが、その後の方法がない。(タクシーを使えば可)
90	1077	朝の鍵当番であり、出勤時間に間に合う交通手段がない。(タクシー以外にない)
91	1077	公共交通機関のダイヤに行動が縛られる。 便数が少ないため動きに制約がでてくる。
92	1077	公共交通機関が通っていない。
93	1077	行きは良いが帰りは荷物がある。小さく軽いものならいいが、大きなものなどバスや自転車では難しい。
94	1077	自宅と勤務先を結ぶ公共交通機関が脆弱であり、出勤・帰宅にかかる時間的なことを考えると、絶対に無理とは言えないものの相当難しい。
95	1077	鉄道による移動も出来ないわけではないが、時間的な制約、並びに駅から目的地への移動もあわせて考えるとかなり無理がある。
96	1077	利便性が悪い
97	1077	他の交通機関が不便
98	1077	車の燃料給油のため
99	1077	買い物をした量による。
100	1077	遠距離で電車等で移動は可能ですが、目的地に近い駅からの交通機関の便数が非常に少ないため。
101	1077	タクシー利用以外乗換えが多く時間も1時間以上かかる
102	1077	高速バス、金額と深夜の時間がない為(最終19:00)業務に支障をきたす
103	1077	所要時間と交通費
104	1077	利便性と目にみえる経費
105	1078	仕事で帰宅が遅い為。
106	1078	公共交通機関の出発時間に合わせられないし、帰省する時の荷物が多い為。
107	1078	墓地が山の頂上付近にあり、年老いた祖母に山を登らせるには無理がある。
108	1078	公共交通機関のない地域への移動のため。
109	1078	買い物先が決まっているが、そこまでの公共交通機関がなく、現状では難しい。
110	1078	あまりにも時間がかかり過ぎ、帰省する意味がなくなる。
111	1078	夕方の塾送迎であり物騒である。よって、難しい。
112	1078	完全変更でなければ可能。 雨、バスのスト等の時、車の用事があるとき無理である。
113	1078	公共交通機関の便が少ないから また、目的地に着いた後も、時間に制約のある移動があるから
114	1078	公共交通機関では不便
115	1078	他に利用する交通機関では不便
116	1078	他の交通機関では時間がかかりすぎる。
117	1078	近くに駅がない
118	1078	お金がかかる。
119	1078	家族で移動する際に、荷物を運びきれない。
120	1078	深夜過ぎて遊びに行くから 最寄のバス停まで何キロもあるから
121	1079	目的地付近に公共交通機関が無い。
122	1079	他の交通機関では、便利が悪い。
123	1080	寄港場所のアクセス容易さに左右される。
124	1080	行きつけの書店なので場所的に公共交通機関を使うと時間のロスが激しい。
125	1080	保育園の送迎があるので、絶対無理ではないが時間的に難しい
126	1080	兄が帰省したため駅まで送迎するのが目的だが途中何箇所が寄る場所もあり、移動人数が多いため絶対無理ではないが難しい
127	1080	仕事の帰りに保育園の迎えに行った後保育園の近くのスーパーマーケットに買い物へ行き帰宅する予定で、行く店を変えるか仕事を早く切り上げて行くしかないのが難しい
128	1081	バス便がなく、徒歩移動も無理であり、タクシー利用することはできるが経費の問題が発生する。
129	1081	同伴者が同一宿舎であれば相乗りで行くことはできるが、ほとんど一人でいくことが多い。ゴルフ場の所在地からしてマイカー以外の利用は考えられない。

4.参加者コメント集

(イ)マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
130	1081	駅までの交通手段
131	1081	要する時間、経費が倍近くになるため。
132	1081	公共交通利用は時間がかかり、帰宅時には時間の制約を受ける。
133	1081	スーパーから帰宅するバスがいつ来るか(便数が極めて少ない)わからないから
134	1081	公共交通が不便
135	1081	荷物もあり公共交通は不便
136	1081	一週間分の食品等を購入するため
137	1081	公共交通機関を乗り継いで行くことは可能であるが、所要時間が2倍以上かかり、時間の無駄、費用が相当割高になる。
138	1081	買い物したものを持って、交通機関を利用するのは乗り換えの可能性もあり難しい。
139	1081	バス停が遠い
140	1081	JR駅から自宅までの公共交通がなく家内に迎えに来てもらわないといけないため
141	1081	時間がかかる
142	1081	大きな(重い)荷物を買いに行くため
143	1081	適当な公共交通機関がない。
144	1081	公共交通機関等が無い。タクシーで行くならマイカーで行く。
145	1081	郊外型店のため、公共交通機関の便が悪く、自転車では距離がかなりあるため。
146	1081	JRを使うにしても、最寄駅が遠く、そこからの交通手段がない。
147	1081	大型・重量物を購入するため。
148	1081	他の交通機関(バス)の便があまりないため不便
149	1081	温泉がへんぴなどところがあるので行きにくい
150	1081	公共交通はバスしかない。しかし便はほとんど無い。移動だけで倍以上の時間。荷物は持って炎天下(その逆も)で待てない。交通形態も自家用車で施設は考えて現在の位置にあるようです。バス停も近くにない。
151	1081	幼児を連れての公共交通機関の利用は無理。
152	1081	幼児を連れての移動はマイカーが一番便利。
153	1081	自分が使用していないのでわからない
154	1081	自分が使用しないのでわからない
155	1081	荷物があるため、公共交通機関等に変えられない。
156	1081	荷物があるため、公共交通機関に変えられない。
157	1082	費用面と帰省先で車を利用する。
158	1082	仕事が終わってからの送迎なので時間的に無理。歩いて又は自転車で行ける距離ではない。
159	1082	車の整備が目的(趣味)であるため。車がないと目的を達成できない。
160	1082	待ち合わせ時刻に到着できない。
161	1082	目的地が少し遠い。荷物が重い。
162	1082	目的地が少し遠い
163	1082	買い物は纏めて買うので、荷物はかなりの量になる(買い物袋が7~8)これをバスで運べますか。
164	1082	クルマであれば、移動及び用件に要する時間が半日で可能なものが、鉄道、バス等の交通機関を使用すると、まるまる1日を費やしてしまうので、時間的に無理がある。
165	1082	買い物の量が多く、重量がかなりあるので、手提げで移動して持ち帰るのは非常に困難である。
166	1083	天候(朝から帰宅まで雨が降らないこと)、帰宅時間(夜遅くならないこと)、買い物予定(その日の食材等を帰りに買う必要がないこと)等の条件が確実に揃う日でなければな
167	1083	重い荷物を買う際に車が必要なため。 幼児と一緒に外出するため。
168	1083	店舗が遠く、買い物した場合の荷物があるため
169	1083	朝は時間的にきつい
170	1083	公共交通機関が整備されていない
171	1083	子供を保育園に送迎しているため、送迎がない日は変更可能
172	1083	代替交通手段がない
173	1083	目的とする店に行くだけでなく、そこから他の店に行くから、
174	1083	他に手段は面倒だから
175	1083	時間的ロスが大きい
176	1083	家具類を買おうと思ったので、荷物が想定される。

4.参加者コメント集

(イ) マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
177	1083	夜間である。 近くに公共交通機関の駅がない。
178	1083	荷物が多い
179	1083	夜間である。 荷物が多い。
180	1083	自転車では少し遠い、公共交通機関はない。
181	1083	公共交通機関の運行時間外
182	1083	公共交通機関がない
183	1083	途中に子供の送迎もあるので難しい。 パークアンドバスライドについては、今と同程度の所要時間で、かつ、到着時間の保証があれば、変更する可能性はある。
184	1083	公共交通機関が不便。 車から自転車への移動手段の変更はできるが、常には難しい。
185	1083	バス停、JR駅までの距離が長く、また、運行時間も合わない。
186	1083	・早朝出勤である。 ・路線バスがない。 ・片道6キロである。
187	1083	店までの距離が遠く、町のバスも時間制限がある。
188	1083	駅までの交通手段に制限がある。
189	1083	遅いのでクルマ以外に帰る手段がない。
190	1083	乳児がいるため
191	1083	道具を持ち運ぶため
192	1083	公共交通機関を利用すればよいが、人数が多いため旅費にお金がかかる。
193	1083	公共交通機関がない
194	1083	乳児がいると公共交通機関の利用は困難なため。
195	1083	乳児を連れて、荷物も抱えながらは困難
196	1083	公共交通機関の発達していない地域であり、電車やバス等を使うとかなり時間などがかかる。
197	1083	列車の本数が限られている。乗り継ぐと2時間かかる。
198	1083	荷物が大きいので公共交通機関で持ち運び不可能
199	1083	JR利用の方法等はあるが、自動車利用に比べて接続等無駄な時間がかかり、自動車を保有している意味がなくなる。
200	1083	前後の予定から間に合わない。
201	1083	公共交通機関だと時間が多くかかるうえ、荷物の運搬を伴うので。
202	1083	荷物が多いため
203	1083	目的地が遠方で、交通の便が悪いため
204	1083	生活上必要
205	1083	生活上必要。
206	1083	新幹線が福岡までしか通ってないから。
207	1083	大きめのものを買ったとき、車で運ばないと無理なこともあるので。
208	1083	近距離の引っ越しの手伝いのため、クルマでの行き来が必要となると考えられるため。
209	1083	入院中の親族への生活用品の運搬が目的であり、タクシー以外の交通手段への変更
210	1083	荷物が重い。
211	1083	遠い。
212	1083	荷物が多いから
213	1083	業務で出かけるため、荷物が多く、バイクへの変更は困難である。
214	1083	公共交通機関では行くのは不便なところ
215	1083	借家から実家まで、電車・バスともに直通のものはない。 乗り継ぎで行くにも、便数がなく、 やらなければならない用事を済ませることができない。
216	1083	公共交通機関の便が悪い。
217	1083	自転車では遠い。公共交通機関が近くにない。
218	1083	自転車だと遠い
219	1083	他の交通機関を利用すると目的地に着かない。
220	1083	ガソリンの料金が高騰し、他の交通機関との運賃との比較により車の法が負担が重い場合は変更する。
221	1083	行き先までの公共交通手段がない。

4.参加者コメント集

(イ) マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
222	1083	時間に間に合う交通機関がない。
223	1083	荷物が多い。目的地が複数。
224	1083	電車利用及び徒歩に変更することも可能だが、時間がかかる。
225	1083	家族の理解が難しい。
226	1083	ローカル線のためいい時間帯がない。また、駅で下車後、最終到着地までは、約5kmほどあり、重い荷物があるため、タクシーでの乗り継ぎ(往復)となり、費用的にも困難で
227	1083	目的地への往復に立ち寄る場所もあり、代替手段では時間的にもコスト的にもかえってロスが大き。
228	1083	当該業務の前にもう一つ業務があり、それが終わり次第津山へ駆けつける必要がある。津山でも臨機応変に動く必要があることから、JRによる移動は極めて困難である。また夜の津山はバス便がないことからタクシーを利用せざるを得ず、時間的・金銭的に口
229	1083	その場所へ行くバスの便が乗り換えとなる。荷物が発生するため、車が便利。
230	1083	自転車では遠い
231	1084	帰宅時間が遅いのでクルマを利用している。
232	1084	交通の便が悪い。
233	1084	朝の出勤でバスへ乗り換えることはできるが、帰宅時に最終バスに乗ることができない。
234	1084	遊びに出かけるために車が必要
235	1084	目的地までの公共交通機関がなく、また距離的に自転車での走行は無理である。
236	1084	バスの運行の便数が少なく不便。荷物が多く移動が困難。
237	1084	バスの運転の便数が少なく不便なため。
238	1084	買い物に行くと帰りには荷物が増え、多くの荷物を持って電車やバスに乗ることは困難である。また、徒歩や自転車では大きな荷物が運べない。
239	1084	テニスラケット、テニスシューズ等、荷物がたくさんあるため。
240	1084	友人と遊びに行くときは公共交通で行くと乗り継ぎ等に時間がかかるうえに、運賃が高く
241	1084	バスは料金が安い
242	1084	車のほうが便利 他の交通手段が少ない
243	1084	小さい子供がいるため車が便利
244	1084	車以外の交通機関が少ない
245	1084	不便
246	1084	車で、来ているから。
247	1084	交通手段がない
248	1084	電車での移動も可能であるが荷物が多いので、難しい。
249	1084	小さい子供が2人いるため、自転車は不可 徒歩だと買い物を持ってなくなるのと、往復に時間がかかりすぎる
250	1084	小さい子供がいる 公共交通機関だとアクセスが悪く時間がかかりすぎる 荷物があるため大変である
251	1084	時間に制限がある。
252	1084	予定に変更の可能性あり
253	1084	移動時間の差がない。公共交通の駅まで遠い。また、便数が少なく最終早い時間になく
254	1084	公共交通機関の運行本数、最終便等の関係で利用が困難である。
255	1084	公共機関の利便性が悪い
256	1084	幼児がいるため
257	1084	幼児がいるため
258	1084	幼児がいるため
259	1084	残業で遅くなると電車がない。
260	1084	直通の公共交通機関がない 買った品物を自転車で持ってかえるのは難しい 自転車で行く距離としては少し長すぎる
261	1084	子供が幼く(這い這い)、帰りには生鮮食料品などの買い物で荷物が増えることから、自動車利用を変更することは困難である。
262	1084	他に手段がないため
263	1084	他の手段がない。

4.参加者コメント集

(イ)マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
264	1084	子どもがいるため車以外の移動が難しい。
265	1084	子どもがいるため車以外の移動が困難であるため。
266	1084	大きな個人荷物を運ぶのに公共交通は不適
267	1084	週に1度まとめ買いをするため、自転車等では1回で運べないため。
268	1084	公共交通機関で行こうとすると、乗り継ぎが多く、車なら30分だが、乗り継ぎ時間も考慮すると、2時間近くかかる。また、バスの便が少なく、希望の時間にそこに行くことがで
269	1084	車でないと購入商品が運べない
270	1084	購入商品が運べない
271	1084	遠方であり、また公共交通機関がないため
272	1084	家族が体調不良であるため
273	1084	行動範囲が限定される
274	1084	他の交通機関では徒歩が多すぎる。
275	1084	子供が小さいため。
276	1084	子供が小さいため。
277	1084	障害者が同伴するため
278	1084	障害者が同伴するため
279	1084	目的地に行ける公共交通機関がない。 複数で行くため、バイク等が利用できない。
280	1084	幼児と荷物を抱えていなければ変更可能。 このため、通勤は電車である。
281	1084	公共交通機関が無く、幼児と荷物を抱えて、自動車以外の利用は無理。
282	1084	公共交通機関(バス)の便数が少ないため。
283	1084	荷物が多く、重量がありかさばる。団体行動をする。
284	1084	荷物が重たく、かさばる。公共交通の利便性が悪い。
285	1084	自家用車利用の2倍の時間がかかる
286	1084	家族と行くため。
287	1084	家族の都合。効率化を進める
288	1085	時間がかかる
289	1085	公共交通機関がない
290	1085	買物の量によって変更できる
291	1085	電車・バスなし。同乗する相手もない。
292	1085	荷物があるため疲れる
293	1085	時間ロスが多い
294	1085	時間が余分にかかる
295	1085	他の人を乗せて移動するため
296	1085	小さい子どもがいるため公共交通機関は利用しにくい
297	1085	小さい子どもがいるため保育園への送迎がある
298	1085	公共交通機関もなくゴルフバック等の荷物があるため
299	1085	子どもの送迎
300	1085	交通機関が少なく、交通機関を使うと時間がかかりそうな気がする
301	1085	公共交通機関がない
302	1085	色々な場所に行くのに交通機関を使うより便利だし、荷物などが多くなった場合、自家用車の方が便利だから
303	1085	家族に老人がいる
304	1085	公共交通の路線がない
305	1085	家族が高齢で歩行困難
306	1085	荷物が重い
307	1085	雨の日は車が便利
308	1085	バスの便ない
309	1085	母は、高齢でバスに乗れない
310	1085	バス停まで距離が長い、またJR線の駅までの交通手段がない。
311	1085	公共交通の方がはるかに時間がかかる。
312	1085	車以外だと足の確保が難しい。
313	1085	代替の確保が難しい。
314	1085	代替の交通手段の確保

4.参加者コメント集

(イ) マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
315	1085	自宅から、スーパーマーケット近くまでのバスの運行がされていない。 自家用車を保有している実態があり、3～4km程度は、健康のためにも、自転車の利用は不可能ではないが、移動時間が車の2～3倍かかり、買い物の荷物もあることから、車を利用してしまおう。
316	1085	腰痛等の治療のために通院しており、バスが走っていないため、車以外なら、距離からして自転車しかないが、自転車でも病院まで25～30分程度かかると思われ、体への
317	1085	乗換が多く時間がかかる
318	1085	バイクで走るのが目的なので絶対に無理
319	1085	バスに変更できるが、時間が3倍かかる。 家族5人のため費用も高額となる。
320	1085	休日は自動車に変わる交通機関がない
321	1085	他の交通機関が未発達のため、自由かつ機能的な移動に大きな制約を受けることが考えられる。
322	1085	家族4人であるし、年寄りが同情しており、車の方が便利である。
323	1085	買物した荷物を自転車では運びにくい
324	1085	釣りに行く場合、荷物が多いことと、交通機関がない
325	1086	自転車では、積むことの出来る荷物に限度があり、壊れやすい物も運ぶのが困難となる。バスでは時間の制限などがあり利用しにくい。
326	1086	保育園の送り迎えがあるから
327	1086	お店が遠いため
328	1086	病人を連れてくるから
329	1086	勤務時間が遅くなるため公共交通機関が運行していない
330	1086	残業等で帰りが遅い
331	1086	田舎ではバス等が1時間から2時間に1本しか通っていない。不便でしょうがない。
332	1086	単身赴任のため、100Km離れた家に車で帰宅する
333	1086	公共交通機関の運賃はは自家用車利用のガソリン代より相当高額であり、時間の制約もある。
334	1086	自家用車以外はバスしかないが、子どもを通所施設に送ってゆく必要があるので通勤経路の途中でバスを降りることになり、乗り継ぎの便はないので遅刻してしまう。
335	1086	帰宅時間が遅い日は、公共交通手段がない
336	1086	バスの便が少なく、行動可能な時間が制約される。
337	1086	駅までの交通手段が無い。
338	1086	公共交通機関の便が悪いことにより、待ち時間が多く、所要時間が大幅に増える。
339	1086	いつもより早く自宅を出る必要があることと、悪天候の時は億劫。
340	1086	ほかには徒歩しか手段がないので、買った荷物を運ぶのが億劫
341	1086	公共交通機関の利便性が悪いので通勤に支障をきたす。
342	1086	公共交通機関が少なく、時間がかかるうえ、荷物を運ぶのが困難。
343	1086	バスの時間が早い。バス停まで遠い。
344	1086	荷物が多い。使いやすい公共交通機関がない。
345	1086	JR列車を利用することになるが、実家の最寄の駅から公共交通機関のアクセスが悪
346	1086	荷物が多いため
347	1086	現状で、徒歩、自転車が利用できる場所は利用している。現状で、自動車を利用しているところは、自動車しか移動手段がない場所となっている。
348	1086	バスの便利は悪く、目的地までの距離が遠い
349	1086	公共交通機関の運行頻度が低いため、有効に時間を使うためには自動車利用せざるを得ない。
350	1086	休日にまとめて買い物をしているため荷物も多くなるため。
351	1087	勤務地までに乗り換えが必要、適切な時間に運行していない
352	1087	バスルートがない。時間が不定。
353	1087	時間がかかりすぎる。自由な日程が組めない。
354	1087	駅周辺に店が少なく、帰りに寄ろうとすれば必然的に車になるし、帰りにスポーツをすることも少なく、車での通勤が不可欠である。また、JRやバスを利用すると、運行本数が少ないため時間の制約ができる。
355	1087	だいたい毎週野球の試合をしているが、用具もたくさんあるし、球場には車でしか行くことができないため、無理である。
356	1087	帰宅時間が不規則なので。
357	1087	公共機関(バス、電車等)が通っていない

4.参加者コメント集

(イ) マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
358	1087	郊外の住宅地のため、変更する場合の交通手段としてはバスしかなく、バスの運行便数が平日でも少なく特に日曜日は運休になる便もあるため、買い物時間が限定される。また、目的地が1箇所でないため、バスの乗り換えが何便も必要となり、2時間程度の買い物時間が4～5時間もかかることになり、休日が有効に過ごせない。
359	1087	郊外の住宅地のため、変更する場合の交通手段としてはバスしかなく、バスの運行便数が平日でも少なく特に日曜日は運休になる便もあるため、時間が限定される。また、バスの乗り換えが何便も必要となる。
360	1087	郊外の住宅地のため、変更する場合の交通手段としてはバスしかなく、バスの運行便数が平日でも少なく特に日曜日は運休になる便もあるため、時間が限定され、登庁時間に合う便がない。
361	1087	仕事上、突発的な事態に対応せざるを得ないため、車の利用が不可欠で、朝の通勤は良くても帰れないということになる可能性があるため。
362	1087	時間的制約がある。
363	1087	勤務の都合上、公共的乗り物での帰宅は難しい。
364	1087	時間的制約の上、荷物等があり、公共的乗り物では難しい。
365	1087	目的地を決めて最短距離で向かうことで、無駄な走行を減らすことは可能。だが、家族に高齢者がいるため、自家用車以外の交通機関を利用することはできない。
366	1087	職場から家までの送迎なので、車以外に方法がない。
367	1087	1週間分の買い物を行うので荷物が沢山あり、他の交通に変更は困難である。
368	1087	帰りが不規則のため、公共交通機関を利用した場合不便である。また、公共交通機関のダイヤ数が少なく、最終に間に合わない。
369	1087	乳児期の子どもがいるので、他の方に迷惑をかけてしまう恐れのある公共交通機関の利用は避けたいから。
370	1087	距離が結構あるため、自転車等では難しい。
371	1087	荷物が増えるので運搬が困難となる。
372	1087	近くに適度な公園が無く、遊び場に事欠く。 小さい子なので、自力で自転車は難しい。
373	1087	他の交通手段がない。自宅と職場が離れている。
374	1087	交通機関が整備されていない。便数が少ない。時間がかかりすぎる
375	1087	自転車では距離がありすぎる、バスの利便性が著しく悪い 電車はない、通勤途中で保育園に子供を送るなどする必要があり、自家用車以外考えられない。
376	1087	勤務時間が不規則なため利用しづらい。
377	1087	子供に障害があるため車での移動が必要。
378	1088	公共交通機関の便数が少なく、移動に時間がかかる。
379	1088	公共交通機関が目的地まで接続していない。荷物を抱えて移動することが困難
380	1088	バスの便があるが、時間がかかりすぎ、利用は困難。
381	1088	バス便があるが、自宅からでは、不便。
382	1088	娘がクラブ活動を行うので、休日の日には、高等学校まで送迎している。娘が自転車で行ければいいが、荷物が多く、難しい。
383	1088	歩くには距離がありすぎるし、バスだと便が悪い。
384	1088	公共交通機関では通勤に数時間かかるため、自家用車以外の通勤は不可能である。
385	1088	買い物が多くて車でなければ運べない。
386	1088	居住地から勤務地への公共交通機関が不便である。特に、残業が多く、帰り便が非常に少なく、対応できない。
387	1088	調査器具等を運搬するために、絶対車が必要である。 また、公共交通機関で現地まで行けない。
388	1088	家族に身体障害者があり、自家用車しか、移動手段がない。
389	1088	公共交通機関を利用することになるが、時間がかかりすぎて対応できない
390	1088	バスの便数が少なく、帰りのバスがない
391	1088	時間がかかる
392	1088	電車の利用が考えられるが、出発時刻が30分以上早くなる。所要時間がかかる。少なくとも毎回他の交通機関を利用することは難しい。
393	1089	徒歩では移動が困難。
394	1089	他の交通機関の便が悪い
395	1089	子供が小さい
396	1089	保育園経由のため

4.参加者コメント集

(イ)マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
397	1089	遠距離 子連れ 荷物あり のため
398	1089	公共交通機関は、時間が合わない
399	1089	子どもがぐずる
400	1089	公共交通機関は時間が合わない
401	1089	バスの便数が少ない上に、最終に間に合わない場合もある。
402	1089	通勤に、バス、電車を乗り継がなければいけないため、大幅に時間がかかるから。
403	1089	帰宅時間内の公共交通手段としての最終便に間に合わない。
404	1089	現場に行く公共交通手段がない
405	1089	公共交通手段が無い
406	1089	道具を運ぶ都合があり車が必要
407	1089	目的地までの交通機関が直通がなく、利用したら車より時間がかかるため、変更は
408	1089	他の交通機関を利用すると時間がかかる。
409	1089	他の交通機関を利用すると時間がかかるのと、夜遅くだと利用できないため。
410	1089	物品の搬入があるため
411	1089	車以外の移動手段がない。
412	1089	緊急時において、移動に時間がかかりすぎる
413	1089	他の交通機関が存在しない
414	1089	まとめ買いをするので、荷物が多くて無理。
415	1089	変更すれば時間が非常にかかる又は夜道を歩かざるを得ないので日常生活に支障か つ安全上不安
416	1089	時間がかかる・夜道を歩くようになる
417	1089	通勤距離が長い
418	1089	通勤距離が長い
419	1089	通勤距離が長い
420	1089	荷物が多く、また時間的余裕がない
421	1090	自宅から自由な時間帯に出掛けたい。公共交通機関はなく、徒歩で行くには遠すぎる。
422	1090	わざわざガソリン代より高い追加費用を払って変更を考えない。
423	1090	荷物を抱えてかえれる距離でない、目的地に行くバスルートが無い。
424	1090	山口県内のほとんどの行楽地は、公共交通機関が充実していない。下関市や周南市の ような都会に行く場合には、公共交通機関を利用できるが、行楽地ではないため意味
425	1090	バスの便が異常に少なく当てにならない。地下鉄等がなく、電車の駅も近くにはない。
426	1090	都合の良い時間に家を出たいから。 帰りの時間が不確定でJRやバスとかの乗り継ぎが悪い。
427	1090	帰りの時間が不確定だから。
428	1090	帰りの時間が不確定だから。
429	1090	毎週土曜日に妻と義父への面会に自家用車でいっているが、これを見直すとすると、時 間的・経済的に大きな負担となる。 車では、往復40分、バス乗り継ぎ90分(徒歩を含み、バス待ち時間考慮せず)、自転 車75分位と考える。自転車では天候も考えることになり、自転車も1台しかなく、車とな
430	1090	実家の両親ご機嫌伺いであるので、現地で雑用をこなす必要がある。(買い物・墓参 病院へ連れて行く)
431	1090	公共交通機関かの駅(停留所)からは徒歩では遠い。 (荷物があるので、難しい。)
432	1090	子供が小さいため
433	1090	子供が小さいため
434	1090	自宅からの距離が遠い。 自動車を運転できない時には、自転車しかなかったので かなり長い時間をかけて行っていた。
435	1090	毎週行かなければならないため交通費が掛かる。また急な用事などができた場合自由 がきかないと困る。この行動に合わせて買い物なども済ませるため荷物などを考えると 難しい。公共機関を使うと時間が倍掛かってしまう。
436	1090	残業で遅くなりバスがない時間に帰ることがある。住んでいるところに行くバスが少ない (特に夜は)
437	1090	週末にまとめ買いをするため、荷物が多く変更は難しい
438	1090	終末にまとめ買いをするため、荷物が多く難しい
439	1090	週末に纏め買いするため、荷物が多く難しい
440	1090	運転する人が遠い、かつ交通の不便なところから来るので。

4.参加者コメント集

(イ)マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
441	1090	バス停があるにはあるが、便が少なくそこからかなり距離がある。 花、供え物、水桶等を持って行くのは大変である。
442	1090	荷物が多く距離があるので徒歩等は無理。 バスは直通がなく、かなりの時間を要す。 電車はない。
443	1090	・住居が山の中の団地でバス停やJRの駅まで歩くと片道15分、年寄りには20分以上かかる。また本数も少なく、何度か乗り換える必要がある。 ・両親(80歳台)と同居しており、1週間に一度家族全員同乗し行くことにしており、荷物も多くなるため他の手段はタクシー利用となる。 ・住んでいる場所は郊外型スーパーが主流で公共交通機関の便利の良いところは少ない。勿論パークアンドライド利用はインフラ無し。
444	1090	変更となれば電車となるが、始発駅までの交通手段は車となる。 電車の便も一時間に一本の割であり、不便である。 また、目的地に降りて買い物を済ましても帰宅の電車の時間が 気になり、電車は利用したくない。
445	1090	車以外の交通手段にすると、出勤時間に余裕が無くなり、 非常に不便になる。
446	1090	下車駅から遠距離である。
447	1090	退社後、英会話やゴルフ練習等がある日は、時間的・物理的に無理です。
448	1090	代替手段としてJR、新幹線を利用しますが、長時間となり、値段的にも負担が2倍となり 難しい。
449	1090	ゴルフ仲間を同乗させることは可能。
450	1090	バスの本数が少ない。
451	1090	目的地に向かう交通手段がない
452	1090	目的地に交通手段がない。
453	1090	公共交通機関(バス)の本数が多くなく、特に終業時便利ではない。
454	1090	遠方で自家用車以外の交通手段がない。
455	1090	公共交通機関の便が悪い
456	1090	終業後に寄る所(習い事等)があるため、帰りが遅くなる上、 手荷物も多い。 自宅から最寄の駅・バス停まで距離がある。
457	1090	買い物後の手荷物が重い。 それから、バス・電車のサービスがもっと良くなれば・・・ (運行本数の増加、バス停数の増加、最終の時刻を遅くする等)
458	1091	荷物と人の送迎であるので、自家用車を利用。
459	1091	不便だから
460	1091	疲れるから
461	1091	荷物が重いし、疲れるから
462	1091	通勤の帰宅時間が不規則であり、公共機関を利用するにしても、バス・電車の本数が 少なく最終便に間に合わない等の時間の制約がある。 又、公共機関料金も馬鹿にならない。
463	1091	スーパー等買い物に行くにも公共機関を乗り継ぐ方法しかが無い為、大変不便なため、 自家用車の利用しか考えられない。 但し、家族と同乗してそれぞれの買い物を行なうよう、車の利用回数を減らす。
464	1091	車のパンク修理のため
465	1091	子どもを連れて歩くには、少し遠すぎるし、公共交通機関がない。
466	1091	電車の最寄の駅が遠い。また、電車に変更した場合、運賃が高速利用費及びガソリン 代を上回り経済的でない。
467	1091	幼稚園の近くに駅やバス停がない。
468	1091	自宅から最寄の駅までの距離が約4kmと遠い。バス停は本数が少なく会社方面への便 がない。
469	1091	交通手段はバスがあるが時間が遅い
470	1091	交通手段が無い
471	1091	交通手段が無い
472	1091	本年度は子供の大学受験があり塾への送迎が必要となる。公共機関使用すると待ち時 間に無駄が多い。

4.参加者コメント集

(イ)マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
473	1091	荷物(キャディバック)を運搬する必要あり。距離が長い。また、友人と一緒にいっても家が遠いのでメリットが無い。
474	1091	買い物後の荷物が多く、重い。
475	1091	公共交通機関では、会社に間に合わないから。
476	1091	業務開始時間に合った、列車の便数が1便であり、それに合わすのは負担である。
477	1091	朝は都合のいい電車の時間が1本しかなく、帰り時間は不規則のため。
478	1091	駅もバス停も遠いし幼児がいるので、難しい
479	1091	駅が遠い
480	1091	バス停が遠い
481	1091	電車が1時間に2本しかないためその時間に合わせるのは無理ではないが難しい状況であるため。
482	1091	バス停・駅から交通の便が不便
483	1091	就業後の行動に、交通の便からみて、自車の方が自由行動できるから。
484	1091	利用できる交通公共機関がない。自転車で子供を連れて行くには遠すぎる。
485	1091	通勤路に街灯がない個所があるため、帰宅時間が遅い場合には危険なため
486	1091	公共交通機関の利用できる時間が制限されている。1時間に1本程度しかないような状況では利用は難しい。
487	1091	公共交通機関なし
488	1091	自宅から実家までのおのおの最寄駅が遠い 子供が小さい(2人)ので自転車や徒歩では難しい 朝、自宅を出発する時間帯が早い
489	1091	人員削減のおり、一人一人への業務の量が増えているので、なくべく時間を有効的に利用しないと、残業へとつながる。
490	1091	子供が小さい(2人)から。 時間に余裕がないから。
491	1092	1.電車、バスの乗り換えがあり、待ち時間が多い 2.電車バスの本数が少なく、帰りが夜になると待ち時間がさらに多くなる 3.車に較べると費用が倍以上かかる 4.複数の用事を一度に済ませることは既に日常的に実施している 5.徒歩や自転車では距離があり、交通量も多いので危険である 6.病院(見舞い)へは他の交通手段では仕事の帰りに行くことは困難
492	1092	1.便数が少なく待ち時間が多く、通勤に時間がかかる 2.帰りが夜になる場合待ち時間がさらに多くなる 3.車に較べて費用が多く必要
493	1092	公共機関が充実していなく、通勤時間が車の4~5倍必要となるし、通勤経費が高価に
494	1092	目的地は、JRの駅から遠い。
495	1092	荷物がある。電車、バスの便が悪い。
496	1092	交通の便が悪く、急な残業に対応できない。 予め遅くなることが分かっている時だけ車を利用するようには変更可能と思う。
497	1092	交通の便が悪い
498	1092	交通の便が悪い
499	1092	帰宅時に所要のため寄り道するので。
500	1092	バスがほとんど通っていない。
501	1092	交通の便が不便なところに住んでいるため。
502	1092	子供が小さいし、購入した荷物を持って、バス・電車等を利用するのは難しい。
503	1092	時間的に余裕がない
504	1092	交通手段がない。
505	1092	途中まで、公共交通機関を使い、その後同方向から通勤する人に、相乗りを頼む。
506	1092	休日に、日用品をまとめて購入する。牛乳など重いものもあり、また、価格の安い店を2~3店回ることもあるため、自家用車でないと不便だ。
507	1092	子供に自転車で行かせればよいが、夕方からの塾で、帰りがおそくなるため、心配だ。
508	1092	公共の交通機関を利用しての通勤では時間のロスが多い。
509	1092	他の交通手段が非常に乏しいから
510	1092	居住している地域の公共交通機関が整備されなければ自動車に変えてバスや電車に変更しようとは

4.参加者コメント集

(イ) マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
511	1092	公共機関(バス及び電車)
512	1092	距離があり、公共の乗り物では時間的に不可能
513	1092	時間の予約をしている為
514	1092	タイムリ - なバス運行時間が無い 自転車で行くには、少し遠い
515	1092	公的交通手段がないため
516	1092	電車はあるが、駅から会社まで遠い。
517	1092	交通の便利が悪い。荷物が重い。
518	1092	時間に縛られる。
519	1092	夜間の帰路は公共交通機関が無く、徒歩では利便性が悪い。
520	1092	前回と同様
521	1092	前前回と同じ
522	1092	年老いた母を連れて、田舎の病院に、母の姉のお見舞いに行くので車でないと、お金もかかるし、1日仕事になる。
523	1093	公共の交通機関の利便性が良くないため
524	1093	まず、バスがあるが、運行時間の間隔が長く1時間に1便になることがある。待ち時間が必要であり、中心部から自宅までは約3kmなので、歩ける余裕があれば歩いたほうが早くなる。したがって、便利のいい車を利用する事が多い。自転車については、自宅が丘陵地にあり、平地から約100m高く、勾配9%の上り坂が約1.3kmあるので、帰りを自転車をおして上ることを考えると、荷物などもあれば大変なこととなる。
525	1093	バスの路線が複雑で乗り換えを2回行わなければならない、路線ごとに営業会社がことなり、運賃もそのたびに必要となるので、バス利用は困難。自転車は帰りの登り勾配9%が辛いので利用したくない。歩いていくとすれば、かなりの体力と時間が必要となる。
526	1093	自宅から、バス停留所・駅までの距離が長く、不便なため。
527	1093	目的地が、公共交通機関を利用して行けない場所にあるため。
528	1093	公共交通機関の駅までが遠い。 さらに、乗換えがいくつもある。 便数が少ない。
529	1093	同乗が不可能ではない
530	1093	同乗行く
531	1093	同乗で行く
532	1093	習慣になっているため
533	1093	負けた時のことを考えて交通手段を確保
534	1093	荷物があるため
535	1093	二人の小さい子どもと、他の手段でいくのは難しい。
536	1093	公共交通機関がないから
537	1094	地方なので、電車の本数が少なく不便。また、バスは料金が非常に高額であることが理
538	1094	公共交通機関がニーズに対応していない。所要時間、運賃を考えると電車が良いが、本数が少なすぎる。行動が制限される。
539	1094	通勤帰りに用事で回り道をして帰ることが多く、自家用車以外では不便であるので。
540	1094	保育園への子どもの送迎
541	1094	所用などがあるので。
542	1094	帰宅時間が一定でなく深夜に及ぶことがあるので、残業のある日は交通機関が使えな ・代替手段として、バスがあるが、出勤時については今より30分程度早く出発する必要 がある。帰宅についても、急な残業のとき、バスのダイヤ(時刻)が気にかかる。
544	1094	駅やバス停が近くにないから。
545	1094	バスの最終時間に乗り損ねる可能性がある。
546	1094	帰りに通う習い事の場所に行くバスの便が限られている 少しでも遅くなると、バス停から自宅までの道が暗く、危険
547	1094	帰宅時に子どもの迎え等があるため
548	1094	便利さを考えるとマイカー通勤を続けたい
549	1094	仕事の都合で帰宅時間が遅くなることが多く、最終電車に間に合わない場合が多々 あるため
550	1094	帰宅が遅くなるときもあり、何か用があるときは自家用車が便利

4.参加者コメント集

(イ)マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
551	1094	1.体に障害があるため、徒歩・自転車等での出勤は不可能。 2.公共の交通手段も、自宅または勤務場所の近くに駅・バス停が無いため不可能。 3.家族の車での毎日送り迎えは、マイカー通勤とまったく同じことなので問題外。 4.職場の同僚等と乗り合わせも、業務終了時間が違うので不可能。 5.タクシーで通勤という方法も考えられるが、なんら問題解決にはならない。 以上の理由から、変更は不可能である。
552	1094	自宅からバス停まで遠い。 電車だと、帰りがちょうどいい時間帯がないため。
553	1094	自宅から駅、バス停が遠いし、残業すれば帰りの時間を電車、バスにあわせなければいけないので。
554	1094	帰宅時はそうではないが、出勤時にバスの便がない。
555	1094	バスが1時間に1本程度しかないため。
556	1094	自宅が郊外のため、公共交通網が発達しておらず、ピタッとくる電車、バスの時間が
557	1094	マイカー通勤を減じることが可能であるが、毎日実施することは無理と考える。
558	1094	バス停等が遠く、手段とすれば自転車しかない。 帰りに買い物をする。 子供が塾の日等、早く食事を作らなければならない。
559	1094	公共交通機関の時刻と通勤時刻の相違
560	1094	バスの時間が合わない。また、電車を利用するには駅まで遠い。
561	1094	朝体調がなかなか整わず、電車の時間に合わせる事が難しいため。また電車の本数も少なく、利便性が悪いため。
562	1094	保育園への送り迎え
563	1094	朝の通勤にはあまり支障がないが、帰宅時にはバスの便がない。
564	1094	幼児の送り迎えの必要があるため。
565	1094	他の交通手段の使用が、時間的にあわない
566	1094	出勤前、子供を預けるために送っており、帰宅時も迎えに行っている。 学令前の子供と一緒に毎日乗り換えが必要な交通機関(バス)を利用するのは、難しい。託児所と幼稚園を併用しており、荷物(かばん)も沢山ある(子供2人分)。 出来たとしても、移動時間が倍以上かかる。そこに時間を費やすのなら、子供と触れ合う時間等に時間を使いたいと今は思っている。
567	1094	バスの運賃(バス)が高価だから。また帰宅がまちまちであるため、電車からバスの接続が不明だから。
568	1094	マイカー通勤に比べて電車などの利用は所用時間が長いから。残業時の遅い時間に運行していないため。
569	1094	電車・バスの本数が少なく帰宅に時間がかかる(近くに駅・バス停が無い)。 帰宅時に子供を保育園まで迎えに行かなくてはならない。
570	1094	帰宅前に寄る場所がある。
571	1094	妊娠中で自転車通勤は無理。 徒歩についても、体調の関係があり、疲れやすく、朝からの徒歩通勤や、仕事帰りの買い物など、重い荷物を持つての徒歩帰宅は困難。
572	1094	急な残業があったり、帰宅時間がバラバラなため、都会のように待っていればすぐにバスや電車が来るという状況でもなく、バスや電車の時間に合わせて仕事を終わらせることもできないとなると、自由に行動できる自家用車での通勤になってしまう。
573	1094	公共交通機関は帰宅時間には便がないことと利用料が高いため難しい。また、自転車等への変更は起伏に富んでいるため、不可能ではないが、難しい。
574	1094	公共交通機関の便数の問題
575	1094	バス停や駅が自宅から遠い バスや電車の便数が少ない 自家用車で通勤した場合に比べて時間が倍以上かかる。
576	1094	子供の送り
577	1094	代替交通機関が無い(バス、電車が近隣にない。家族と通勤方向が逆)晴天時は自転車通勤も可能だが、雨天時はマイカー通勤しか方法がない。
578	1094	買い物や家族の入院している(3人)病院を仕事が終わってからまわるため、今は無理と考えます。

4.参加者コメント集

(イ) マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所 コード	変更不可理由
579	1094	バスで通勤する場合、始発に乗っても始業時間に間に合いませんし、電車の場合は本数が少なく、電車通勤することによって今より1時間早く家をでなくてははいけません。
580	1094	バス停遠い。時間が合わない。
581	1094	近くにバス停や駅がない。
582	1094	早起き、早支度が苦手である。(マイカーがあるという甘えから、結局家を出る時間が遅れてしまう。) 音楽が好きなのですが、家ではなかなか時間がなく、日頃は車のオーディオで聴くことが唯一の機会、このやすらぎの時間、空間を失いたくない。
583	1094	電車、バス等の方法も考えられますが、帰りに立ち寄る習い事の会場が駅やバス停から離れているため、マイカー通勤からの変更は難しいと考えられます。
584	1094	通勤時間がもっと早くなるため
585	1095	バスの交通の便が悪く残業等をすると帰宅できなくなる。
586	1095	バスの時間がかみあわない。
587	1095	子供2人を別々の保育園に入れているので時間的に難しい
588	1095	毎日朝夕、子どもを保育園に送迎しており、たとえ開園と同時に子どもを預け(園に迷惑を掛けることになるので難しい)、一旦自宅に戻り改めてバスに乗ろうとしても、その時間から始業開始時間に間に合うようなバスがない。また他の人に同乗させてもらうにもたまになら可能とは思いますが、いつもというわけにもいかない。自転車による通勤も考えられなくはないが、終業後すぐに帰宅したとしても、保育園の閉園時間にとっても間に合わない。
589	1095	バスの便もすくなく、帰宅途中寄り道等するため
590	1095	バス・電車の運行本数が増えれば。
591	1095	他の手段は電車等がありますが、通勤時間が約2時間ぐらい掛かります。通勤途中の疲労などを考えると変更するのは、かなり難しい。
592	1095	バスに変更した場合、運行回数が1時間に1本くらいで勤務時間に合致しない。自転車に変更した場合、国道2号線の大型車両通行が激しい場所を通るめ危険であ
593	1095	便利な他の交通手段がないため。
594	1095	通勤についてですが、公共交通機関の接続等に時間がかかり、通勤時間が長くなるので、現実的ではありません。同乗については、自宅近くに職場の同僚いないのでできません。
595	1095	代替交通手段が無い
596	1095	田舎なので、公共交通機関が都合のいい時間がないため。仕事帰りの買い物や子供の迎えなど考えれば無理だと思います。都合よく電車やバスはつなぎは無いし、手荷物もある邪魔になる。両手に荷物に子供は無理。駅の周りに保育園や幼稚園、スーパーや駐車場があればいいと思う。
597	1095	子供の保育園の送迎があるのでほぼ無理です。
598	1095	バスや電車を乗り継がないといけな。出勤はいいとして、帰宅は、バスや電車の最終時間がはやいため、残業で乗り遅れると交通手段がタクシーのみになり、月1回であればともかく、週に何回もあると家計を圧迫し、生活できなくなる。
599	1095	通勤距離が長く、通勤の時間帯には公共の交通手段が無い。
600	1095	自宅の近所から通勤する者がほとんどいない
601	1095	限りなく交通手段が少ない。
602	1095	バス、電車の乗り継ぎがとっても悪い。
603	1095	朝早く出なければならなく、交通のアクセスが不便だからです。
604	1095	通勤費、時間が大幅にかかる
605	1095	移動時間の関係等、難しいです。
606	1095	公共交通機関が整備されていないため、その利用もできない。距離的、地理的にも徒歩や自転車では現実的ではない。バイク通勤の事故のリスクは負いたくない。よって、自家用車でなければ通勤できない。
607	1095	徒歩・電車・自転車は無理。自転車も平坦道路であれば挑戦も可能。
608	1095	職場への公共交通機関が充実していないため、選択の余地があまりない。
609	1095	他の交通手段がないわけではないが、車で通勤する場合の数倍の時間がかかる上、乗り換えが多いうえに、便数が少ないため交通手段として利用するのは困難。
610	1095	100円バスの停車するところまで車で行く必要があるが、車を駐車するスペースがな
611	1095	交通の便が悪く、保育園の送り迎えがあり、自家用車が都合がよい。子供が小さいときは時間どおりいかないの…

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
1	1071	帰省等は、公共交通機関を利用する
2	1071	外出の際にもっとも適した方法で移動することが望ましい。
3	1071	公共交通が整備されれば利用しようと思う。
4	1071	公共交通機関をうまく使う。
5	1071	公共交通機関が無いので車にたよってしまう
6	1071	私の住宅は山の中であり、自動車を利用することを前提に住宅購入したもの。バス等の公共交通機関があれば利用も考えられるが、当面はムリと思う。 今回取り組みの評価をいただいているが、用事が無いから2回目が少なかつただけであり、評価の対象になり得ないと思う。従って、自己評価0点としたもの。
7	1071	自動車での移動は、家族とであり、単独での乗車は控えているので、特に改善の必要は無いと思っている。数字だけでは、判断できないものである。
8	1071	公共交通機関の発達した東京などの都市部ならまだしも、電車・バスの便の少ない田舎では、自家用車は必要不可欠。
9	1071	必要最小限
10	1072	二酸化炭素の排出量を削減する必要があることはよくわかっています。しかし、交通機関が未発達(退行している)の地域で生活する者にとって車は必要不可欠な移動手段です。私は運転に自信がありませんのでできれば運転したくないのですが、生活環境からやむをえない状況です。
11	1072	通勤だけであればバスを利用するのが好ましいと思うが、バスの便があまり良くないので現状でやむを得ない
12	1072	時間をかければ公共機関を使って移動できるが、CO2削減より経済活動が優先なので。
13	1072	無理なく乗れる交通環境
14	1072	面倒くさいです。
15	1072	自分としてはもう少し自転車を使用したい。
16	1072	電気自動車(ソーラーカー)
17	1072	公共交通機関を使いたい気持ちはあるが、なかなか使えない事情もある。
18	1072	ままかな
19	1072	交通機関が整備ばすぐにでも、バス・電車を利用していきたい。
20	1072	今回の取り組みで、意識して車を使うのをやめたわけではないので、現象に成功したとは考えていません。今自身で言えば、運転免許証を持っていないので、公共交通機関、しかも不便な場所に通勤しているため、タクシーを主に使っているだけです。通勤は工夫するにも限度があります。タクシー代を支給するとか通勤手当を満額支給するといったことが無い限り、現在の自家用車使用者を減らすことはできないと思います。公共交通機関を使い、環境に良い状況を作ろうとするならば、ガソリン代を倍にするとか、強制的に自家用車を使用することを禁止する罰則をもうけるというような半ば強硬な手段を執らないと、車が生活の一部になっている現代では帰省しようがないと思います。理想はみんな解っているけれど、現実には対処できないという
21	1072	いくら公共交通機関や自転車を使おうとしても、そもそもバス路線のないところ、自転車で走るのが怖い道路も数多くあります。 利用促進を図るには、環境整備も進めていかなければ意味がないと思います。
22	1072	車に乗るにしても急加速をしない等燃費を考えて運転したり、極力近場は自転車で行く等、もっとCO2削減を考えながら行動していきたいです。
23	1072	都市内の水平交通網が整備されない限り、マイカーから公共交通への利用転換は進みにくい。 環境保護という大義名分は理解できるが、自分の利害と直接的につながる動機付けを見つけそれを交通手段転換のインセンティブとして位置づけていきたい。 自分の利害 環境保護 = 予定調和
24	1072	私の暮らしている所は瀬戸内海のほぼ中央の島です。以前には2万人を超す人が住んでいましたが現在は1万人足らずです。公共交通機関は、島から本土には船舶利用のみです。島内では、バスが1時間に1回程度の運行です。島で暮らすには自家用車が不可欠と言って過言ではありません。本土に渡るにも必ず運賃を支払わなければなりません。 利用者の減と乗り継ぎの悪さにより、元気なうちは自動車等は使用し続けなければ、仕事にも行けません。よって、望ましい交通手段の使い方と言われても、選択の方法は限られます。時間などを思うと殆どありません
25	1072	市内中心部へは買い物でなければ自転車、公共交通機関の利用ができる。近郊外へは時間の有効利用から自動車使用となってしまう。
26	1072	私の場合、休日の外出は、里の両親の買い物への運転手として行く場合が多く、常に4名で乗車効率は良いと考えています。また目的が買い物であり、田舎(大野町)ということで、公共交通機関の利便性が悪いことを考え併せれば、車の利用はやむを得ないと思っています。日頃出来るだけ公共交通、自転車で移動するように心がけますが、人間一度楽をしたら難しいものです。
27	1072	従来から、私の通勤や業務は自転車中心、家族の買物等は徒歩中心でマイカー使用は極力避けている。しかし、帰省については、公共交通機関を使用は動きが取れないため、どうしてもマイカー使用となっている。正直なところ、これの改善は難しい。
28	1072	今回の取り組み期間中、車で旅行をしていたもので、一時的な排出量の増加である。代替機関を利用するには、時間効率、総費用を考えると難しい場所への移動であったため、日程を大幅に変更しないといけな。かしこいクルマの使い方とはあるが、車をいかに使わないかであって、答えはできていると思われる。
29	1072	各自がマイカーを出来るだけ控え様とする意識が必要。
30	1072	我家は車の走行距離、使用頻度が低いので、お出かけすると何も無い時に比べ変動する率は大きいと思われる。どこでも車ではなく、行く先によって交通手段を使い分けます。
31	1072	単に外出しなければならぬ用事が、2回目の休日はたまたま少なかつただけで、かなりの長期間で比較しなければはっきりとした傾向はつかめないと思う。
32	1072	できる限り徒歩、自転車を利用し、遠隔地に行く場合は、公共交通機関を利用するように努めたいと思います
33	1073	必要以外に車を使用しない。
34	1073	小さなことから始めても、これだけの効果があるとは思わなかった。 実際に数字で評価してもらおうと何となく実感がわきました。

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
35	1073	用事がない時は動かない。
36	1073	望ましい交通手段とはロスの少ないものと言う事になる。現在自動車、バス、バイク、電車、飛行機、自転車等に分類出来る。私の住む島では電車はなく、バスは本数が少ないそのためCO2削減のためバスを使用すると時間のロスが生まれる。それでもCO2の削減のため自動車よりバイクを利用している。それに低燃費な軽量な一人乗り自動車300ccくらいな乗り物や低燃費な屋根付三輪バイクなどのがいいのではと思います。
37	1073	自動車の利用は2人以上、それ以外で近隣(概ね10km以内)であれば、バイクを利用
38	1073	自分だけがやってもと思うか、自分だけでもと思うか。ちょっとだけでも、一歩だけでも削減できるところから。
39	1073	燃料高騰もひとつにある。
40	1074	環境問題と交通の利便性は相反するものではないので、技術向上というハード面に加え、個人の意識のソフト面の両者から改善すべきと考える。
41	1074	もちろん、公共交通を使用するのが最もいいのは判っている。
42	1074	次からいろいろ考えます。
43	1074	なるべく公共交通機関を利用する。
44	1074	自転車の利用が可能で有れば、努力して自転車を利用する。
45	1074	職務上の利用と私用でも公共交通機関の少ないところへの用事で出かけることが多く、移動することだけが目的であったり、時間に余裕があれば公共交通機関を使用することも考えるがなかなか難しい。
46	1074	基本的に公共交通機関の利用を心がけるが、高齢者(両親)の手伝いをする場合は、タクシーと言うよりは、自家用車があればその利用になる。
47	1074	限りある資源や環境のことを考えると、自動車の使用を控えるしかないのではないのでしょうか。
48	1074	交通の便(本数・乗り継ぎ)が良ければ、公共交通機関を使用する。現在も利用している。市内は、徒歩・自転車を使用している。が、山奥等田舎へ行く場合、自家用車を使用している。公共交通機関のみで、目的地へ行けないことはないが、時間や費用が掛かる。
49	1074	特に意識してやったわけではなく、結果としてこうなったと言うこと。たまたまこの期間に、葬儀や法事が重なったため、遠距離の移動があった。幼児がいるため、日頃の移動には自家用車を使わざるを得ない。
50	1074	脱車に努力したから
51	1075	改善する余地があると思う。
52	1075	急ぎでなく公共交通機関の利用が可能である場合は公共交通機関を利用する。
53	1075	できるだけ自転車をういて移動することをこころがけたい。
54	1075	ガソリンも高騰しているため、無駄なドライブは避けておりますが、当初のも述べたとおり、車がないと生活できない地域があることを理解願いたい。
55	1075	通勤・買物等の移動は、公共交通を利用することがCO2の排出量を減らすには望ましいと思うが、現在の公共交通機関のダイヤでは限られた地域(環境)でしか通勤等は困難な状況となっており、自家用車の利用は必要不可欠なものとなっている。出来るだけ、乗車回数を抑制して、少しでもCO2の排出量を抑えることが必要と思われる。
56	1075	公共交通機関が発達していない地方都市においては公共交通を利用することは無理です。私としては自転車を利用することくらいしか環境負荷の低減はできないと思います。
57	1075	どうしても車が必要
58	1075	時間的・経済的な面から、自家用車に頼りがちだが、今後は出来るだけバス・鉄道等公共交通機関をできるだけ利用したい。
59	1075	住居の環境面から考えて基本的な交通手段は、荷物の有無によって大きく左右される。また、単なるレジャーなどは公共交通機関利用もヤブサカではないが、現実的には地方のレジャー施設の所在地によって公共交通網が整備されていないかったり、あったとしても利便性に問題があるのではないのでしょうか。今後、整備が進んで行くことを期待しますが、理想と現実には開きがあり、マイカー利用の縮減には限度があるので
60	1075	自家用車で移動が必須となる事情があり、今回はCO2の削減ができなかった。
61	1075	乗り継ぎの不便さ、終便が早く、18時には事業所を出発する必要があるため、マイカー利用がしづらい。
62	1075	車の使用を必要最小限にしたいと思うが、天候とが行き先によっては車を使用せざるを得ないこともあります。これからも車を使用しなくても自転車、徒歩等で行けるところは行くようにしたいと思います。
63	1075	近いところは、自転車。車の相乗りができれば出来るだけ取り組みたい。
64	1075	妻がわがままでマイカー通勤をやめません。
65	1075	塚場の移動手段として、徒歩、自転車等を利用するよう心がけているが、これから冬に向かって寒くなればこれもおっくうになる。天気の良い日は出来るだけこれらで移動したいと思っている。
66	1076	住居地の公共交通が不便のため、自家用(徒歩等も含めて)交通手段に頼らざるを得ない。できる範囲内で、自転車及び徒歩を移動手段として使用しよう心がけたい。
67	1076	健康のため近場の買い物等は徒歩で行くことを今後も心がけます。
68	1076	小さいところでは、徒歩、自転車、公共交通機関の利用。
69	1076	公共交通機関が発達していない地域とはいえ、二酸化炭素排出量が増加してしまったのは残念。ただ自動車使用キログが極端に増加してしたため仕方ないかなとも思う。ただし、公共交通機関を主な移動ツールとするのは現実的には難しい。特に日常生活においては、例えば土日どこかに旅行するとか、余裕のあるとき
70	1076	できる限りマイカーを使わない選択を心がける
71	1076	現在の状況において、通勤には自家用車以外の手段は考えられないため、自家用車を使用する。買い物等、近距離の用事については自転車等を利用する。
72	1076	マイカー利用は普通の日には通勤のみ利用です。少しでも公共交通利用を考えますが、通勤時間が片道2時間近くにもなるためためらっています。普通の日には通勤以外は利用しない努力、祭日も外出も1回ですべて用事を済ませる努力を自己評価に加え7.0点としました。
73	1076	徒歩あるいは自転車移動できるものについては、可能な限り努力する。
74	1077	できるだけ自動車利用をやめる、そして自転車・徒歩利用にする。
75	1077	少しの不便さを我慢して公共交通機関を利用することが必要だと思う。

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
76	1077	私の住む地方の公共交通機関の利便性をもっと向上すれば、利用を増やしたいと思う。
77	1077	もっと、健康・環境とリンクした行動がとれるよう行わなければならないのでは…。
78	1077	都会は公共交通 地方は自家用車
79	1077	都会と違って、今住んでいる地域の交通体系を考えると、現在の交通手段はやむを得ない。
80	1077	近所の店まで歩いてくらないので、実質はあまり減っていないと思う。
81	1077	できるだけ自動車以外の交通手段を使って移動するのが望ましいと思います。
82	1077	公共交通機関を利用できるときには利用してる。
83	1077	現在の交通手段は、止むを得ず取っているもので、決してやりたくて行っているのではない。公共交通機関の発達した地域で勤務していたときは、少なくとも公共交通機関を使用していた。もちろん帰省する場合には、自家用車を使用せざるを得ない(公共交通機関未発達地域)のだが…。
84	1077	公共交通を利用するのはいいのだから1本乗り遅れると次の計画がダメになる。タクシーを使うほど金銭に余裕がない。公共交通が発達していない地域で生活している人間は自家用車に依存していないと自由な計
85	1077	当調査を意識して、特に車使用を控えたりしたわけではないものの、結果的に見ると通勤用にはどうしても必要になってくる。ただ、今回遊行で遠距離を運転していないため、平均値より若干CO2の排出量が低かっただけで、もし調査期間中に遠出をしていたら、また別の結果が出たものと思われる。
86	1077	通勤のバスは、朝2便しかなく出勤したい時間帯に無く、帰宅する時間帯にも良いバスが無いので車通勤をしているし、通院している病院に行く交通手段が非常に悪いため、やむなく車を使用しています。
87	1077	また、単身赴任をしているため週末には自宅に帰宅するためにマイカー使用しなくては帰れないための結果
88	1077	遠隔地通勤でありかつ公共交通が不便であるため、平日の車利用の削減は困難であるが、土日休日の車利用をひかえている。
89	1077	車の使用をいかに減らすか、公共交通機関、自転車などを
90	1077	利用する方向で検討します。
91	1077	自動車の利用率が高いため70点の評価値にしました。今後は、出来る範囲で交通手段について検討した
92	1077	交通手段が他にない。
93	1077	努力している。
94	1077	極力自転車利用
95	1077	利用できる公共交通機関は無いに等しく、自家用車利用は生活に不可欠といわざるを得ません。しかしながら、他の私生活では極めてエコ生活を送っています。
96	1077	1、今夏エアコンは一切使用せず、2、冬季はバイオマス燃料により室内暖房、風呂の湯を得ており、化石燃料は使用していない、2、休日、山林の植林・間伐等をおこなっており、CO2の吸収に協力している。
97	1078	まあまあ合格点かなといったところ
98	1078	過疎地では目的地までの交通手段の確保がなされていない場合が多く、またアクセスが不十分であったり、運行回数が少ないとか自家用車に頼らざるを得ない状況の中で、なかなか切り替えが難しい。自家用車の利便性に慣れている部分も反省しながら、ちょっとした行動でも安易に自家用車を利用することなく状況
99	1078	通勤通学は、一度移動するとそこで長時間滞在するので、電車バスを利用するほうが良いと思う。しかし、買い物等は交通手段が無いケースが圧倒的に多いため自動車によることはやむを得ない。荷物が少な
100	1078	ければ自転車はいくを活用すべき。自動車でも1人の通勤はもっとも無駄。
101	1078	CO2の排出量を最大限押さえている。
102	1078	今後は公共交通機関又は自転車等による通勤としていけたらと思う。
103	1078	公共交通機関を利用して、複数の人間が一度に移動したほうが環境への負荷が少ないとは思いますが、バスは排気ガスを出します。
104	1078	電車も、動力源の電気を発電するときにCO2を排出します。
105	1078	この度の結果は偶々減少したものであり、自身通勤でのマイカー使用を転換することが最善の選択と考えていますが、実行が伴っていないのが現状です。
106	1078	基本的には自転車を使うことが多いので今回の結果は、実情とあっていないと思います。たまたま調査期間
107	1078	のとき、車がどうしても必要だったのでこの結果は仕方ない部分もあります。調査のタイミングがずれば
108	1078	きっと減少したと思います。これからも、いつもどおりあまり自動車を使わない生活を心がけたいと思います。
109	1078	送迎については仕方ないとしても、通勤についても公共交通機関を利用したいと思います。
110	1078	晴れた日は自転車
111	1078	雨の日はマイカー
112	1078	現在の状況を継続したいと思います。
113	1078	公共交通機関の利便がよければ、積極的に利用したい。
114	1078	田舎は公共交通機関が少ないので仕方ない。
115	1078	自動車の利用を、控えたいと思います。
116	1078	バイクは環境に厳しいですか？
117	1078	たまたまです。
118	1078	これ以上、自家用自動車の使用を抑えることは不可能
119	1078	少し環境の事に気を使うようにしていきたい。
120	1078	これ以上は無理。休日に動けなくなる。もっと年が寄れば車への依存率が減少すると思う。
121	1078	公共交通の利用促進のためには利用者の利用しやすい環境整備が必要。特にバスにおいては便数が少ない、目的地への系統がない、乗り換えが多い等が利用しにくい状況である。
122	1078	また、市内中心部においては、公共交通優先策を考えマイカー乗り入れに一定の規制を設けることがよい、
123	1078	工夫の余地がある。
124	1078	取組みや改善状況を考えても何も出来ていない。公共交通を使つての通勤が(朝は可能でも、帰りの便が残
125	1078	業によってなくなる)出来ない地方の交通空白地域には難問である。
126	1078	公共交通手段、せめて乗り合わせのための努力

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
117	1078	できるだけ利用できる公共交通機関を利用することが望ましいと考えます。その為にはある程の我慢とゆとりが必要だと思います。車のように戸口から戸口までとは行きませんので、徒歩等の移動と乗り換えが必要となります。また、時間もかかる(移動時間以外の時間が発生する。)こと、手荷物についても制約が出てくることなどいろいろあると思います。当然、公共交通機関の整備がどの程度整っているかが、条件にはなりません。我慢・努力にも限界があります。交通機関にあわせて行動パターンを設定するといっても、自分の要求することとのギャップがありすぎると、自由な活動を阻害することになり、それは社会発展のためにはならないと思います。そう考えると、整備が整っており、車利用の必然性が低く利用にかかる不便さ(駐車場等)を感じる都市部においては車から公共交通機関等への移行がしやすいと考えますが、生活における車の価値が高い地方では難しいところがあると思います。各種整備をすることは大切ですが、合わせて車の利用を制限するような施策を実施し一定条件の揃ったところでは車利用ができないようにするような思い切ったことが必要
118	1078	移動の全てを公共交通機関か自家用車かの2者択一ではなく、パークアンドライド、サイクルアンドライドなど、それぞれのモードを効率的に活用し、利便性の向上が図れると良いと思う。 また、自転車の走行環境を整備することによって、自動車から自転車へのシフトを促し、中心部における自動車の滞留を減少させることも必要ではないかと思う
119	1078	近場は自転車で行く。
120	1078	平日の通勤使用においては、その利用時間帯等から自動車利用を抑えることは不可能であり、休日のマイカー利用から如何に脱却するかがポイントになる。
121	1078	自分として出来る限りの、エコロジカルな取組をしていきたい。
122	1078	バスの定時運行ができるよう道路管理者等との検討と バス会社のエゴを出さないよう利用者側に立った(バス停の位置等)運行を望みます。 そうすれば、使いやすくなると思う。
123	1078	今回のアンケート結果で、CO2 排出量の合計が減ったので良かった。休日に車の使用頻度が高いので、もう少し意識してCO2 排出量削減に貢献したいと思った。
124	1078	よくできたと思う。
125	1079	可能な限り公共交通機関を利用する事が望ましいのはもちろんであるが、現状では公共交通を利用する事が著しく困難な地域がある。 状況に応じた対応をするしかないと思う。 (期間中に自家用車が故障し、使用できない状態になった事でサンプルとして意義が薄れていまして、自己評価を厳しくしています)
126	1079	サンプルが悪かった。
127	1079	まだまだ努力が足りないと思う。今後、なおいっそう環境改善に取り組みたいと思う。
128	1079	通勤は出来るだけ徒歩にする。遠出の場合は公共交通機関を使うように心がける。ちなみに帰省は、ほぼ100%公共交通機関を使っています。
129	1079	自転車を活用する。
130	1079	徒歩・自転車に代え、健康にも良かった。
131	1079	この調子ですすめていきたい。
132	1080	平日は、行動プランどおり実施したにもかかわらず、日曜出勤が発生し、CO2の排出量が増加した。
133	1080	なるべくなら公共交通機関を利用したいが、1時間に2本しかない列車はさすがに今のご時世、使いにくい。
134	1080	平日の通勤・保育園の送迎等はなかなか変えるのは難しいが、休日の交通手段は場合によっては検討の余地があるかもしれません。
135	1080	車の一人乗りをできるだけなくすこと。
136	1080	今回は、都合により遠出をしたため自動車使用が多くなった。 通常は、通勤又は外出の都度、買い物等をおこなっており、出来るだけ無駄のないようにしている。
137	1081	公共交通機関(バス)利便性が悪く、自転車移動に頼らざるを得ない状況であり、買い物等についてはマイカー利用しか考えられない。
138	1081	電車・バス
139	1081	移動は自動車に依存しており評価できないが、自動車に頼らざるを得ずやむを得なかった。少しはバスにも乗る努力をしたい。
140	1081	今後は、通勤は極力マイカーから、徒歩、自転車利用へ替えていこうと思う。
141	1081	今回の買い物での自動車の使用は荷物の関係上やむを得ないと思うが、通勤は改善すべきと、わかってい
142	1081	過疎地における自家用車は不可欠であるがその使用にあたっては最小限にとどめている。現に休日の自家用車使用は控えている。
143	1081	困りました。外出を減らすよう努力します。
144	1081	今後、より一層の自動車利用を図るため、都市部以外の公共交通機関の充実が必要と考えます。 例えば、私が東京や大阪などの大都市に住んでいれば、全く自動車を使わないと思います。 地方では、交通の便が悪いため、マイカーの利用は必要と考えます。
145	1081	エコカーに乗ってます。
146	1081	駅までの送迎に車を使用するのは、時間的にもやむを得ないと考えます。しかし、休日の移動等については、車を使用しないように考えていきたいと思っています。
147	1081	特に、一人で移動するときは、なるべく車以外の交通手段を使用するように心がけるといいと思う。
148	1081	自家用車の使用を極力控え近距離なら自転車、長距離なら公共交通機関を使用する。
149	1081	公共の交通機関(特にバス)はもっと便利になればいいなと思います。
150	1081	都市の造りを見直すことが一番。公共交通が発達できない(維持できない)環境を根本から見直してはいか
151	1081	車に乗らない
152	1081	1回目と2回目では目的地が異なるので、単純に比較できない。
153	1081	必要の無い自家用車使用はなるべく避けるようにする
154	1081	車の使用を少なくするには、車以外の通行者が、安全で歩きやすい又は通行しやすい道路にする必要があります。

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
155	1081	山口市は中心部ではバスが走っているが、少し外れたところでは自動車以外の公共交通がない。(あったも便数が少ない)
156	1081	個人の取り組みには限界があるので、町ぐるみで交通手段の充実を図るといいのでは。
157	1081	車使用については、自分たちなりにやむを得ない場合のみのつもりですが、それももっと厳しく考えなければならぬと思います。
158	1082	もっと地方でも公共交通機関が便利で金額的にも利用しやすいようなインフラ整備を充実させないと、なかなか自家用車の利用を抑えるというのは難しいことだと思います。
159	1082	公共交通機関のほうがメリットが大きくなる限り、車依存の生活からは脱却はできない。現に、都市部に住んでいた際は、車に乗ることは考えず、自転車又は公共交通機関を利用していた。
160	1082	少しは改善されているのかなと思います。
161	1082	外出の際は徒歩を基本とし、やむをえない場合は自転車あるいは公共交通機関によることを常に念頭においておきたい。
162	1082	車の利用回数は週1～2回程度であり、環境を破壊するようなことはない。
163	1082	公共交通機関を充実させる必要あり。
164	1082	徒歩、自転車
165	1082	休日に車を利用していないためCO2排出削減に貢献できたと思う。 取り組みは各個人の意識の問題であって意識改革のためには個人の努力は当然のことながら、交通手段の利便さをよくすること等国の努力も当然であるかと思われる。
166	1082	第2回目のCO2排出量が増加していると言うことであるが、休日においても、平素から必要な場合以外は自動車を極力使用しないようにしているので、致し方ないと思う。
167	1082	意識的な取り組みの必要を痛感した。 引き続き取り組みたい。
168	1082	交通空白地域に住んでいるとしては、自動車の利用を節減している。
169	1083	生活時間にゆとりができれば、車の使用を減らして一部自転車に切り換えたい。(現在の住居では、バス等の公共交通機関は手近にない。)
170	1083	自転車が通りやすくなるよう段差解消や急に幅が狭くなる場所をなくすなどに配慮して、道を整備してもらえれば、自転車利用が増えるように思いました。
171	1083	自家用車は持ってません。従ってバスがタクシーを使います。 夏が過ぎましたので、できるだけ歩くようにしてます。 公共交通機関は、岡山の場合、バス路線が複雑で時間がかかります。 仕事には時間が余裕がないと難しいと考えます。
172	1083	まあまあかな
173	1083	自動車で移動するのは、買い物をして運ぶ必要があるからとか、一カ所だけでなくあちこち出かけるとき、遠距離のとき、交通の便の悪いとき、あるいは天気の良い時であり、通勤にはできるだ自転車を使っているの、これ以上の取り組みは難しい。 ただし、できるだけ車を使わないようにすることは望ましい。
174	1083	田舎では車がないと行動できません。
175	1083	削減には成功しているが、まだまだ自動車利用が多いので、健康のためにも、できるだけ自転車等を利用するようにがんばっていきたく思います。
176	1083	公共の交通機関を使うのが望ましい。また、バス等の1時間当たりの本数の増加があれば利用しやすいと思
177	1083	気にせず車を運転しています。もっと省エネを考える方向がよいように思っています。
178	1083	通勤や近くの買い物は、自転車やバスにしているが、県北に出かける場合は、公共交通機関が整っていないことから、自家用車になってしまう。
179	1083	自転車利用
180	1083	飲み会で駅前駐車場に車を置いていても、翌日等約6キロ歩いて取りに行けた。
181	1083	公共交通の利用が望ましいことは十分理解しているが、時間外の利用、運行外への移動手段としての自動車の使用が避けられないこともある。しかし、通勤等においては自動車の利用をできるだけ少なくするよう努
182	1083	通勤方法の変更は難しいが、近くの買い物などを車から自転車にして、少しではあるが環境への負荷を低減
183	1083	できることからこつこつと…
184	1083	自転車による移動などを積極的に取り組みたい。
185	1083	岡山駅から県庁まで徒歩通にするなどで、改善に努める。
186	1083	一人の移動は、できるだけ公共交通機関を利用すること
187	1083	一部分は公共交通機関利用できたものがあった。
188	1083	できるだけ自動車にのらない。
189	1083	クルマだけでなく、公共交通も選択肢に入れて、臨機応変に移動手段を選んでいければよいと思う。
190	1083	自転車でも行こうと思えばいける距離だったが、天候のせいでクルマにしまったから。
191	1083	いなかでは公共交通機関が便数が少なすぎて用をなさないで、どうにもしいが、市街地の移動はバスや電車を活用する。
192	1083	休日の行動はパターン化しにくいので、比較では削減努力が現れにくい、自分としては休日こそ削減努力をしているつもりである。
193	1083	休日のレジャーは、「犬」と一緒に行動することが多い。 公共交通機関に、制約付きでも犬が乗れるようになれば 休日の車利用は減る。
194	1083	自動車(自家用車)への依存度を下げることが効果的だと思うが、それぞれの人の置かれている環境により改善が難しいケースの方が多いのではないかと。 個人的には、郊外からのパーク&バスライドと市街地でのトランジットモールの組み合わせが理想的だと
195	1083	目的地までの運行に適した交通手段。金銭面・時間・健康面等を考慮した合理的な方法。
196	1083	少し高くても公共交通機関を使うようにする。

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
197	1083	普段から、何らかの事情がない限り、なるべくクルマを使用せず、自転車を利用することにしている。今後もそのようにしていきたい。
198	1083	これまで、交通手段の選択にあたっては、利便性を除き、移動時間+コストで考えていたが、それに環境配慮の要素を加えていくことが、一人ひとりに求められると考える。
199	1083	場所によっては、自動車利用でないと、行くことができないところがあるが、公共交通機関があるところでは、できるだけ公共交通機関を利用していきたい。
200	1083	近い場所へ出かけるときは、可能な限り徒歩・自転車
201	1083	できる限り自家用車を使わない。
202	1083	移動距離から、少なくとも車又はバイクの利用が必要であるが、できるだけバイク利用を心がける。
203	1083	近所での買い物は、なるべく徒歩で行くようにしたい。今度自転車を買ってみたいと思う。
204	1083	近くはあくまでも徒歩でいか自転車利用を徹底する。
205	1083	・ちょっと遠くでも自転車を利用する。 ・なるべく一人では車に乗らない。 ・車を運転するときは、急発進を避けるなど、環境に配慮した運転に努める。
206	1083	もっと自家用車の使用を減らすことができると思う
207	1083	・できるだけ電車、バス、自転車を利用する。 ・やむを得ない場合以外は自家用車の利用を控える。 ・燃費性能のよい自家用車を使用する。
208	1083	可能な限り公共交通機関を利用することが、環境保全上、望ましい交通手段だと考えます。
209	1083	CO2の排出のない自家用車を利用する。
210	1083	取り組みの趣旨は理解できるが、いざ実行となるとなかなか難しい。 取り組みべき内容を絞った方がよいのではないかと。(通勤、業務中とか) 家庭ではなかなか進まないのが実態である。
211	1083	環境を考えて行動することは必要であるが、ストレス解消等他の重要な面も考慮しながら、出来る範囲で取組をすることが重要である。
212	1083	できるだけ公共交通機関の利用を心がける。
213	1083	公共交通機関(電車)を使うことが望ましいと考えます。時間等についても正確であるため。 しかし、通勤であれば、可能であるが、休日等の家族での行動となれば子供が小さいこと、駅、バス停の場所、及び時間の問題があり、車での移動に成らざるを得ない状況である。
214	1083	自転車がよい
215	1083	車使用は必要やむを得ない場合に限るよう実践しているつもりである。代替手段を執れば、車を使用しないことも考えられるが、例えば、タクシー利用だと高額になる。個人の使うお金は限られている。このことをどう考えるかの視点が必要と思う。要はバランス感覚で交通手段を考えることが望まれる。
216	1083	アンケートにも書きましたが、今回は業務上必要不可欠の移動であり、代替手段がない以上車を使わざるを得ない。私は平素は公共交通機関の活用を努めている。
217	1083	車を利用しないのは難しい。
218	1083	鉄道、バスと自転車の組み合わせによる通勤・通学を促進することが、地方都市における環境保全や中心市街地活性化のために非常に有効と思います。そのために、バス利用や自転車通行の快適さを向上させる道路や付帯設備の整備を、利用者の意見を尊重して進める必要があります。
219	1083	自宅が交通過疎地なので、自動車は必需品。 これ以上はなかなか難しい。
220	1083	できるだけ公共交通機関を利用する。
221	1083	常にCO2排出量のことを念頭に置き、自動車を利用する。なるべく、公共交通機関を利用する。
222	1083	通勤・通園の送り迎えには、自動車を利用していませんが、普段の生活に欠かすことはできません。都市圏と違い、岡山の郊外では、小さな子供を連れての行動に自動車は欠かせません。
223	1083	今回の取り組みだけでは、何とも評価しがたいが、出来る範囲ではなるべく公共交通機関の利用を心がけて
224	1083	公共交通手段の利便性と、私たちの利用回数が共に向上するような仕組みづくりと実践
225	1083	環境、環境と声高に叫ぶ人が多いが、日常生活の中で環境のことを真剣に考えて行動している人は極めて少数で、これらの人はむしろ変人扱いされる場合が多いように感じる。 わが家は家族4人で、全員が18歳以上であるが、自家用車は1台しか保有しておらず(自宅車庫は6台程度は駐車可)、これは家族の多くが日常生活における移動手段の道具に自転車を利用しているからであり、国民の多くがこのようなライフスタイルに移行すれば、環境にやさしい健康的な生活を送れると思う。 現在、医療費の抑制や子々孫々までたたりそうな環境破壊が社会問題となっているが、もう一度ライフスタイルを見直すことで、これらの問題がかなり解消できるものと考え。 移動手段としての自転車の有効性は言うまでもなく、移動距離半径50km以内であれば、多くの人にとってそれほど困難なことではない。
226	1083	電車、バスの公共交通機関の利用増大
227	1083	短距離の移動手段として、今後は自転車の活用が課題である。
228	1083	不要不急の車使用を控える。
229	1083	岡山県では、公共交通機関だけでは生活ができない。 住居の近くに職場があり、かつ徒歩もしくは自転車でも生活できる社会構造とならないかぎり自動車利用はやむおえない。
230	1083	交通の大半である通勤は、パークアンドバスライドを実施している。 また、郡部へ住んでいるため、車は家族の欠かせない交通手段である。 そのことから、これ以上車の使用を減らすことは困難である。
231	1083	公共交通機関がある場合は、極力利用する。公共交通機関が無い場合は、どうしても自家用車を使用せざるを得ないが、自家用車を低公害車に買い換える等検討する必要がある。
232	1083	これだけの取り組みで樹木50本近くのCO2削減になって驚きました。
233	1083	私個人的には、通勤手段として、バイク一辺倒だったが、9月下旬から、自転車通勤を取り入れている。

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
234	1083	よく頑張ったと思います。
235	1083	例えば、休日に散髪に行くとき、天気と他の用事(荷物が伴うかどうか)を判断し、原付で行くこととしています。自転車か理想ですが、貴重な休日を有効にと考えれば、原付になります。この方法だと、移動時間は車より速く車より省エネです。一方、安全性を考えると危険だと思うことがよくあります。安全第一を考えると原付よりは、自動車です。この辺のところを各人がどう判断するかにかかってくるのだと思います。通勤時間帯などの渋滞は大気汚染に影響があります。企業、官公庁などの始業・終業時間をずらしてはどうか。(交通手段が車しかない人には)
236	1083	公共交通機関を極力利用するなどにより、環境への負荷をできる限り低減するのが望ましい。
237	1083	転勤などにより、公共交通機関を活用して通勤できるようにならない限り、現状は変わらない。
238	1083	なかなか実行できない。
239	1084	公共交通を利用したいと思う気持ちはありますが、時間的に通勤で公共交通を利用すると時間的にかかってしまうが、時間帯で公共交通のみを運行するなどの方法で時間短縮を図れば、公共交通を利用したいと思
240	1084	近場へは車を使わないようにする。
241	1084	本気で改善するように努力しなければならない
242	1084	バス、電車(路面バスを含む)をもう少し利用者の立場に立って使いやすいものになれば…。 難しいですけど。
243	1084	第2回ダイアリーを記入できませんでした。実際にはほとんど削減できていないと思います。
244	1084	自宅から外出する際、近くであれば自転車を使い、やむを得ず車を使う場合、極力、用事をまとめて行うとか、車を使う人に同乗させてもらうとかなどの方法を取るよう心がけたいと思う。
245	1084	今後はできるだけ、公共交通を使用し二酸化炭素の排出量を抑制したい。
246	1084	公共交通機関や自転車等を積極的に利用する。
247	1084	なるべく公共交通機関を利用する
248	1084	基本的にあまり車を使わないようにしているので、特別なことをする必要はないと考えている。
249	1084	買い物や近距離の用事も自家用車を使用している ただし、現在の家庭の状況を考えると仕方ないと思われる
250	1084	出掛ける先によって交通手段を考えることのきっかけにしたいと思うようになった。
251	1084	主要な公共交通の駅付近までは自家用車を活用し、多くの人が集中する場所へは公共交通機関を利用す
252	1084	家族全員移動するなら、どうしても車が便利である。
253	1084	1回目の時も含めて、なるべく市街地は自転車で移動するよう心がけた。郊外に行くとき、仕事中は、便宜上、自動車を使わざるを得ない。特に郊外に移動する際のバスダイヤなどは通勤通学以外利用するなどという ような感じである。通勤やレジャーなど公共交通機関が利用できる大きな移動は、なるべく公共交通機関を利用していきたい。一方、自動車はアイドリングストップなどで少しでもCO2削減に貢献していきたい。 郊外も含めて、拠点地域間の移動はバス等の公共交通機関が利用できるぐらいの間隔(せめて1時間1本、できれば30分に1本)で走らせることはできないだろうか。
254	1084	可能な限りマイカーの使用を控え、公共交通機関を利用したり、自転車などを使用することが望ましい。
255	1084	もう少しがんばります。
256	1084	2キロ以内なら徒歩、6キロ以内なら自転車、それ以上なら公共交通機関、交通機関の利便性が悪ければ 自動車というスタイルをできるだけ努めたい
257	1084	公共交通機関がうまく使えなかった。
258	1084	どんな時でも車という考え方を改める。
259	1084	何気なく外へ出るときに、公共交通機関が使えるようになれば、本当の意味で環境に寄与していると思える が、やらされているうちは、その効果は持続しないだろう
260	1084	組織全体平均のガソリン使用量よりは少ないのは評価できる。第1回目より第2回目の方が使用量が多い が、事情があるので仕方ないと思う。
261	1084	車での移動が必要な地方都市では、取り組みに限界があるのでは？ ディーゼルエンジンの排ガス規制を強化すべき
262	1084	現状では、通勤はかなり無理をすれば公共交通機関の利用が可能。しかし、買い物、遊興などには限界が あり、公共交通機関の一層の充実は不可欠である。また、同時に今後の道路整備には歩行者専用道路に加 えて自転車専用道路の設置など条件付けが必要と思われる。
263	1084	可能な限り、公共交通手段を用いる
264	1084	日常は、自転車。気分転換レジャーには車を使っている。レジャーに交通機関を使うことも考えればよいと思う。
265	1084	鉄道(電車)の利用が望ましい。
266	1084	より効率的で自然にやさしい交通手段を積極的に使用する。
267	1084	運動のためにも自転車または徒歩がいい。
268	1084	公共交通機関を利用することが、健康にも環境にも良いのは解っているが、家族に障害者がいるためにな かなか難しい。
269	1084	自動車を利用して外出する場合、極力、同乗すること及び複数の目的地を経由することを心掛ける。 これだけで、かなり効果があることに驚いた。
270	1084	休日における取り組みは困難
271	1084	できる限り公共交通機関を利用する。
272	1084	近距離の場合は、徒歩又は自転車。長距離の場合は、交通手段の利便性によるが、できる限り公共交通機 関の利用が望ましい。車を利用する場合も同じ方向に行く場合乗り合わせを考える。
273	1084	環境にやさしい移動と、所要時間も含めた利便性の両立が、地方都市ではやはり難しい。両者のバランスが 大切。
274	1084	望ましい交通手段としては、自転車であり、大きな荷物など無いときや、一人での移動では、極力使うように 心がけるべきだと思います。
275	1084	バイクでの外出を心がけたが、やはり車も必要。車の共同所有などの事業が地方都市にも拡げれば利用す るかもしれません。
276	1084	田舎に住んでいると、どうしても車を使わざるを得ない。公共交通機関の運営に対する財政支援が必要。 バス事業の規制緩和は、結果として生活交通の切捨てになっている。

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
277	1084	都心部では徒歩または自転車。 郊外では自動車。
278	1084	今回の取組み結果ですが、都合により特に環境に配慮した訳ではないものの、結果としてCO2の排出量が減少したものであり、個人的には少し驚いているのが現状です。 車利用が中心にならざるを得ない生活環境においては、車を利用する際、複数の用事を効率よく処理できるように行動する等、小さな取組みの積み重ねにより、環境に対する負荷の軽減を図ることが望ましいと考え
279	1084	全く移動しない日があったためと思われる。
280	1084	都心部では、公共交通機関、徒歩、自転車を中心とした交通体系。周辺部では、自動車利用。周辺部と都心部を結ぶ公共交通の充実。
281	1084	住所が公共交通機関の利用しにくいところであるため、自家用車に頼りがちになるが、頼るにしても乗り合わせやパーク＆ライドなどの利用を今後検討してみたいと思います。
282	1084	家族の健康増進と、地球環境の改善のために、今後もさらに、自動車の適正な利用を考え、実行していきたいと思います。
283	1084	他に交通手段が無いのでやむ終えない。
284	1084	もっと、車以外の交通手段を考えたい
285	1084	もっと自転車の使用頻度を増やしたい。
286	1084	健康のためにも、普段の生活の中で自転車あるいは徒歩で可能な場合は、極力車の利用を避ける。
287	1084	自動車利用を減らす余地はあるが、実態的には不可能。
288	1084	近距離の移動はできるだけ自転車、徒歩で移動するようにしたい。 通勤の手段として自動車を利用している場合は、公共交通機関が整備されていないと、自動車から公共交通機関への変更は困難である。
289	1084	できる限り公共交通機関を利用する。
290	1084	今後も環境問題には積極的に取り組んでいきたい。
291	1084	大人だけでなく、子供がいる場合は、どうしても自家用車の移動がメインになってしまう。 また、日々の生活を考えても、基本的な移動といえば、通勤に限定される。 週末の休日は、自家用車の移動はやむを得ないと考え、自分でできることと言えば、日々の通勤を自家用車よりはバイク、バイクよりは自転車という方向で考えていく必要がある。
292	1084	別に通常の生活通りなので、改善しようが無いと思う。 小さな子供が二人も居るので、公共の交通手段の利用は難しい。
293	1084	公共交通を手段として選択すると、何度も乗り換えがあり、待ち時間が発生する行動があったためやむを得ず、自動車を利用した。
294	1084	自転車…近場へはなるべく自転車で。運動不足解消のためにも使いたいです。 バス…少し離れたところへはバスを利用したいです。定時性がもっと確保されれば良いのですが…。
295	1084	自宅から数km以内の移動で、荷物が少ない場合には、原則自転車を利用する。また、遠方への移動でも、公共交通機関沿線沿いで、荷物が少ない場合には、公共交通機関を利用する。 その他の場合は、自動車を利用するが、極力一度に複数の用件をすますよう努める。
296	1084	交通手段として自家用車を想定して郊外の丘陵地への団地開発による街づくりの後始末を個人の努力のみで改善するのは相当無理があるが可能な限り努力したい。
297	1084	介護のため週末病院に通うのに公共交通機関がない。 個人の努力とともに公共交通機関の充実が必要だ
298	1084	自転車をできるだけ利用する
299	1084	自動車を使用しない生活は難しいところがあるが、それなりに工夫をすれば地球環境の保護になることが
300	1085	通勤については、できるだけ自転車利用にしよう努める
301	1085	自宅から最寄の公共交通機関まで遠い。 また、降車場所から目的地までの交通機関もないため、タクシー利用となる。
302	1085	月2回は、公共交通機関を利用したい
303	1085	時間を惜しまず公共交通機関を利用する。
304	1085	平日は車を利用していないが、休日は何も考えず利用している。
305	1085	今回を機に行動プランを立て、公共交通を利用したり、同乗させてもらったり、工夫をしていきたい。買物はすぐ近くにスーパーとかお店があるのであまり車を利用しなくてすむ。通勤も自転車。
306	1085	徒歩と自転車が望ましい
307	1085	よくできた。 自転車を利用する。
308	1085	相乗り
309	1085	交通手段の充実
310	1085	通勤については、駅までのバスの便が不便であり、どうしても車を利用することになる。 公共交通機関をもっと有効に利用するべきだと思う。
311	1085	バス、電車等の通勤を試行したが、たまにはよいかもしれない。 酒の量が多くなるのが難
312	1085	父は交通事故で川崎医大に入院中なので、母と一緒に高齢なため病院に行くときは、自家用車を利用している。ほかについては、公共交通機関を利用したい。
313	1085	自転車、公共交通の利用
314	1085	できるだけ自動車を利用しない生活を心がけたい
315	1085	できる限り電車を利用し、通勤する
316	1085	自宅周辺は循環バスルートから外れており、便利が悪く、つい自家用車にたよってしまう。ずっと以前は、近くを循環バスが走っていた。
317	1085	倉敷地区は、平坦な地形なので、健康のためも含め、極力自転車を利用したい。
318	1085	改めて見てみると、車に頼りすぎている感じがした。今後は、もうすこし公共交通機関等を利用するように考
319	1085	通勤には、車を使用せず休日には荷物等の多いときには、車を使用、そうでないときとか近いときは、自転車で移動する。

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
320	1085	天候にもよるが、徒歩または自転車で移動が可能なエリアは、それによることが望ましい。ただし、車優先社会になっており、歩行者・自転車道の確保、実質的な優先措置等が必要。 公共交通機関が存在するところについては、運行時間間隔の問題や公共交通を利用することで相当の遠距離となる等にも左右されるが、可能な限り、公共交通を利用することが望ましい。しかし、車の移動時間短縮等のための道路整備と安価になって買やすい車価格、利便性のみ追求等、意識改革や基盤整備の
321	1085	最寄の駅までの距離もあるが、実際目の前に車があるとどうしても乗ってしまう。
322	1085	公共交通の使用は無理だが、自転車の移動は心がけたい
323	1085	今後も通勤には健康面も考え出来るだけ自転車・徒歩の継続に努力したいと思います。また、その他の用事にも自動車の使用を避けるよう心がけたいと考えています。
324	1085	車には滅多に乗らないが、たまに家族で出掛けており、休日の使い方と認識しております。今後、co2排出量についても気をつけたいと思っています。
325	1085	倉敷市の地域特性から、公共交通の利用は困難であるが、公共交通と自家用車をうまく使い分けし、利用しなければならぬと思う。
326	1085	公共交通機関の利用を増やす。
327	1085	公共機関を出来るだけ利用する
328	1085	出来るだけ乗り合わせて通勤するように努める。
329	1085	可能な限り公共交通機関や自転車を利用するよう心がける
330	1085	天気の良い日は自転車、徒歩で通勤する。
331	1085	近所には自転車や徒歩での移動を心がけるようにしたい。 遠距離には鉄道を利用するようにしているが、更にそのようにしたい
332	1085	個人個人が真に環境悪化していることを考え、行動することが大切と考える。「塵も積れば山となる」を良いほうで自薦していこう。
333	1085	もっと徒歩と自転車を利用したい
334	1085	私のように、駅から遠く、バス停が近くに無い者にとって、都会と同様な負担を強いるのは問題があると思う。それぞれの生活環境はもっと複雑で単一の取り組みにより判断できるとは思わない。クルマが必要な者は仕方なく使っていることを認識し、政策を策定し、取り組むべきだ。
335	1085	車は乗り合わせての利用が本来かなと思います。 この調子で行けば環境のために貢献できてうれしいです。
336	1085	妻は買い物に出る回数が多いのですが、出来るだけ近くのスーパーへ自転車で行くようにするのが望ましいんだと思います。
337	1085	外出には、自動車の利用を控えることが重要と思います。移動時間の短縮が今まで求められていたが、これからは時間の短縮でなく移動の過程をゆっくりと楽しむことに視点を置くことが必要かと思っています。
338	1085	今後は公共交通機関の利用や自転車などの利用に勤めたい。
339	1086	なるべく近い場所へは、自転車・徒歩で移動することが大事である。 また、余分なアイドリング等は控えなければいけないと思います。
340	1086	通勤の利用はやむを得ないが、近距離の移動は出来る限り徒歩・自転車を活用することとしたい。
341	1086	天候をみながら自転車を使う頻度を増やす。
342	1086	通勤等には、なるべく公共交通機関、自転車などを使いCO2の排出量の削減を図る。
343	1086	くるま利用率が非常に高い。朝と夕方の通勤時には保育園の送り迎えがあるので、車を利用せざるを得ないが、休日の買い物などはなるべく 自転車などを利用するように心がけたいと思う。
344	1086	何気なく使っている車の利用について、車以外の活用に気をつけるきっかけとなりました
345	1086	あまり努力したという意識がありませんでした。 CO2の排出量の減少に成功してびっくりしました。
346	1086	意識はしているものの急ぎの仕事があり帰りのバスがなくなるため車通勤をしてしまった。なるべくバス(バスしかない)を利用した通勤を心がけたい。
347	1086	自家用車はあまり使わないように努力したいが、交通の便が悪いことと、雨の多い地方であることから、便利で安全な乗用車を利用しがちになる。 しかし、可能な限り、公共交通手段を利用することを努力する。
348	1086	徒歩や自転車の利用を行うよう極力努力しようと思います。
349	1086	通勤には、公共交通機関利用が望ましいと考えている。 しかし、交通網が整備されていない地域住民にとっては、利用価値が限られます。 今後は、車の利用方法を検討していきたい。
350	1086	公共交通機関が乏しい中山間部では移動に伴う車の使用は必須である。
351	1086	通勤時のクルマ利用を他の方法にできなかった。
352	1086	趣旨は、十分理解しているが、必要に迫られた自家用車を利用している。特に、勤務の関係で、帰宅が深夜になる場合が多く、交通手段の選択肢が自家用車に限られる場合が多い。
353	1086	徒歩、自転車、公共交通機関の活用が可能な場合は、できる限り自動車の利用を控えることが必要
354	1086	今後も環境に配慮して取り組んでいきたい。
355	1086	近いところは、できるだけ徒歩又は自転車を活用したい
356	1086	今回は、たまたま週末に出張が重なったため生じた評価であり、今後も単純に続く傾向ではない。
357	1086	今回休日に車を利用する機会もあまりなかったが、今後も車利用は意識して使うことが大切と思う。 徒歩、自転車圏であっても降雨等やむを得ず、公共交通機関を利用することがあった。
358	1086	できる限り徒歩、自転車の活用を考え、次に公共交通機関、最後に自家用車の利用を考える必要がある。
359	1086	他の交通手段がなかなか得られなく、自動車が一番便利であるなど、やむを得ない面もある。
360	1086	可能な限り、徒歩、自転車、公共交通機関の利用を心がけ、自家用車を使用する場合でも家族、友達同士で同乗するようにするべきだと思います。
361	1086	乳児を抱えた人が利用しやすいよう、公共交通機関や、公共の建物が整備されれば、より公共交通機関を利用するようになると思います。
362	1086	目的地へ複数の公共交通機関の利用が可能な場合、バスより車で移動する。

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
363	1086	都会と違い、公共交通機関が不便な地域(バスが1日5往復しかない、JRが1時間に1本程度しか通過しない)の地域では、近所のスーパーへの買い物等でも自家用車の利用は回避できない。より環境に優しい自動車の早期普及(価格の低廉化等)を望みます。
364	1086	公共交通機関が発達していないのに自動車利用率を下げようとしても無理がある。市街地に住んでいる人と、郊外に住む人とは条件が違う。市街地で車を乗らせないように誘導してほしいもの。市街地でもっと自転車や歩きを大切にまちづくりが必要。
365	1086	通勤においては、自動車等公共交通機関の利用が好ましいと思うが、利用の不便さを考えるとなかなか実行できない。
366	1086	休日の買い物など、可能な限り自転車で、と計画しましたが、実際は天候、時間上の都合等により、かなり難しい。むしろ、大幅な削減、改善にはつながりませんが、数カ所の目的地をまとめて1回で行く、効率的な経路とするなど、地道な取組を心がけることが確実な道と思います。
367	1086	基本的には、公共交通機関を利用することが望ましいが、都会と違い、田舎で移動手段のメインを公共交通機関とすることは、不可能です。そうかといって、田舎に公共交通機関を整備しても人口が少なく、利用率が低くなるため、かえってCO2排出量は、減らないのではないのでしょうか。田舎で取組むとすれば、効率的に自家用車を利用し、使用回数を減らすことが望ましいと思います。
368	1086	地方部での交通事情を勘案した場合、移動手段が限定され、自動車の代替施設がないので、極力自動車を利用する機会を減らすか、無駄な利用をしないようにするしかない。
369	1086	今回、CO2排出削減を目指すあまり、交通手段を意識し過ぎたため、こちらの方でストレスがたまった。当たり前、無意識に、公共交通機関や自転車、徒歩を選択したい。
370	1086	よりCO2削減を目指したいが、地理的条件から困難。自動車利用以外の面でのCO2削減を目指したい。
371	1086	公共交通機関が少ない中で、車は生活に欠かせない交通手段となっております。しかし、通勤距離が比較的小さいことや、アンケートで提案のあった妻との乗り合わせや買い物などの用事を一緒に済ませることによって、CO2の削減が可能になると考えさせられました。今後は、このことを考えながら上手な車の使い方をしたい。
372	1086	休日なるべく車を使用しないようにする。
373	1087	車の利便性と公共交通の利便性の比較をするとどうしても車から離れられない。しかし、歩く、バス等への意識は高まった。
374	1087	自宅が駅から遠く、バスも2時間に一本という状況では、なかなか公共交通機関を利用することは難しい。都会に住んでいるなら簡単に変わる事ができるだろうが、現状ではこれが精一杯である。
375	1087	公共交通機関を利用すべきではあるが、利用便が悪く利用づらい状況にある。
376	1087	積極的に公共交通機関を利用して通勤するよう心がける
377	1087	平日の車利用については、道路管理業務を担当しているため市民の方々と現地立会する機会が多く、公共交通機関を利用して移動することは困難ですが、同じ方面に出かける他の職員がいる場合はできるだけ乗り合わせてでかけるように心がけたいと思います。 休日の車利用については、自宅が市街地から離れているため自家用車の利用を控えるのはなかなか困難ですが、買い物等の所用はできるだけ平日の帰宅時に済ませて、休日の車利用の回数を減らしたいと思い
378	1087	自分としては可も無く不可も無くといったところでしょうか。 鳥取みたいな公共交通が発達していないところでは車の利用が制限されると引きこもるしかない現実があります。カーシェアリング制度が出来ればまた別とは考えます。経済活動をするときは必ずエントロピーが増加するこれは絶対です。二酸化炭素の排出量を削減するというだけでは省燃費車を購入時に選択するしか現状では選択肢がありません。植物を増やして二酸化炭素の吸収量を増やす方向を考えてもいいのではあり
379	1087	どうしても車でないとダメな時を除いて、徒歩や自転車を利用してみたいと思います。
380	1087	近い距離は徒歩、もしくは自転車を利用する。
381	1087	公共交通機関の利用が望ましいが、地域情勢等の問題もありこの手法が一番であるとの判断は難しい。
382	1087	公共交通機関の利用
383	1087	バス路線や電車路線の通っている地域への移動は、それらを利用すればよいと思う。また、近くへの移動は自転車を利用すれば車の駐車場を探さなくてよくなったり、店舗の入り口まで乗り入れることができ、より小回りがきくので積極的に活用していった方がよいと思う。
384	1087	車を使用しないで済む用事には出来るだけ利用しないよう心がけることにより、少しでも環境に悪影響を与えないようにしたい。
385	1087	環境面について考えると、なるべく公共交通機関を利用すべきだとは思いますが、数も少なく、利便性を考えるとどうしても自家用車を利用せざるをえない環境にある。必要最低限の利用に限るよう心がける。
386	1087	近距離移動は徒歩・自転車 中長距離は状況に応じ自家用車又は公共交通機関の利用
387	1087	できる限り徒歩、自転車等環境負荷の少ない移動手段で目的地へ行きたいがなかなか実行できていないのが現実です。
388	1087	天気の良い日とか超勤がない日を自転車通勤にする。
389	1087	無駄な使用は極力しないように心がけているが、利便を優先させてしまうことがままある。日常の使用でも心がけ次第では他の手段に変えられる場合も多く、子供の自動車使用、環境に対する思考への影響を考えると今後は親としての姿勢も含め改めて見直しを図っていかなければならない。
390	1087	もっと、公共交通機関と徒歩を使うべきだ。
391	1087	通勤は可能な限り家族を同乗させる
392	1087	わずかながらCO2排出量が増えたが、いたしかたないと思う。停車中のアイドリングに心掛けたい。
393	1087	一週間に一回程度は、時間に余裕を持って乗合で通勤できるように取り組みたい。
394	1087	公共交通機関を利用すればいいことはわかっているが、実際に移動手段とするのは難しい。
395	1087	目的地が同じ等の場合は、出来る限り相乗りが望ましいと思うし、電車等で行けるところは、電車等に乗るべ

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
396	1087	10月から、自家用車からバス通勤に変えました。自分で運転するわづらわしさから解放され、それが、CO2削減の行動につながりうれしく思います。休日もバスを使用していますが、家族にもこの輪を広げたいと思います。
397	1087	なるべくマイカー利用を控えて、公共の交通機関を利用する。
398	1087	徒歩、自転車で行けるところは、自動車を使わないで行くよう時間的にも余裕を持って行動する。できるだけ、相乗りを利用する。
399	1087	今回の取り組みではCO2排出量が増加する結果となりましたが、公共交通機関が網羅されていない地域への移動であるため、ある程度やむを得ないものと考えます。可能であれば、当然公共交通機関や自転車等を利用することが望ましいと思います。
400	1087	交通網の少ない地域なので車は必需品ですが、次世代の交通手段は何がいいのか？
401	1087	通勤等、時間的にも自家用車は不可欠で、環境保護のため、エコカーへの乗り換えが考えられるが、購入価格がもう少し安ければ考えられる。
402	1087	極力、相乗りを行うようにすること。用事は、通勤ルート内で済ますようにする。
403	1088	できるだけ公共交通機関を利用する。
404	1088	極力、公共交通機関を利用したい。
405	1088	交通状況からして、やむを得ない。
406	1088	通勤で自転車を使用することができれば、90点ぐらいだろうと思うが、時間や労力がかかること、雨の日は靴下等がぬれること等を考えると、なかなか実行できていない。また、子どもの休日のクラブや塾の送迎に、自家用車を使わず、自分の自転車で行き帰りできれば、100点満点と考えるが、荷物があり、雨のことを考えると、なかなか実行できていない。
407	1088	自動車利用はなるべく控えて、CO2排出を押さえる方法を検討する。
408	1088	もう少し自動車利用を押さえるべき
409	1088	自宅からの公共交通機関が不便であり、実体上、利用は不可能なため、自家用車を利用せざるを得ない。自動車をハイブリット車に変える等の対応しかない状況である。
410	1088	公共交通機関が充実していれば、公共交通機関
411	1088	自家用車以外の交通手段利用により、環境負荷を低減したいとは思っているが、公共交通機関を乗り継いで通勤するためには、現在の通勤時間の3倍を要することから、公共交通機関利用は困難な状況である。休日の自家用車利用を極力控え、公共交通機関を工夫しながら利用したい。
412	1088	車に頼りすぎていることはよくわかっているが、時間に余裕がなく現状では、車の利用以外には考えられない。もう少し、時間にゆとりがある生活ができれば、車の利用は控えられる。
413	1088	休日に計約4kmの距離の移動を徒歩による。通勤のための車両使用はやむを得ないと考えている。
414	1088	自家用車の利用を可能な限り控えること
415	1088	週末に遠出をしたために、クルマの使用が増えた。季候のいいこの時期は、徒歩や自転車で出かけるように心掛けている。
416	1088	つつい時間なくてクルマに頼ってしまい、反省していますが、地方都市では公共交通機関が不便で、時間を有効に使うためにはどうしても自動車が移動手段の第一候補になります。もちろん、計画的に行動することが大事ですが、前提となる公共交通機関の充実がまず必要と考えます。
417	1088	平日(主に通勤)については、わたしが10月18日に取り組んだ外出行動のような交通手段(公共交通機関の利用)にすることが望ましいと考えます。平日(普段の買い物等)については、住居からできるだけ近いところへ徒歩や自転車により外出し、遠出の場合はできるだけバス等の公共交通機関を利用する交通手段が望ましいと考えます。休日についても、公共交通機関が発達していないところは除き、基本的には平日(普段の買い物等)と同様の交通手段に努めることが望ましいと考えます。
418	1088	用事をまとめて一回で済ませよう工夫する。
419	1088	通勤だけでも公共交通機関の使用が望ましいと考える。しかし、帰宅時には公共交通機関がないことから、現実には厳しいものがある。また、個人的には、環境面だけでなく、交通事故等の危険率からみても公共交通機関を利用する方が良いと常々考えている。
420	1088	田舎なので車が必要。農業もしているの。
421	1088	相当意識して努力しないと困難であるところを改めて感じた。
422	1088	少しずつでも、心がけることによりCO2排出の削減に寄与できることがわかりました。今後ともちょっとした努力を継続していけるよう考えていきたい。
423	1088	歩くように心掛けます
424	1088	常日頃から自動車はなるべく使用しないように気をつけています。
425	1088	週1回程度は、鉄道とバスを使って通勤をする等、継続的に続ける努力が必要と感じる。現在、夫は、長距離通勤をしており、もう少し近くに転勤できると、排出量が相当減少する。
426	1088	日頃は自家用車で通勤していますが、気候も良くなったのでたまには自転車で通勤してみようと思います。
427	1088	期間中、CO2排出量が増加しては、点数の付けようがない。しかし、公共交通機関の整備状況や生活行動を考えると、代替手段がないことも事実。
428	1088	当該地域の公共交通機関の状況、また道路の自動車優先の設計から自転車利用を配慮した道路づくり、交通体系にする必要がある。
429	1088	健康面からも自動車の利用を控えたいが、バスや電車の待ち時間が長いことや自転車や徒歩で行動することが少なかった。

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
430	1088	地方都市では、公共交通機関が発達しておらず、マイカーでの移動しか選択肢がないのが現状です。今後、技術開発により、超・超低公害車が開発され、自動車での移動が他の手段よりも環境負荷が少なく、自動車での移動が推奨されるような社会がやってくることを地方都市の住民としては望んでいます。
431	1088	公共交通機関を積極的に利用することが望ましいと思う。
432	1088	他の交通機関を使う等の検討を行わなかったため。
433	1089	業務に関しては車使用が必要不可欠であり他の交通手段が発展しない限り変わることが有り得ない。
434	1089	内の山には49本以上の樹木があります。
435	1089	住環境を考慮すると自動車を使わなくすることは、不可能。電車、バスなどの利便性もよくない場所なので、この取り組みは難しい。
436	1089	パーク&ライドを利用したい。 現在は時間的にも限りなく不可能に近いが、条件があれば積極的に活用したい。
437	1089	私の住む地域では生活をしていく上で車の利用が不可欠になり、また公共交通機関を使うと通勤時間が2倍に増えるため、ほとんどの人が車を使用する。 しかし、それを減らす努力は必要なので、通勤、業務での乗り合いを心がけることが重要と思う。
438	1089	交通機関が発達していない地区においては自動車を使用せざるを得ない状況なのでこれ以上の取り組みについては不可能である。
439	1089	かなりがんばっています。
440	1089	地球環境を考えれば、当然CO2を排出する生活はしないのが良いのかもしれませんが、それは、現在の住環境を考えると難しいです。何故かという、CO2排出を抑える生活をしていくためには、かなりのエネルギー・労力を必要とし、効率的ではないからです。そのあたりが整備され、選択肢の一つとして考えられるようになれ
441	1089	通勤に自動車の使用をやめることは難しいが、同乗する等他の方法を考えてみたい。
442	1089	公共交通機関の利用は可能である
443	1089	地域性を考えると自動車の利用が多くなることは仕方がないが、なるべく自転車等で出かけてみようとは思
444	1089	特になし
445	1089	自転車・徒歩及び公共交通機関を利用し、環境に配慮する生活をする
446	1089	自動車での移動を極力控える。
447	1089	事業所全体でのCO2排出量が、削減されたにも関わらず個人的に増加したことが、残念
448	1089	車での外出を極力抑える
449	1089	自動車使用
450	1089	日々、車に頼りすぎている。通勤については、自転車等の利用を検討したい。
451	1089	公共交通や自転車等、マイカーに寄らない外出は、恒常的に継続するのは不可能。
452	1089	通勤はなるべく自転車を利用することと同時に、余暇の活用については、森林整備(除伐・炭焼き)等に当て、二酸化炭素の排出量の削減に努めたい。
453	1089	CO2排出量の抑制は必要と考えます。 その一方で、交通手段の連結かつ移動時間の短縮が体系的に確立していないのが現状であります。 このようなことから、移動距離が短く、移動時間に余裕がある場合にCO2排出量の削減に努めたいと思いま
454	1089	公共交通機関が利用可能な場合はそれを利用する。自家用車を利用する場合には相乗りにつとめる。
455	1089	車を使わないと大変不便な地域なので、今後とも車を利用せざるを得ないと思います。
456	1089	この度は家族で出かけるのに、公共交通を積極的に利用した。これからは環境や健康の観点から公共交通の利用を心がけたい。
457	1089	現状では、全面的に自家用車から公共交通へ転換はできないが、できるだけ自家用車による外出を控えるよう意識することが大事と思う。
458	1089	自転車と車の融合
459	1089	現在の交通事情では、なかなか難しく、更なる公共交通機関の利便向上は見込まれまいことから、ハイブリット車への乗り換え等により、各種問題の解決に寄与していきたい。
460	1089	第2回は、遠出をした分、CO2排出量が増加しているが、自動車の利用を自転車に変えたり、同乗もしているため、自動車利用率は低くなっていると思う。 公共交通機関が整備されていないので、自動車の利用は避けられないが、近距離は自転車を利用する等、考えていきたい。
461	1089	通勤・外出に自転車を使うべきだと思うし、使うことができればいいのと思う。
462	1090	業務で外出の際には、複数人数での乗り合いで車を利用している。また、所用で車を会社に置いて帰った翌日には、徒歩(40分)で通勤するようにしている。
463	1090	特に公共機関に変更する必要ない。
464	1090	地方における公共交通機関の充実が自家用車の利用の低減に寄与できると考える。徒歩5分以内に鉄道の駅があり、電車が10分間隔で運行されており、深夜1時くらいまで最終電車があれば自家用車の使用は劇的
465	1090	これ以上は譲れません。
466	1090	公共交通機関が十分でない地域では自家用車なしでの生活は不可能に近い状況と思われる。徒歩や自転車の利用も可能であるが、荷物や天候、大幅な時間を必要となり、また、自転車にしても家族でとなると走行道路も未整備なところも多く、安全性にも問題があります。 自転車道路を欧米並みに整備できれば状況は変わってくるものとは思いますが。
467	1090	公共交通機関の活用を図るべきだが、勤務時間・移動手段等を考えると個人の努力だけでなく、行政側も積極的な投資をはかりバス会社・鉄道会社への支援を行い交通アクセスの充実化を推進する必要がある。 地方では、1時間に1本の運行状態であるとか、9時以降になると殆ど公共交通機関の運行がない。また、バスにしてもマイクロバス程度の小型車を多数導入し、きめ細かいサービスを提供するなどには行政の資金支援も必要であるのでは。
468	1090	現在は子供が産まれたばかりのため車を使うことが多いが 落ち着けばバス・自転車を活用して利用を少なくしようと思う

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
469	1090	自動車利用が高いことは反省しなければならないが、公共交通機関を使用しても環境への影響は多少減る程度だと思う。バスの利用率を高めるには待ち時間の短縮が必要だと思う。皆、自分の都合の良い時間に移動でき好きなように行動できるので自家用車を使用しているのだと思う。その点から考えればバス等の公共交通機関は決まったところまでしか行かないので不便な気がする。近いところであれば、そこを經由してどこかに行かない限り、徒歩や自転車を活用したい。しかし、近くに行くようなものがなかったり、徒歩で行くには少し遠いけれど、自転車なら行ける距離に何かあったとして自転車を購入したとしても、週に何回使用するかも分からない、悪く言えば何ヶ月も使用しないかもしれないということにだっとなり得る。そうなる結局どこかに行く時には、自動車になり自転車は持っているだけで無駄だと考えている。望ましい考えというのは、いわば理想であって難しいものであると思う。自動車を運転する自分が言うのも変だが、こうなることが分かっても便利だからという理由で自動車を作ったのではないかと思う。環境への影響が深刻化されて初めて対策案も練っても今更遅いと思う。正直なところ、自動車使用率が下がることは国が何か法律でも作らない限り減少しないと思う。望ましいものは徒歩や自転車だが、この2つで行ける所には限りがあるので望ましくはやはり車での移動が主になってしまうので、移動手段をなかなか変えづらいのが現状である。ただ、実家から小学校までと5km程度なら自転車、もしくは歩いていこうとは思ふ。望ましい交通手段は時間や目的によって交通手段を選択していけばいいと思う。
470	1090	通勤はバスを利用し、近所での買い物は自転車を利用する。
471	1090	なるべく自家用車ではなく徒歩や公共の乗り物を利用しようと思っはいるのですが都会と違って公共の公共交通機関を利用するととても時間がかかるのでつい自家用車を使用することになる。
472	1090	なるべく車を使わないようにする。
473	1090	徒歩で行ける所にはなるべく徒歩で行く。
474	1090	地方都市で現在住んでいる個所を考慮すると自家用車の利用は仕方無いところがある。車は通勤に使用しており、平日の外出では妻・両親・家族は徒歩、バス利用やタクシーを利用しており、休日の外出も一度に全員で外出するように心掛けている。今後はハイブリッド車等環境に優しい車を購入・利用したいと考えるが、行政他では安価で入手可能となるよう、また公共交通手段もより使い易いよう改善されるよう希望する。
475	1090	最近、自家用車でハイブリッドカーの売上が急増している。これは、ガソリン代の高騰に起因していると思うが、結果的に環境に易しく良いことだと思う。(CO2排出の影響減)交通手段でバス、電車の利用促進と併行してHB車の利点もPRすべきと思う。
476	1090	第1回の際、入力ミスをしているようです。(所用時間欄の自動車と自転車を取り違えている。)第2回には、バス利用や自動車の同乗を実施しており、今回の取り組みにおいて意識改革はされたので、とても有意義で
477	1090	公共の交通手段を可能な限り利用する。
478	1090	環境保全、体力維持のために車を使う回数を減らすよう念頭においているが、公共交通機関の便数、経路などの関係でどうしても車の回数が多くなる。これからもできるだけ車の回数を下げるよう心掛けたい。
479	1090	取り組みに対する意気込みが足りない。
480	1090	車の使用が少ないことが評価できる。
481	1090	車を使わざるを得ない環境(田舎で他の交通手段が極めて乏しい)で生活しているが、公共交通の増便は現実的には無理。とすれば、自転車や徒歩をできるだけ使うしかない。
482	1090	自転車が安全に通行できる道路建設により、自転車通勤の拡大を図る。 自転車通勤者への補助をする。
483	1090	会社への通勤は、当日の私有車使用の有無で徒歩又は公共交通機関を利用する。 家族については、遠距離以外は徒歩・自転車・公共交通機関を利用することで、「かしこいクルマの使い方」家族全員で動く(乗り合わせ)ようにしており、買い物等の外出は効率的に行われていると思う。
484	1090	通勤でバスを使用すればもっと良くなると思うが、便(特に夕方)が悪いのでなかなかバス通勤する事が出来ない。今後バスの便が増えれば利用したいと思う。
485	1090	自動車は便利で必要不可欠なものだけど、少し考えて、友達の車に同乗したり、近いところなら自転車を使うだけでかなりのCO2削減になると思う。
486	1090	日常「CO2排出量」を考えることはなかったのですが、今回の結果をみて、ちょっとした、工夫・努力が排出量を減らすことが出来るとわかりました。これを忘れずに、日々生活していきたいと思ひます。
487	1090	通勤はどうしても車でしかいけないので出来るだけ帰り道で買い物をする。週二回程度に抑えたいと思ひなるべく公共交通機関を使うようにする。
488	1090	なるべく公共交通機関を使うようにする。
489	1090	メインで使用する車は、ハイブリッド車であり、後の2台は、軽自動車です。一般的には、CO2の排出は少ないと思ひます。 但し、これ以上どう減らすかは、住居の交通の便の関係もあり中々難しいと思ひます。 2回目も、増加しているのは、休みにちょっと遠出をしたからです。 現状では、バス便を増やしてもらいたいのが一番の希望です。
490	1090	公共交通機関のよほしい地方都市での車から電車、バスへのシフトは日常的には困難ですが長距離の移動はメリットがあります。 又一次に用事をすましたり、レジャーでは電車、バスの利用するスケジュールにしたり、近くは自転車で出かけるなど工夫することが大事です。 (燃費のよい車に乗ることもCO2削減には有効です)
491	1090	自転車・電車の活用
492	1090	地方都市での公共交通機関の衰退は、目を覆うばかりである。 このような状況の中で自動車以外の移動手段が有り得るのか。 疑問である。 1時間に1本も運行されない、最終便時間が早いでは、利用したくても出来ない。

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
493	1090	都会と田舎では交通手段が異なり車の利用方法も異なると思われる。今回のアンケートはこのような区別がなく回答に戸惑うことが多かった。 このアンケートの費用対効果が適切か疑問である。アンケートの記入日時、方法により数値も大きく変動するので本当にCO2削減に協力出来たかも疑問である。
494	1090	・私の移動(交通手段)は休日も含めて通勤・出張だけである。自宅から 駅までの距離や便数、走行時間帯等の交通不便により現行がベストと と思われる。 ・妻もできるだけ車を利用しないようにしている。車を購入して6年になる が、走行距離は未だ10,000km
495	1090	通勤手段を検討
496	1090	排出量の減少に成功と出ているがたまたま減っているだけで車以外の移動手段は今のところ考えられない。
497	1091	排出量削減の努力が足りませんでした。今後は通勤に電車を利用する等、CO2排出量の削減に取り組んで
498	1091	田舎では、自家用車を使うのは仕方ないことだ。 私も、公共交通機関の発達した都心部なら電車やバスにも乗るし、その都度歩く。-20点は車種の選択にある。ハイブリッドカーにでも乗ってれば100点だ。CO2削減は必要なのはわかるので日本の少子化をCO2削減効果に換算してみたりしてはどうか？
499	1091	ほとんどが通勤手段として自家用車を使用している訳で、公共機関を使用するにも時間的な制約や交通費負担増が発生するわけであり、これらが保障されない限り、公共機関の利用は出来ない。
500	1091	公共交通機関が整備されれば、公共交通機関・電車及びバス等利用する。現状、電車は1時間に1本の割合で時間が制約されるので利用できない。買い物等近くに出かけるときは、極力徒歩や自転車を利用しようと
501	1091	自転車若しくは同乗による移動。
502	1091	有効な公共交通機関がありません。 交通インフラを整備してからでない限り余り意味がないと思います。
503	1091	本年度は家庭の都合があり対応出来ませんが、可能になれば1回/週程度は自転車での通勤を実施した
504	1091	通勤で公共交通を利用するには、バスの始発時間を早めてもらう以外に不可能である。そのため、何回かの用事をまとめて行うことにより、クルマ利用の機会を減らしたいと思う。
505	1091	出退社時、相乗りするか、計画的に電車利用。
506	1091	出勤などに便利の良い時間帯の公共交通機関が少ないことを考えると、車を利用することはやむを得ないことだと思いますが、休日の近場の移動など時間を気にすることない移動には車以外の移動も考えてみる必要があるのかなと思いました。
507	1091	今回の減少は外出が無かったということで、動かなければ排出量の減少は当然だと思います。 根本的に、一人で塵も積もれば・・・ですが。運送業や船舶、飛行機の効率化をまず国を挙げて率先したら如何でしょうか？
508	1091	家の周りにはスーパー・JRの駅が近くにあり、車を使用しなくても充分な環境である。時間に十分な余裕を見て公共交通・自転車・徒歩で外出するように心がけたい。
509	1091	なるべくその日の自分の行動により、車の利用を控えれそうな時は意識して公共機関を使用するか、人の車に便乗するかを選択をするように 心掛けたいと思います。
510	1091	通勤などで電車を利用したい気持ちはあるが、駅に出るまでが不便なこと、電車の本数が少ないこと、21時が終電であることなどから、どうしても便利な車を頼ってしまうのが現状である。
511	1091	できるだけ、徒歩や自転車を利用する。
512	1091	平日の通勤では現実的には公共交通機関を利用することは難しい。休日は出来る限り、徒歩、自転車を利用する。通勤手段ではないがラッシュ時をさけたり、無駄なスピードをださないとかなり燃費が違うのでちいさなことで気をつけたい。
513	1091	なるべく車を使用しなほうが好ましいとは思いますが、なかなか公共機関を利用するまでは、現時点では難しい状態なので、なるべく他の人と便乗するとか、用事を頼む等をして、車の利用頻度を少なくしていこうとは思っています。
514	1091	通勤において、近隣企業の就業時間に合わせた、交通機関(電車・バス)の発車、停止時間を設定する(要望)。 目的地が同じ場合は、同乗して行く。
515	1091	バスや電車の運行時間間隔をもう少し短くなるように検討して欲しい。 自転車道や歩道の安全帯を充実して欲しい。
516	1091	通勤に公共交通機関の利用または自転車を使用したい。
517	1091	子どもがまだ小さく、また親の勤務先方向も異なることから、日常生活の車はかかせません 保育園と通勤等、同方向ではなるべく同乗、また用件を1度で済ます、等の取り組みは率先して行って行きたいです。また、可能な限り自転車通勤も、なかなかいいものだと思います(健康にも・・・) 生活に支障のない、エコ活動が息長くできればと思います。 集計ご苦労様です
518	1091	望ましい交通手段として、「急加速、急発進をなくすこと」と「小型車(軽四やバイク)での移動」だと思ふ。同じ移動距離も消費量はかなり違うと思う。その辺の評価なしに単純にたった2週間の行動(少ないサンプル)でCO2排出量の評価をするのはどうかと思う。
519	1091	今回たまたま、1回目取り組みの時には外出せず、2回目取り組みの時には、外出した為、CO2が増加することになってしまいましたが、でかけるときは、家族そろって出かける、また、車は2台所有していますが、普段はなるべくバイクを利用するなど、自分でできる限りの努力はしているつもりです。自分では、良く頑張ったと
520	1091	健康面も併せて、自転車の利用を推進する。
521	1091	荷物の運搬で車を利用しなければならなかったのが、原因と考えられます。
522	1091	公共交通機関の時間が通勤時間に対し合わないの、どうしても 車通勤になってしまい、車の利用時間を減らすことが出来なかった。
523	1091	現状の公共交通機関の電車・バスの量では自家用車通勤は仕方ないと思う。
524	1091	近場へ行く時は、自転車の利用を促進し、 通勤も極力月に一度程度は、電車等を利用する。
525	1091	電車、バスを使用するのは、とても、不便なので、 どうしても、車使用してしまいます。

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	自己評価コメント
526	1091	外出行動におけるCO2排出量は減らすことができると思う。外出する前に行動方法をちょっと考えるだけで、大気汚染を減らすことができるので、これからもできる限りのことはやっていこうと思う。
527	1092	今回テスト的に他の交通機関を用いて見たが、待ち時間が多く移動に時間がかかりすぎる、費用が多く発生する等継続して実施するには困難であることが判った。
528	1092	交通環境が都会と田舎では異なりすぎ、地域の社会構造(設備等)も交通機関に配慮しているとは思えない。例えば、ある地域全てを車乗り入れ禁止にし、自転車や電気自動車など環境にやさしい乗り物を自体が用意しないとなかなか車の利用を少なくすることは難しいと思いました。
529	1092	通勤、買い物に車が便利なので自動車利用率が少し高くなった。
530	1092	1回目と2回目は行動パターンが異なるので単純に比較してCO2排出量が増えているの評価は不満である。交通の便が悪いので今後も通勤パターンは変わらないと思うが、なるべくお互いが同乗するようにして、CO2排出量削減に協力したい。
531	1092	用事のあるところにバス、電車等の公共交通機関がほとんど通っていない。特に用事のある夜間は2時間に1本程度まで少なくなる。
532	1092	自宅が交通の不便な場所にあるため、なかなか自動車以外での外出が難しいのですが、近くへの移動は徒歩、用事はできるだけまとめて済ますようにするなど、できることからこつこつと環境にやさしいライフスタイルに取り組んでいきたいと思ひます。
533	1092	今回のプログラムの目的が少し判って来た様な気がしますが、スタート前に目的を理解して取り組みたかった。
534	1092	徒歩・バス・電車等で移動するのが望ましいのは解かっているが、現状では無理である
535	1092	公共交通手段が整備されること、それにより皆が利用する雰囲気を作っていく必要がある。
536	1092	勤務が朝早いので公共の交通機関の便が悪いためどうしても自家用車を使う必要がある。しかしながらCO2の削減を図る努力はしていきたいので勤務以外の時は出来るだけ工夫して車を使わない努力をしたい。
537	1092	公共交通機関を使うことに抵抗はないが、通勤においては、公共交通機関は不便で、乗り換えや徒歩で、現状の2～3倍の時間がかかり難しい。相乗りは、朝は可能だが、帰りの時間を合せるのは難しい。したがって、休日の自動車の使用方法を減らすよう心がけてみよう。
538	1092	環境保護の面から考えると自家用車の利用を避けることが好ましいが現実的に考えると都会型の公共交通システムが確立せれない限り時間的なロスが多く自家用車利用を避けることは困難である。
539	1092	自家用車以外の交通手段が充実している地域であれば、そちらを使用しようという気になりますが、私が住んでいる地域はそうではないため積極的に取り組めないのが現実です。
540	1092	通勤や買物、レジャー等に公共交通機関を利用するのがベストですがバスや電車が整備されていない地域では無理と思います。今でもレジャー等は仲間と車に乗り合せ、出来るだけ一緒に遊びに行くようにしている。
541	1092	今後最善を尽くし行動するよう考えている。
542	1092	自家用車ばかりでなく、公共の乗り物や自転車・徒歩を使用するよう心がける
543	1092	距離・内容により公共交通機関及び自転車の利用を実践する必要がある。但し、都会と違い公共交通機関の不便さの解消が必要とも考える。
544	1092	今後、意識して公共交通機関を利用しようと考えています
545	1092	用事をまとめて外出する。交通機関の便利な外出は、電車やバスを利用する。
546	1092	個人の負荷で達成させるのではなく、行政が考える事。役人が税金の無駄使いするくらいなら、低CO2車を国民に支給すればよい。
547	1092	近くへの外出(通勤、買い物)は、車を自転車・徒歩に変更することは健康面からも案外簡単にできるが、遠方への外出はなかなか車をやめることができない。今後は、遠方への外出を公共機関を使用すると、より大きなCO2削減となるので、そのことを実践する努力をしないといけない。
548	1092	近いところは、徒歩か自転車で。
549	1092	上記のコメントにもありますように商店に近いので買い物とかは自転車を利用しています。…これは今後とも継続していきたいと思ひます。ただ車をあまり利用していないのにCO2が増加したのが何故か良くわかりません。
550	1092	もっと自動車の利用を減らせようと思う。
551	1092	通勤車両の3000ccを更新時に小型車orハイブリッド車等の省エネ車oに変更する。それまでは、週1回程度、自転車を使用したい。
552	1092	自動車に頼ることが多いが、公共交通機関(電車、バス等)を増便してもらえば、交通手段として使用した自宅から職場までが自転車での通勤が可能であるため、削減効果が出ましたが、自動車通勤されている方は公共機関の整備がされていない(利用率が低いので整備対象とならない?)ため、現状の方法での削減
553	1092	不必要に自家用車は使わない。
554	1093	公共の交通機関がもっと使いやすく整備されればいいのですが...
555	1093	通勤と遊びにかなりの時間、車を使用しているが、外に交通手段が無い為仕方ないと思われる。
556	1093	前回と今回の差だけで評価されるのは、侵害です。
557	1093	環境へ与える影響を考慮すると、車などの使用を極力減らしていかなければいけないと考えています。しかし、現実的に車の使用を止めると他の交通手段が自転車もしくは歩行のみとなり、自宅のある丘陵地まで上ることを考えると、到底困難なことと考えます。したがって、出来る範囲で車の使用を減らしていきたいと思ひます
558	1093	自宅の近くへの用事は、自転車が徒歩で行くようにする。(公共交通機関を利用したいが、駅やバス停まで遠いので、利用できない。)
559	1093	日常生活の中で、できる範囲内で挑戦した。自分なりに今回の内容には満足しています。

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
560	1093	人間とは弱いもので、なかなか良いことでも実行出来ないが、地球が破滅するという恐怖感をみんなにつたえるべきだ。
561	1093	地域的に自動車利用が便利であるし、近くに公共交通が少ない。
562	1093	必要最小限に乗る
563	1093	マイカー通勤により発生する渋滞によりCO2の排出量が多いと思うので、この時間帯の自動車利用を控える必要がある。また、自動車利用を控えることで健康面でもいいことだと思う。
564	1093	一般的な交通手段の使い方についてのコメントでしょうか？
565	1093	自己についてであれば、通勤に自転車を利用することがもっとも望ましいとは考えますが、保育園の送り迎えがあるので、当分は困
566	1093	日常の交通手段にスピードを要求しない、スローライフの考えが、社会全体の価値観に必要なだ。
567	1093	買い物で、荷物が重いので、車に頼った。
568	1093	次回からは、自転車などでの買い物にする。
569	1093	家族(1)が、自宅から職場まで遠く、交通も不便なところへあるので、実現は難しい。
570	1093	通勤にバスが利用できないため、自家用車を利用しているが、公共交通を優先して利用できるよう近隣の駅にパークアンドライドの駐車場の確保ができれば更に望ましい交通手段として利用できる。
571	1093	日々の通勤に公共交通機関を使用し、休日には自家用車でドライブ等を楽しむ。ただし日々の通勤に公共交通機関を使用するためには、郊外循環型(駅と住宅地を循環)のバス路線が必要である。
572	1093	自宅の位置での公共交通機関の利便が良くないため、やむを得ない。
573	1093	一人での取り組みには限界があるようです。
574	1093	公共交通機関の充実(7時以降も運行する)を図る中で、取り組みが必要。
575	1093	我が家の周辺の交通事情が非常に悪いので、自家用車は不可欠だが、乗り合いをして利用率を減らしたい。
576	1094	自転車通勤は、健康にも地球温暖化防止にも役立つことを実感している。
577	1094	なお、先週の4出勤日中、1日は自家用車で通勤したので、75点と自己評価した。
578	1094	地方に住んでいるため、交通の便があまりよくないという事情はあるものの、月に何回かは公共交通機関を利用して通勤することは可能なので、もう少し意識的に実践していかなければならないと感じました。
579	1094	週1日は公共交通機関(主に電車)による通勤を考える。
580	1094	バスなどの公共交通機関を週1、2回でも利用するように努めたいと思う。
581	1094	通勤距離が4キロ程度であるため、自転車通勤をしたいと思っているが、子どもを保育園に送迎していることから、現時点では自動車通勤は仕方ないと考える。しかし、保育園への送迎がないときには、自転車通勤を行いたいと考えている。
582	1094	自宅からバス停留所までの距離は約1キロであり、その利用は継続し難いとする。このため、環境対策及び自らの健康づくりを踏まえ、自転車通勤が好ましい。
583	1094	自転車や公共交通機関を使う
584	1094	今回のプログラムでは通勤時について車利用を控えたが、普段のちょっとした外出でも徒歩や自転車などを積極的に利用しよう心がけたい。
585	1094	バス利用を考える。
586	1094	飲会等の際には、近所の同僚に同乗願う。
587	1094	4km以内の移動は自転車を使用する。
588	1094	電車通勤
589	1094	バス通勤をするのが望ましいと思います。
590	1094	現状は自宅に近いバスの便は行き帰り1本ずつ、しかも回り道をするコースで時間もお財布にも厳しいです。毎日では難しいので仕事の状況をみてできる日にはバス通勤をしていきたいと思っています。
591	1094	時間やスケジュール、環境等を考慮して、総合的に効率のよい交通機関を選択する。
592	1094	無理がない範囲で、できるだけ環境の負荷の少ない交通機関を選択するよう配慮する。
593	1094	可能な限り、自転車や公共交通機関を利用したい。
594	1094	マイカー通勤と二酸化炭素量の関係が明確になってきた
595	1094	渋滞に伴う時間のロスや排気ガスの量を考えると、電車通勤が望ましいと考える。
596	1094	自転車使用を増やすよう心がけたい
597	1094	前々回にコメントしたとおり現状を変えられません。
598	1094	都市部のみではなく、日本全国で利便性のよい公共交通機関の開発が一番ではないでしょうか。
599	1094	もしくは、石油系燃料を使用する内燃機関を原動機とした交通機関(簡単に言えば車)を、電気や燃料電池を使用するものへ変えるのがよいのではないのでしょうか。もしそうなっても、車を動かす為の電気を発電するのにどれだけのCO2がはせいでしょう？
600	1094	時間の都合で、なかなか公共交通機関(電車・バス)で通勤できていない。少しずつでも自家用車を利用しないで通勤できるように努力したい。
601	1094	公共交通機関をなるべく利用しようと試みましたが、駅・バス停が家から遠いためなかなか取り組みませんでした。が、今後は、駅までの交通手段を考えてなるべく自動車の利用を減らしたいと思っています。
602	1094	自動車の利用率を少し下げべきだとは思っていますが、なかなか行動が伴いません。バスの便がもう少しあれば、もう1歩進めそうなきがします。
603	1094	公共交通機関や自転車の利用
604	1094	可能な限りバス等で通勤する。
605	1094	歩く時間が長くなり慣れるまでは大変だと思うがなんとかかなりそう。通勤時間はあまり変わらなかった。あとは費用の問題。ガソリンがもっと値上がすれば、毎日でも公共交通機関で通勤する。
606	1094	現在は第2、第4水曜日の「ノーマイカー通勤デー」は電車通勤し、その他の日は自動車通勤しています。が、公共交通機関の利用を少しずつ増やしていけるよう考えたいと思っています。
607	1094	ひょっとして、値の入り方が間違っていたかもしれません。
608	1094	自宅・勤務先・行動範囲の場所に、自分の行動目的に合った、電車、バスのアクセス時間のネットがあること
609	1094	マイカー通勤の全てを、公共交通機関に切り替えることは不可能であるが、帰宅時間に拘束されない日を電車通勤とすること。

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
599	1094	ノーマイカーデーには、なるべく自転車で通勤するようにはしているが、子供の塾、買い物等で、帰りの時間が拘束されたりするときは難しい。また、JRの最寄の駅は琴芝であるし、バス停は、中尾、中村、沼のどこへ出るにも同じ時間がかかり遠い。なるべく協力はしたいが、主婦には難しいのでは？
600	1094	小さなことからコツコツと
601	1094	天気の良い日の自転車で通勤を行えば、CO2排出量の減少に貢献できる。
602	1094	公共交通機関の利用が望ましいが、往路、復路とも時間的に厳しい面がある。
603	1094	利便性を考えると通勤方法を全面的に電車等に切り換えるのは難しいが、ノーマイカーデーの日ではできるだけ公共交通機関を利用するようにする。
604	1094	可能な限り、公共交通機関を利用する。
605	1094	今後も継続したい
606	1094	気候の良い日は自転車の利用が望ましいと思いました。
607	1094	公共交通機関の優先利用やクルマの乗り合いを考える。
608	1094	1回目と2回目グラフ化されており、一目で違いがわかるため、次回(3回目)や今後、減らせるように努めようという気持ちになりました。
609	1094	最寄駅まで自転車、駅から職場まで電車が良いとは思う。
610	1094	自動車を控え自転車の利用回数を増やす
611	1094	今回の取り組みで公共交通機関での通勤も可能であることがわかったが、子供の送り迎え等でマイカー以外での通勤ができなかった。マイカー以外での通勤には、家族・親の協力が少なからず必要である。今後、マイカー以外での通勤が可能な状況になれば、今回の取り組みを参考にし、積極的に公共交通機関を利用した
612	1094	残業のため、交通機関を利用することができなかったのが、残念である。
613	1094	徒歩または自転車通勤
614	1094	取り組みの趣旨には賛同できるが、物理的に無理な部分もあるため、『小さなことからコツコツと』という感じで
615	1094	電動アシスト付き自転車を購入して、天気の良い日には自転車で通勤をしたいと考えます。
616	1094	勤務先が同じ近所の人と、交互に自家用車を出し合って通勤する。
617	1094	クルマを使用しないほうが地球環境にとって良いのはわかっていても、現実的には自宅の交通の便の悪さなどから使用せざるを得ない環境にあるため、やむを得ないと思う。
618	1094	自転車
619	1094	CO2削減のため、自家用車通勤を減らしたいと考えるが、バス停まで遠い(通勤時間が3倍になる、夜最終が早い)、道路状況が悪くなく自転車、徒歩通勤は危険(雨天時にトラックから泥はねをかけられた事がある)の状況から何か効率の良い方法はないかと模索している。妻と同方向の事業所へ異動させてもらうのも良いが一週間に一、二度位はバスでの通勤にしてみても良いかもしれないと思ってきました。ただし、家族が入院している病院に立ち寄りないときだけです。
620	1094	通勤するための交通機関がないためマイカー通勤はやむを得ないと思います。交通網の整備をお願いしたいと思います。
621	1094	インフラ整備
622	1094	可能なときは、公共交通機関を利用したり、乗り合わせて通勤したりする。
623	1094	エコ定期を毎月購入しているため、もう少し、バス通勤の回数を増やしたい
624	1094	自家用車で通勤する日とそれ以外の方法で通勤する日を隔日で実行する。(例外を除き、自家用車通勤を連続させない。)
625	1094	勤務地から離れた場所に居住しているため、電車・バスでの通勤がほぼ不可能です。日々、神経を使いながらの運転ですが、仕方のないこととあきらめています。
626	1094	もちろん、自分のCO2排出量をみると考えさせられることが多々ありますが、現状では打開策が何もありません
627	1094	自転車通勤
628	1094	できれば、交通機関を利用したいが、早朝のため自家用車の利用にたよるほかない。改善の方法は相乗りしかないように思われる。
629	1094	通勤に関しては、マイカーを使用しない。バス・電車・徒歩・自転車を使用。またどうしてもマイカーが必要な場合は、相乗りかP&Rにする。週休日もできるだけマイカーを使わず、買物も近所です。
630	1095	通勤に全て自家用車を使うのではなく、週何回かは公共機関(バス)を使うようにすればよいのかなと思って
631	1095	自家用車とバスの併用でいけば可能かもしれません。家からバス停まで3キロくらいあるのでバス停まで車を利用します。
632	1095	公共交通を使うのが望ましいがどうしても家庭の事情上自動車の方が便利がよい
633	1095	通勤に公共交通を利用することがCO2排出量を削減することにつながることは理解できた。が、朝夕の保育園への送迎やバスの便数などの問題から否でも自動車を利用しなければならず、容易には通勤交通を変
634	1095	自転車通勤またはバス通勤
635	1095	田舎では、自家用車でないとくらしにくい 公共交通が整備されることは、何年たってもないだろう
636	1095	自動車通勤でCO2排出量を確認できたことは、今後のCO2排出量を考えるうえで参考になった。 通勤手段として、公共交通を利用することは、通勤時間等を考えると無理です。 自己評価5.0点は、以前となにも変わらない事でマイナス5.0点です。
637	1095	1日マイカー通勤を自転車に切り替えたが、帰宅時が薄暗くなって国道2号線を帰るため、交通事故の危険性がありこれから先の季節はむりがあると感じた。また、バスの便も就業時間から1時間以上ないので、時間
638	1095	自動車以外の便利な交通手段がないため、現状を改善することは難しい。

4.参加者コメント集

(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所 コード	自己評価コメント
639	1095	通勤については、公共交通機関が利用しやすい位置に自宅・職場・大型商業施設があり、公共交通機関を利用した方が時間・交通費にメリットがある場合、公共交通機関を利用した通勤が望ましいと思う。 また、通勤距離が短ければ自転車の利用も良いと思う。 この度、ノーマイカーの取り組みプランを考察した際に感じたのは、公共交通機関の中でも、電車は時間的にも費用的にも ただ、公共交通機関が網羅されておらず、仮に公共交通機関が整備されていても接続が悪い等の地方ではデメリットを感じる。 私が住んでいる地域も自家用車を利用することを前提としたような街づくりがされており、ノーマイカーについては今更といった感がある。
640	1095	通勤では公共交通機関を利用できなかった。 短距離の移動には自転車を使うなど、できることから取り組んでいきたい。
641	1095	田舎ですと、公共交通機関が十分ではないので使う事が出来ません。 感想は前回に述べたとと思います。
642	1095	これからは、少しずつでも公共交通を利用していきたいとします。特に、春や秋は自転車で通勤するのもいいかもしれません。
643	1095	公共交通機関(バス)を使うことが望ましいが、一番大きな問題として、「終電がとても早い」ということがあり、その問題を無視して公共交通機関を使用すると、仕事自体に影響を及ぼすため、この問題が解決されない限り、自家用車通勤をせざるをえない。
644	1095	バスなどを利用出来たらよいと思う
645	1095	公共の交通機関の使用が望ましいと思うが、つい自家用車に頼ってしまう。今後は、他の交通機関などを積極的に使用したいと思う。 ただ、住居区域が山間部等である場合、交通機関が限られ、通勤時間帯及びその他の場合でも待ち時間長いといった問題が考えられる。例えば1時間に1本来るか来ないといった状況であったり、出勤時間の1時間も1時間半も前に出勤せざるをえない状況であったりとか。
646	1095	公共の交通機関をもっと利用する。
647	1095	同じ地域から通勤する者の車に同乗させてもらう
648	1095	限られた交通機関の中では相乗りが一番の手段と考える。
649	1095	努力していきたい。
650	1095	環境に配慮できなくて残念です。
651	1095	これからも、健康や環境、地域交通のためにも実践します。
652	1095	勤務場所の公共交通機関の利用の不便さ等により、取り組みをしようと考えはしたが、やはり難しかった。公共交通機関がもっと利用しやすい状態であれば、今後自家用車等の利用を控えることが出来ると思う。
653	1095	職場に近い職員を優先的に配置し、地理的に車通勤しかできないというような状況をなくす。
654	1095	自家用車を買い換える際には、ハイブリッドを検討します。
655	1095	体力的な問題もあり、思うように取り組めない状況である。
656	1095	公共交通機関がある所への移動の際は、できるだけ自家用車で行くことを控えるのが望ましいと思われる。
657	1095	これからは、早く日が暮れますので、帰りに歩くのは、少し怖い気がします。 歩いてみて(空気があまり良くない(CO2 排出により))と感じました。 地球に優しい車が、早く普及しますように と思います。
658	1095	田舎に住んでいるため、職場までの適当なバスや電車の便がないのが現状。車以外の通勤方法は現実的には無理です。
659	1095	交通の便がある地域でなら自家用車以外でも可能と思うが、現時点では子供の送り迎えもあり、難しいで

4.参加者コメント集

(工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所コード	交通行動計画
1	1071	5km範囲の移動は、極力自転車を使用したい
2	1071	私の場合は、前述したとおりであり、あまり役立たなかった。
3	1071	近距離の外出にはできれば自転車などを使用するよう意識したい。
4	1071	外出の際にもっとも適した方法で移動することが望ましい。
5	1071	通勤で自転車を使ってみようと思う。
6	1071	家族での娯楽に限るようにしていく。
7	1071	公共交通機関をできるだけ利用する。
8	1071	地方では車が必要です
9	1071	必要最小限
10	1072	できるだけクルマは避け、自転車の積極的活用を心がける。
11	1072	まとめ買いをしない。
12	1072	通勤方法を変更することは難しい。それ以外で(比較的近距離移動)別の移動手段、例えば自転車、徒歩等考えていきたい。
13	1072	バスの便がよくなれば利用するかもしれません。
14	1072	片道20分ぐらいなら自転車で移動する。
15	1072	特にはないが、通勤での使用を控えることを引き続き行うこと。
16	1072	極力自家用車で移動しないようにする。
17	1072	ハイブリッド車への買い換え。この地域は坂が多いので、平地へ転勤したときに自転車の活用。
18	1072	都心部へのアクセスは可能な限り、自転車やバスを利用する。中長距離の移動では最寄りの駅等までのアクセスは自転車利用を心がける。
19	1072	自家用車は持っていません。
20	1072	可能な限りマイカーの利用方法を考える
21	1072	私はバスで通勤していますが、官舎の奥様方はそれを聞いて驚いたそうです。地方ではどこへ行くにも車が当然で、他の交通手段を利用する事すら眼中にない人が多いので、その土地土地に適した交通手段の利用方法を広める事ができたらと思います。
22	1072	買い物に車をできるだけ使用しないようにしたい。
23	1072	自家用車の使用頻度を減らす為には、公共交通機関の整備が不可欠だと思う。現在のJRや民間バス会社のように営業利益のみ追求して、赤字路線をどんどん廃止していったのでは、反対に自家用車での移動に頼らざるを得なくなる一方である。ちょっと田舎にいくと一時間、二時間待ちのダイヤばかりで、とてもそんな時間を待ってまでバスやJRに乗る気にはなれない。公共交通機関の充実を今後は要求して行きたい。
24	1072	交通網が発達していない田舎では自動車、バイクは必要な交通手段だと思う。
25	1072	できれば、環境に優しい車に乗り換えたい。
26	1072	自転車
27	1072	現在、妻と私とが用途により自家用車を3台使用しているが、これを2台とする。
28	1072	目的のない走行は控える。
29	1072	・乗車効率をあげる。 ・近距離の車の利用は控える。 ・可能であれば自動車と公共交通の併用して利用する。
30	1072	自転車で行ける所は、できる限り車を使わない。
31	1072	車よりバスを利用する
32	1072	今のままで十分貢献している。免許証を持たないので、自分で運転する事はないし、公共交通機関しか手段がない。しかも、通勤先がバス等発達していないので、タクシー利用がほとんど。今回の取り組みで意識する必要も無く、選択の無い中での公共交通機関の利用者であるので、特に意識する必要もない。
33	1073	できるだけ公共交通機関を利用する。
34	1073	できるだけ、同一方向に向かう方と相乗りを行っていこうと思います。
35	1073	公共交通機関が発達している地区では公共交通機関を使う。
36	1073	出来るだけ車利用は避けたいが、高齢者を家族に持っていると思わず止むを得ない利用となってくる。
37	1073	今後は自転車をりようし、いけるところはいくようにする。コストとも考え できるだけ公共機関もりようするようにする。
38	1073	自動車よりもバイク利用
39	1073	最近車通勤をバイク通勤に切替えている。
40	1073	休日しか使わないのに、自家用車を持っていていいんでしょうか。
41	1074	自分自身のことなら、車の利用方法を考えられるが、高齢の親から頼まれれば、タクシーを任せるとはいえず、自家用車の利用になる。環境負担の上からはよろしくないと感じているが、致し方ないと思う。
42	1074	出来るだけ公共交通機関を使用する。 近距離は自転車を使用する。
43	1074	二酸化炭素の排出量の少ないハイブリッドカーの購入を検討します。

4.参加者コメント集

(工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所コード	交通行動計画
44	1074	できるだけ公共機関を使いたいが、幼児がいると難しい。 交通弱者に負担を強いるような政策は反対だ。 まず、アイドリングストップなど、事業者を監督する立場から行動すべきだ。 幹部の送迎に使う公用車は、玄関で延々とアイドリングをしてエアコンをかけ、幹部の皆さんを待っている。 まずはこれから止めたらいいか。 幹部が姿勢を見せなければ、説得力に欠ける。多少暑くても寒くても我慢するくらいのことができなければ、Co2の削減は無理だ。 それぞれの意識改革が重要だ。
45	1074	街中での渋滞は、絶対的に車の数が多い。奇数日は奇数番号の車しか入れないようにするとか、1人しか乗っていない車は入れないとか、強く規制をかけるようにしてもらいたい。 休日には自家用車を使用しない。が、どこかに行く場合は、やはり自家用車を使用する。所要時間が変わらなければ公共交通機関を利用する。 観光地へは、車の乗入れを禁止し、遠くても良いから交通の便の良い場所の駐車場(数カ所)から、シャトルバス等で、客を移送する。渋滞緩和にもなる。 バスも小型化し、料金を安くしたら利用者はもっと増えると思う。
46	1074	晴れた日は徒歩または自転車
47	1074	自家用車以外でも行ける所は、なるべく公共交通機関を利用するようにする。
48	1074	自転車の利用率を上げる努力をする。
49	1074	公共交通機関を利用する事が著しく不便だとわかった。
50	1075	徒歩でも可能な場合には、健康のためにも車利用を控える。 公共交通が有る場合には、できるだけ利用の機会を増やす。
51	1075	買い物により何物がある場合とそうでない場合などを考えながら、環境主体のための自動車の利用を心がけた。
52	1075	山陰では、天候不順あるいは交通機関が不便などによりマイカーでの通勤が主流となっており、それを一気に公共交通機関に転換することは不可能に近い。したがって、マイカーの乗り合わせ、エコ運転、出張時の公共交通機関利用など、できるものは取り組んでいきたい。
53	1075	車の使用方法を考えてみたいと思う。
54	1075	休日の買い物について、のんびりとバスでの買い物をすることを心がける。
55	1075	自家用車の利用について再考する。
56	1075	車の使用をできるだけ抑え、自転車を活用、公共交通機関の利用を進めたい。
57	1075	自転車
58	1075	近所には徒歩で移動する。出来る限り電車、バスを使用する。
59	1075	極力外出を避けるしかないのかと思う。
60	1075	相乗りを心がける。
61	1075	自家用車の利用は欠かせないが、合理的な利用を考え、利用回数を少しでも減らすように心がけたい。
62	1075	休日、自動車を使わなくても過ごせるように変えてゆきたい。
63	1075	公共交通の発達していない地方都市においては自家用車からの乗り換えは無理だと思います。自家用車の利用を控えるためには公共交通網を発達させるのが先決だと思います。
64	1075	定期的なノーマイカーデーを設定する。
65	1075	休日は車一台で行動
66	1076	アイドリングストップを実践している。信号で長く止まる場合はエンジンをストップさせている。 近場の買い物は自転車を利用 車を利用する場合は不必要な迂回等をしないで、効率的な利用を心がけたい。
67	1076	できる限り、徒歩及び自転車を移動手段として活用したい。
68	1076	燃費の良い車を利用する。 まとめ買い等を行う。
69	1076	健康のためにもなるべく徒歩で移動するよう心がける。
70	1076	近場は出来るだけ徒歩か自転車を使用
71	1076	地域的なことを考えると、今まで自動車利用していた短距離の移動を、自転車もしくは徒歩に変換していくことは可能だと思う。その辺は意識して自分の体を動かしていくつもりで実行していきたい。
72	1076	できる限りマイカーを使わない通勤
73	1076	近距離の移動には、なるべく自転車を使用する。 長距離の移動には、公共交通機関を利用するか、自家用車を利用する時には、なるべく相乗りする。
74	1077	通勤にはできるだけ、自転車利用をしたい。
75	1077	自転車利用
76	1077	通勤にできるだけマイカーを利用しない。
77	1077	今後、車を買換える時には軽自動車に変えようとかんがえております。
78	1077	アイドリングストップをする。出かける前に効率の良いルートを考えてから出発する。
79	1077	公共交通機関が利用できるときは極力利用するようにする
80	1077	公共交通機関は現在切り捨てられている。民間会社だから赤字路線を削減することは仕方ないと思うが、行動できなくなる。
81	1077	自動車利用の際、こまめにエンジンを切ったりし、また近距離移動の際には他の交通モードに転換できれば良いのではないかと。

4.参加者コメント集

(エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 コード	交通行動計画
82	1077	利用できる所は、公共機関を利用する。
83	1077	近いところは可能な限りクルマを使用しないように努めていきたい。
84	1077	目的地が短距離、手段が比較的整っている場合は極力車以外の方法で移動するようにしたい。
85	1077	小型自動車への買い換え。重量車から軽量車への乗り換え。
86	1077	現在の交通体系では、「クルマ」しかないので、よりよいというのは考えることができない。
87	1077	市街地へ出かけるときはバスを利用する。
88	1077	今までは、近場(スーパーなど)の移動にもバスや自動車を使っていたが近場(スーパーなど)に行くときは自転車や徒歩で行くことも考える。
89	1077	マイカーと公共交通の利用を考えたものを、少しでも実行に移してみたい。
90	1077	地方の公共交通機関は、需要とコストのアンバランスにより、減少の一途たどっています。人口の都市集中は行政(国)の怠慢によるもので、それが解消されない限り、自家用車の利用は減少しないと思われま す。もちろん自家用車にも良い点(家族旅行や緊急時の対応等)があるので、保有や使用を悪と考えてはい ませんが、やはり、大量輸送の出来る公共交通機関が発達することを望んでいます。
91	1077	カーシェアリングが料金が安く取つきやすく参加できるなら田舎でも可能な。
92	1077	なるだけバス等の公共交通機関を利用する。ただし、公共交通の整備が脆弱な地域では、なかなか実践 するのは困難かも。
93	1077	松江では公共交通を利用して、実行することは困難である
94	1077	公共交通機関を利用するよう努力する
95	1077	実家に帰る時や、必要に応じて使って行きたいです。
96	1077	自転車の利用。
97	1078	出来るだけCO2の排出を抑えたい。
98	1078	遠距離以外は極力、自転車を使用
99	1078	近場の用事であれば、 ・歩く ・自転車を利用する ・公共交通機関を使う とう、実践可能なものから取り組んでいきたいと思ひます。
100	1078	使用する時間や距離を考えてから自動車を使用するように考えていきたい。
101	1078	自転車、バス等で移動可能なところは、車を使わない。市内中心部のマンション等においてはカーシェアリン グの検討も必要か。
102	1078	通勤時マイカーの利用からバスへの転換が目標
103	1078	できるだけ公共交通機関(特にバス)を利用する。
104	1078	あいのりや、出来るだけ徒歩等の移動による自家用車の有効活用。
105	1078	自転車、バスの利用。
106	1078	通勤は自転車で行う。 業務での外出も可能なときは、公共交通を利用する。 休日も、じてんしゃやバスを使うなどする
107	1078	徒歩あるいは自転車でいける所、いける条件(時間、手段等)が整う場合等車を使わないようにしたいと思 ひます。
108	1078	自転車の継続的な利用
109	1078	近場は自転車で行く。又は歩く。
110	1078	バス・電車の利用をもっと考えたい。
111	1078	晴れた日、一人の時は極力自転車で移動します。 雨の日、複数での移動の時はマイカー。
112	1078	休日のマイカー利用を出来るだけ抑える。 通勤利用については、相乗り等も視野に入れる。
113	1078	自転車で行動できる範囲は自転車利用したいと思う。
114	1078	公共交通機関の利用をもっと考えてみたい。
115	1078	自転車を使う
116	1078	自動車から自転車に変更していきます。
117	1078	適材適所
118	1078	公共交通の利用。
119	1078	今回の取り組みで、実践したことが限度です。
120	1078	現状維持
121	1078	大規模な市街地には東京都のようにロードプライシング制度を導入すべし。
122	1078	近場の移動は、自転車や徒歩で行う。 公共交通機関を出来るだけ使う。
123	1078	よく歩く
124	1078	なるべく長時間のアイドリングを控えるようにしたいと考える。
125	1079	通勤は、なるべく車・バイクを使わない。
126	1079	できるだけ自動車の使用をやめて、自転車の使用範囲を拡大する。

4.参加者コメント集

(エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 コード	交通行動計画
127	1079	可能な限り、自転車・公共交通を利用する事をこれまで心がけてきたので、続けていこうと思います。
128	1079	車は一家に一台とし、複数は所有しない。社用・官用車は出来るだけ排気量の少ないものにする、出来ればバイク・自転車の利用を国が促進する。
129	1079	現状でも車の使用は週1日とかなり絞っています。これ以上絞ると買い物ができせんので、この状態をなるべく維持するように努力します。
130	1079	この調子ですすめていきたい。
131	1079	なるべくバス電車を使用する。
132	1080	近距離(2km以内)は自転車で移動を行う。
133	1080	今後も外出等の機会に買い物等をし、極力自動車の使用回数を減らす。
134	1080	自家用車は、絶対必要な時以外、使用しない。代替手段を利用する。
135	1080	近場はなるべく自転車を利用する。
136	1080	現在はなるべく車に依存していきなり、たまには自転車等を使える範囲でめいはいは考えていきたいと思いま
137	1081	なるべく自転車、公共交通機関を使用したいと考えます。
138	1081	車の相乗り及び公共交通機関の充実した整備により、マイカー使用の頻度は減少してくると思う。
139	1081	公共交通機関の利用
140	1081	可能場合は、徒歩又は公共交通を利用する。
141	1081	不必要なクルマでの外出を控えたい
142	1081	近くを移動するときには、車利用を極力控え、徒歩、自転車利用をしていきたい。
143	1081	近距離は自動車を使用しない
144	1081	現状でも不必要は自家用車利用は少ないとは思いますが、今後とも自動車利用の必要性を考慮しながら移動手段を選択していきたい。
145	1081	一人で異動する際、自転車で30分以内で行けるような場所なら、なるべく自転車で移動する。
146	1081	車の維持管理工からも使用しない訳にもいかないが、月定行つうの範囲内を實踐しており今後も続けるつもりである
147	1081	帰省に極力鉄道を利用する。
148	1081	近所のコンビニぐらいなら歩こうと思う
149	1081	公共交通が整備された場所であれば実践に努力します。
150	1081	移動回数を減らす
151	1081	出来るだけ、自転車を使用する。
152	1081	行く店を決め、ルートを決めて出発する。
153	1081	できるだけ自転車を利用していきたい
154	1081	近いところは歩く。遠いところは公共機関を使う。
155	1081	近所のスーパーで少量を購入する場合は自転車で移動しようと思う。
156	1081	車身は軽中ですが、週木に自宅に帰る際、何物が多いに車にしています。もっと工夫してバスにしたいと思
157	1081	本当に必要な時に利用する。
158	1081	必要なときに直ちに提供できる移動手段がクルマであり、この特性を失うような使い方をしないこと。
159	1082	外出の際は徒歩を基本とし、やむをえない場合は自転車あるいは公共交通機関によることを常に念頭においておきたい。
160	1082	徒歩で5分以内の距離の場所までは必ず徒歩で行くという決めの事をしないで車からのソフトは難しい
161	1082	日頃から環境問題を考えて行動したら良いと思う。
162	1082	自転車等も積極的に使用する
163	1082	日常生活行動の中で、徒歩圏内(500m)においては、できる限りクルマを使用しない。
164	1082	燃費の良い走行を心がける。
165	1082	必要最小限とする。
166	1082	多数でレンタル(カーシェアリング)する
167	1082	週1回は車を使わずに通勤する。
168	1082	クルマを持たない。同乗での使用も控える。やむを得ない場合は、タクシー・レンタカーを利用する。
169	1082	自動車の利用から公共交通機関への変換が容易に出来る場合は、今後ともその利用を考えて行きたい。
170	1083	生活時間にゆとりができれば、車の使用を一部自転車に切り換えてみたい。
171	1083	一人の移動はできるだけ公共交通機関を利用する
172	1083	環境にやさしい”車”である自転車を積極的に利用する。
173	1083	使用は必要最小限に留める
174	1083	できるだけ車に乗らない
175	1083	現状でも、クルマの利用率が低いので、今後もこのペースで行動したい。
176	1083	今後も、車の利用は最小限に抑えていきたいと思います。
177	1083	・近いところはなるべく自転車で移動する。
178	1083	通勤に、時々自転車を利用する。
179	1083	できるだけ乗り合わせる。

4.参加者コメント集

(工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 コード	交通行動計画
180	1083	近距離は車をつかわないこと。 できるだけ車を利用する用事は一度ですますこと。
181	1083	次は燃費のよい車にする。
182	1083	自家用車で移動する方が楽でも、公共交通機関や自転車などを利用することが可能な場合は、できるだけ自家用車の利用を控えるよう留意したい。
183	1083	できるだけ公共交通機関を使うか、歩く。
184	1083	必要に応じて必要なときに自動車を利用する。
185	1083	子供の成長に合わせ、自転車での移動を増やしていきたい。
186	1083	自転車通勤
187	1083	都心に車を入れないというまちづくりが大事でしょう。 公共交通のあり方を、考えないと今の車一台に一人乗ってることの解決は難しいと考えます。 そして歩いて楽しい都市であることも。
188	1083	カーシェアリングを広めていただければ利用したい。
189	1083	家から外出するには、自動車しか方法の無いところに住んでいる(自転車だと駅まで1時間)ので、最低でも駅までは車の使用が欠かせない。 今は駅近くに駐車場を定期的に確保しているが、この先、仕事をやめたら駐車場が確保出来ないのので、結局100%車に頼ることになりそうです。
190	1083	高齢者同伴や荷物のある時にはクルマを使用するが、その他の時には、なるべく公共交通機関や自転車利用を心がける。
191	1083	近くへ行くときには、自転車、徒歩により移動する。 他に外出する人と共同でクルマを使用する。
192	1083	近隣への移動については、自転車等を中心に使用していきたい。
193	1083	公共交通機関をできるだけ利用する。
194	1083	どうしたらクルマを使わない生活を送れるかという発想に転換しない限り、あらゆる問題は解決には向かわない。クルマを利用するという観点からは、有効な対策は打てないことは自明の理である。
195	1083	できるだけ通勤にはバスを利用するようにする
196	1083	経済的な面でも考えつつ、目的に応じて公共交通機関(徒歩・自転車含む)が利用できる場合は、車使用を控える
197	1083	できる限り自家用車を使わない。
198	1083	できるだけ、車でなく、バイク利用を心がける。
199	1083	車をつかわないですむ場合は、車を使わない。
200	1083	徒歩圏内の移動は、車をなるべく使わない
201	1083	項目についても前向きに検討します。
202	1083	近場へは、極力自動車を利用しないように努めたい。
203	1083	なるべく公共交通機関を利用する。
204	1083	公共交通機関や自転車、徒歩による行動の増大
205	1083	利用回数の削減を心がける。
206	1083	自己評価の欄で記入したことを実践したい。
207	1083	地方では大都市と比較して地下鉄等の公共交通機関が発達していないため、自動車の乗り方(アイドリングストップ等)や購入車種の選定(ハイブリッドカー等)などが課題と思います。
208	1083	近所に行くのには車を使わない。
209	1083	近距離の自家用自動車の使用は控える。
210	1083	不要不急の車使用を控える。
211	1083	できるだけ自家用車を使わず、公共交通機関を使う
212	1083	自転車・エコカーの利用
213	1083	通勤等に係る費用と時間、目的で車と公共交通機関利用の相互分担利用と言うことになると思う。 住まいが駅から近ければ、たぶん車利用は考えないと思うが、自宅を売って引っ越すことは非現実的。 健康のためにも徒歩が有線と考えている。
214	1083	公共交通機関がない場合を除き自家用車の利用をできるだけ控える。
215	1083	行き先によっては、公共交通機関を利用することを考慮する。
216	1083	自分の居住地域内では、できるだけ徒歩または自転車を利用したい。
217	1083	今後とも、パークアンドバスライドを利用する。
218	1083	できるだけ公共交通機関を利用する。
219	1083	・公共交通の利用 ・自動車から徒歩、自転車へのシフト
220	1083	なんとなく車ではなく、目的等を勘案して、本当に車が必要な場合のみ利用したい。
221	1083	徒歩又は自転車で行けるところは、車の使用を差し控える。
222	1083	・近距離使用の自粛 ・エコドライブ
223	1083	自転車をできるだけ利用する
224	1083	自転車などが足りる場合は、自転車を利用する。
225	1083	パークアンドライドの活用

4.参加者コメント集

(工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 コード	交通行動計画
226	1083	業務中の自動車の使用にあたっては留意していきたい。
227	1083	環境のためには“乗らないこと”が最もよいことだが、現実問題としてはいかに効率よく乗るかを考えていくことが必要だと思う。
228	1083	自転車を活用する
229	1083	自動車を使用するとき、目的が何かをよく考えたり、計画をたててから出発するように心がけたい。
230	1083	なるべく公共交通機関を使うよう心がけるようにするが、駅、バス停等の場所が、遠いため通勤以外で外出する場合は必ず車を使用すると思われる。
231	1083	たまにしか車に乗らないので、そんなこと気にしないで乗りたい。
232	1083	公共交通機関の利用など、できるだけ車に頼らない移動方法を考えて実践する。
233	1083	従来通り、必要最小限に車を使用する。
234	1083	時間の余裕がある時や近隣に出かける時は、自転車の利用か徒歩を考える。
235	1083	個人で出来ることはほとんどない。
236	1083	休日のやむを得ない時(荷物が重い、公共交通機関が極めて不便。業務上不可欠。時間の制約がある。)に限って使用する。
237	1083	近くには自転車で行くようにしたい。
238	1083	なるべく公共交通機関を利用する。
239	1084	自転車の利用をさらに増やしていく。
240	1084	できるだけ公共交通を利用する。 近くを移動するときは、自転車を利用する。
241	1084	自動車の利用については、公共交通機関では不便であり、6キロ以上で自転車で移動するには30分以上かかる、あるいは雨天に限定するなど、使い方を限定したい
242	1084	今は家庭の事情により、車中心の生活を行なっているが、機会があれば環境にやさしい行動プランを実践していきたい。
243	1084	事前に公共交通機関の運行状況を調べ、車以外の利用を考える必要がある。
244	1084	駅方面へは自転車を使う。
245	1084	ちょっとした移動については、車を使用せず、歩き又は自転車を利用する。
246	1084	友人と乗り合わせたりして車を利用する。
247	1084	空気を汚さない交通手段を極力利用する。
248	1084	なるべく歩くこと！
249	1084	・街中は路面電車をなるべく使う ・カーシェアリングも考える
250	1084	職場近くへ引越し公共交通の便利な場所に住むため、積極的にバス等の利用を心がける
251	1084	外出する際、近くであれば、徒歩か自転車を利用する。
252	1084	乗り合い等、車の利用率の向上を図りたい。
253	1084	環境保全が目的ではあったが、健康管理の面でもできる限り、徒歩、自転車利用が望ましいと思うので、できるところはそうしたい。
254	1084	不要不急な場合以外のクルマ利用の自粛
255	1084	パーク&ライド、自家用車への乗り合わせなど
256	1084	晴れの国のおかげで、自転車利用を心がけ、止むを得ない自動車利用時は、相乗りをすることにした
257	1084	近い距離や市内中心部に出かけるときはなるべく車を利用しないようにする。
258	1084	公共交通機関の充実が必要。
259	1084	家族で行く5キロ以上の買い物等については、クルマを利用する。
260	1084	カーシェアリングへの取り組み
261	1084	公共交通機関を利用する
262	1084	公共交通機関を出来るだけ利用したい。
263	1084	通勤や日常の買い物はできる限り自転車を活用し、市街地中心部へ出かける際もできるかぎり公共交通機関を利用したいと考えます。
264	1084	2台で二家族の移動には、なるべく1台に同乗する。
265	1084	公共交通機関の利用
266	1084	可能ならば自転車を利用する。
267	1084	近距離の移動はできるだけ自転車、徒歩による移動を心がける。
268	1084	元々、自家用車の利用は休日のみ。 遠距離の移動の場合、公共交通機関の利用をまず念頭に置いている。 通常の買い物での車利用について、再考したいと思う。
269	1084	・近所への買い物は自転車を使う。 ・無用な外出は控える。
270	1084	必要最小限の使用

4.参加者コメント集

(エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 コード	交通行動計画
271	1084	今のクルマの流行はミニバンであるが、燃費も悪く、しかも定員いっぱい移動することはまずないと思う それなのに、このようなクルマが売れることに疑問を感じる 確かに車内の空間は広く、便利ではあるが、もう一度ユーザーが考え直す必要があると思う 日本には軽四という、外国にはない規格のクルマがあるので、メーカー側はこちらの性能や使いやすさをさらに追求して欲しいと思う
272	1084	近場は自転車にする。
273	1084	なるべく車よりバイクを使いたい。
274	1084	移動距離や時間はどうしようもないので、アイドリングをやめる等の努力をしていきたい。
275	1084	極力、公共交通機関を利用し、また、近場なら自転車、徒歩等の別の手段を考えていきたい。
276	1084	近場は、徒歩・自転車等を利用していいかな??
277	1084	・極力、同乗を心掛ける。 ・1度に複数の目的地を経由することを心掛ける。
278	1084	近くは車で行かず自転車で行動する。
279	1084	公共交通機関が利用できるような場所への移動の場合は、公共交通機関利用を検討し、その利用が困難な場合くるまを利用する。
280	1084	一人で行動する場合、特に通勤については、出来るだけ公共交通機関を利用するよう努力したい。
281	1084	最も効果が高いと思われる、通勤時の交通手段を公共交通機関に変更するなど、既に取り組みを行っており、今後ともこの行動を維持していきたい。
282	1084	できるだけ公共交通機関を利用する。
283	1084	自転車をもっと利用する。そのためにまず自転車を購入する。
284	1084	できる限り、徒歩、自転車又は公共交通機関を利用。
285	1084	・自転車や徒歩による利用の割合の増加に努める。 ・家族全体で効率的な自動車利用に努める。 ・公共交通機関を利用した家族旅行を行う。
286	1084	可能な限り複数乗車で実働台数を削減
287	1084	近距離の移動はなるべく自転車等を使うようにする。
288	1084	買い物や極力自転車で行けるところで済ませる
289	1084	使わなくてもいい時は使わない。 交差点停車時のアイドリングストップの実施
290	1084	環境のため、健康増進のために、可能な限り自動車の使用を控え、自転車や徒歩による移動を増やす。
291	1084	自転車を使う
292	1084	複数人での移動や、大きな荷物を運ぶなどの必要があるときのみ使用しよう心がける。
293	1084	自転車で行けるところはできるだけ自転車を利用してクルマの使用を減らしたい
294	1084	公共交通機関を利用する。
295	1084	近所へ行くときには自転車・徒歩を優先し、自動車を使用しない。
296	1084	車の共同使用(この時期にちょうど車検だった。新車の購入を勧められたが、車の維持管理費の高さを考えさせられました。)車が必要と感じるときも多いのですが、…
297	1085	公共交通機関がないところで、8KM以上で荷物が多いときは自動車。 2から8KMは、自転車。 2KM未満は徒歩。
298	1085	近所への買い物等にも車を使用しがちであるが、天候にもよるが、近距離については、出来る限り、自転車を利用することとしたい。
299	1085	職場・家庭においても、1台の車に同乗して目的を達成することに努める。
300	1085	自宅から最寄の公共交通機関(バス停)までの買物等については極力、自動車利用を控える。
301	1085	近回りは、できるだけ自転車を使っていきたい
302	1085	マイカー通勤を荷物の多いときだけにする。
303	1085	通勤は極力車を利用しない。
304	1085	行動プランに沿ってやっていきたい。
305	1085	できるだけ、自転車に代替する
306	1085	自転車を利用する。
307	1085	エコカーを買う。 できるだけ、自転車、徒歩にする。
308	1085	交通遮断を使えるときは使って行動する
309	1085	自動車の利用を控える。
310	1085	車と公共交通機関を相互に利用する
311	1085	近くの移動場所等については自転車、市街地等へはバス、電車の移動を考えたい。
312	1085	自分で目的地に行く場合は公共交通機関を利用する。
313	1085	通勤を自転車にする
314	1085	ハイブリッド車などの使用を考えていかなければいけないと思う。
315	1085	短い距離はできるだけ自転車か徒歩で対応する。
316	1085	外出には出来るだけ自動車ではなく電車を利用する。自転車で移動可能な距離なら自動車を使わない。

4.参加者コメント集

(工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 コード	交通行動計画
317	1085	家族と移動する場合は、車を利用し、1人で移動する場合は自転車を使用したい。
318	1085	少なくとも2km以内の移動には絶対車の使用は避けるよう心がける。
319	1085	クルマでなく自転車も考えたい
320	1085	できるだけ、近くは自転車、原付の利用を心がけてです。
321	1085	通勤時、出来るだけ乗り合わせて行く。
322	1085	パークアンドライドの推進
323	1085	マイカーを持たない生活を目指し、日ごろから車なしの行動をする。
324	1085	近所には車を利用せず、自転車を利用したり徒歩を極力するように努める。
325	1085	車なくしては考えられない社会である以上、なんらかの強制的処置も必要かと考える。
326	1085	歩くことを楽しみたい
327	1085	多様な生活環境をファクターとして取り入れる。
328	1085	車利用では、出来るだけアイドリングストップを心がけたい。
329	1085	家族で乗り合わせる事
330	1085	妻に自転車の利用を促す。
331	1085	近隣への外出は車に使用を控える。
332	1085	極力自転車を使用する。
333	1085	できるだけ、通勤等は、自家用車以外を考慮してみたい。
334	1085	できるだけ公共交通機関をりようする。自転車などの利用も積極的に進める。
335	1085	普段は自転車通勤し、休日は自家用車を利用するにしても、家族で利用するなど工夫して行きたい
336	1086	公共交通機関の活用
337	1086	できるだけ軽自動車を利用するようにしたい。
338	1086	ノーマイカーデーを自主的に設定して出来る限り車の利用を抑えるよう努めたい。
339	1086	天候を見ながら自転車利用の頻度を増やす。
340	1086	通勤には、自転車、公共交通機関を積極的に利用する。
341	1086	駅・バス停までクルマを使用し、そこからは公共交通機関で目的地を目指す。 クルマを利用する際も出来る限り家族・友人などと同乗すること。
342	1086	休日の買い物時には自転車などを利用する。
343	1086	徒歩、自転車、公共交通機関の活用が可能な場合は、できるだけ自動車の利用を差し控える
344	1086	近くへの移動は自転車にし、可能なときはバスの利用を考えていきます。
345	1086	比較的近場の異動には自転車などを利用したい。
346	1086	なるべく自転車を使うようにする
347	1086	通勤時のバス利用
348	1086	急加速、急発進をしない。
349	1086	近所への用事には、自転車を利用する。 休日の外出は家族そろって出かけるよう心がける。
350	1086	一人乗りはできるだけ避ける
351	1086	近所のスーパーへは徒歩または自転車を利用する。
352	1086	通勤は、公共交通機関を利用すること。
353	1086	・複数の目的地をまとめて、効率的に利用する。 ・可能な限り乗り合わせる。
354	1086	JRによる通勤が一番効果的と考えるが、業務の状況を見ると難しい。 普段の生活では、健康のためにも徒歩等に努めたい。 ・通勤を相乗り利用とする
355	1086	・時間的に余裕がある場合は、自転車通勤を行う ・休日の外出は、計画性を持って、無駄な運転をしない ・近くへは、自転車、徒歩で出かける
356	1086	通勤への公共交通機関の利用
357	1086	自転車等を活用していく
358	1086	自動車を極力使用しないよう心がける。 無駄な自動車利用はしない。
359	1086	・ベストな方法は、自家用車利用を減らし、公共交通機関を利用していく ことと考える。(地域により困難な場合もあるが) ・また、環境に配慮したクルマの開発が進み、安価で購入できるようになれば、即そのクルマの方を選ぶ
360	1086	公共交通機関の活用、近距離移動手段での自転車・徒歩の選択
361	1086	相乗りや用事を同時に済ますなどの工夫
362	1086	中山間部での公共交通機関の整備が必須。
363	1086	・買い物等については、車の使用回数が減らせるようまとめて行く。 ・一人で使用するのではなく、可能な限り乗り合わせる。 ・近いところは、徒歩自転車等を使用する。

4.参加者コメント集

(エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所コード	交通行動計画
364	1086	鳥取県のような公共交通機関が不十分な地域では、クルマ依存の比重を下げることは限界があり、大幅に減少させることは困難である。 しかしながら、自転車で移動できる場合、列車・バスを利用できる場合などは、可能な限りクルマを使わないようにすることは可能であると考えている。
365	1086	公共交通機関の利用をまず考えること。
366	1086	近くの外出にクルマを利用しない。
367	1086	・アイドリングストップに心がける。
368	1086	徒歩、自転車利用を第一候補に考えることを行う。
369	1087	仕事のやり方から考える必要がある。定時に出勤、帰宅を考慮する。
370	1087	出来るだけ自転車通勤にする。 なるべく家族と相乗りで移動する。
371	1087	通勤、野球等の娯楽では車を使用することが避けられないため、そのほかのことでなるべく車の使用を控えている。
372	1087	短距離、荷物が無い場合は徒歩、自転車に 時間の制約、頻繁な乗換えが無い場合は自家用車以外の交通手段で
373	1087	休日はなるべく自家用車の利用をさげ、公共交通機関を利用する。
374	1087	必要最低限の利用に努め、運転するときは制限速度を守り、急制動・急停止など車に無理のかからないように心がける。
375	1087	町内で買い物をするときは、自転車か徒歩にする。
376	1087	車の乗り合わせにつとめる。 通勤にバスをなるべく利用する。 買い物等の所用はなるべく帰宅時に済ませる。
377	1087	車を今すぐ買い換えることは不可能ですので、空ぶかし、アイドリングストップ等、運転方法を考える、休日の車の使用を可能な限り控えることでしょうか。あとは次の購入時に省燃費(ハイブリッド車等)を選択する
378	1087	近くの買い物は自転車を利用する。
379	1087	停車中のアイドリングを無くすこと。
380	1087	公共機関が利用しにくい状況ではないので、車の利用時にはできるだけ乗合で行いたい。
381	1087	できるだけ便乗する。 近くは徒歩や自転車を利用する。 環境と燃費のよい車への乗り換えも考えています。
382	1087	可能な時は、同乗等をしたいと思う。
383	1087	車のしようにについては、最小限にし、バス等の公共交通機関を利用したいと思います。
384	1087	必要最小限に利用する。
385	1087	近距離での使用を控える。
386	1087	現段階では、具体的な実践項目はありません。
387	1087	公共交通機関の利用
388	1087	積極的に公共の交通機関を利用する。
389	1087	徒歩、自転車での移動をできるだけ多くする。 相乗りを利用する。
390	1087	都市部はともかく、地方の特に郊外においては、公共交通機関が網羅されているとはいえ、車に頼らざるを得ない現状あります。しかしながら、慣例から、必要のない場合も車で外出してしまう時もあるため、常日頃から意識的に、車を使わないといけないうか考えながら行動しようと思います。
391	1087	降雪期以外は、自転車通勤にする。
392	1087	移動の機会を減らすため、まとめて用事を済ませるよう、出かける前に考えてから行動したい。
393	1087	大抵の急いでさや、荷物や入を運ぶ必要があるときに車を利用し近いへ出かけることはなるべく自転車や徒歩とする
394	1087	近距離の移動ではなるべく自家用車の利用を控える。
395	1087	荷物等と1人運転と時間さえ許せば、自転車等に変更
396	1087	買い物等の場合、最短ルートを考え移動する。 相乗り
397	1087	近くのスーパーなどの買い物は自転車で行くようにする。 機会があれば相乗りで通勤する
398	1087	できる限り官許負荷を少なくする方法を考えながら生活していきたいと思う。
399	1088	自家用車の利用を可能な限り控える
400	1088	クルマを使わない生活を実践することは不可能であるが、エコ運転や自転車の代用等により、ガソリンの消費を抑える努力をしていきたい。
401	1088	1 できるだけ用事をまとめて済ませる。 2 乗り合わせする。 3 近場は自転車、徒歩で異動する。
402	1088	平日(主に通勤)においては、目標(例えば毎週水曜日など)を定め、できるだけ公共交通機関を利用する交通行動に取り組むこと。 平日(普段の買い物等)については、できるだけ住居から近いところを優先し、徒歩や自転車による交通行動に取り組むこと。 休日については、できるだけ公共交通機関を利用する交通行動に取り組むこと。

4.参加者コメント集

(工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 コード	交通行動計画
403	1088	複数の家族の用事をまとめて一回の外出で済ませるようにする。
404	1088	家族全員が自動車を使用することとなるレジャーを中心に使用を考えて行きたい。
405	1088	1人のときは、小さくて燃費のよい車で移動する。
406	1088	同乗するなどして、できるだけ運転しない。
407	1088	通勤での公共交通機関の利用
408	1088	可能な限り公共交通機関を利用するよう努力したい。
409	1088	可能な限り、公共交通機関を使用する。
410	1088	徒歩、自転車を利用できるところは利用し、クルマの利用を減らしていく努力を継続したい。
411	1088	なるべく歩く、自転車を使う。
412	1088	引き続き、車の使用を抑える
413	1088	通勤時の公共交通機関の利用とともに、休日の買物等に際に自転車を利用するなどできるだけ車を使わない行動を生活に取り入れて行きたい。
414	1088	健康づくりのひとつとして、自転車の利用を増やしたい。
415	1088	健康のためにも、できるだけ車を使わず、徒歩、自転車等で移動したいと考えている。 遠距離になると、JRやバス等を、できるだけ利用するようにしている。 今後も、できるだけ、続けたい。
416	1088	近くの移動は、なるべく利用しないようにする。
417	1088	自転車の利用促進
418	1088	休日等で可能な場合、はクルマの使用を抑えたい。
419	1088	移動目的を達成するためには、自家用車でないで困難であるか否かを考えた上で自家用車を利用するよう心がける
420	1088	出来るだけ、車を使わないようにする。
421	1088	対策が、公共交通機関への切り替えが主体であり、自宅からの公共交通機関の状況から実体上無理であったが、車をハイブリット車等の低公害車に変えることは可能である。
422	1088	・アイドリングストップを継続 ・効率的に車を使う。 ・公共交通機関を利用できる場合は、車を利用しない。
423	1088	休日について、極力環境負荷を低減するような交通利用に心がけたい。
424	1088	近くの店での買い物については、自転車で行く なるべく同乗を心がける
425	1088	バス停の数で5つくらいまでの距離の場合はできる限り自転車や徒歩を利用する。
426	1088	なるべく控えたい。
427	1088	停車時にできるだけアイドリングストップを実践したい。 購入する際には低公害車()を購入したい。
428	1088	複数で外出する場合は、出来るだけ相乗りで出かけるようにする。
429	1088	隣県へ行くときはできるだけ公共交通機関を使うことを検討する。
430	1089	公共交通機関を使用できる目的地にはノーマイカーで。
431	1089	遠距離移動に関しての代替手段が無いため検討不可能
432	1089	地方に都会並みの交通網を整備しなければ、解決は難しい。
433	1089	通勤に電車を時々使う。
434	1089	同じ車でも排気量の少ない車種に変更する。
435	1089	できることからやっていきます。
436	1089	公共交通機関の活用
437	1089	今まで通りアイドリングはせず、安全で経済的な運転をすること。
438	1089	通勤、業務での乗り合い
439	1089	行き先が同じであればできるだけ同乗する。
440	1089	難しい
441	1089	公共交通機関を積極的に利用する。 常によりよいクルマの使い方を念頭に置いて、行動していく。
442	1089	できるだけ自家用車を使わないように意識する。
443	1089	自転車と車の融合
444	1089	極力外出を抑えるか、用件はまとめて、また、一人出の自家用車の利用を減らす。
445	1089	近場の移動には車は使わないという使い方。
446	1089	休日の自動車使用の削減。
447	1089	可能な時は公共交通機関や自転車等の利用を考えたい
448	1089	近くへの移動は自転車で！
449	1089	なるべく車を利用しない様に心がける
450	1089	燃料電池車やハイブリット車の購入
451	1089	環境や健康のことを頭の片隅に置いておくようにする。 様々な状況により難しい面もあるが、可能な限り自動車の利用を抑えるようにしていきたい。

4.参加者コメント集

(工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 コード	交通行動計画
452	1089	極力自転車・徒歩に変更し、自動車での行動を減少する
453	1089	自転車での通勤回数を増やす。
454	1089	クルマのない生活は、考えられないが、できる限り自転車、徒歩での移動を考えたい
455	1089	車利用の外出を控える
456	1089	自動車利用
457	1089	通勤は、できるだけ自転車を利用する。
458	1089	外出する用事は、できる限りまとめて一度ですませる。 休日のレジャーはバスや自転車を使う。
459	1090	健康のことも考えて、可能な限り徒歩で移動する。例えば、気候・天気の良い時の片道40分の通勤など。
460	1090	1. エコドライブ 2. 時差通勤によるラッシュ緩和 3. 相乗り
461	1090	相乗りの実践。
462	1090	自転車通勤の機会を増やす。 どうしても良いような要件で外出しない。
463	1090	特に今の車の使い方を变えるつもりはない。
464	1090	地域柄、車の使用はやむ終えません。
465	1090	・通勤については、自宅～会社までの距離も短いし、天候を見ながら自転車での対応を考えるが、自転車同士と対向できる道路は最小限整備ができれば、直ぐにでも新車(自転車)を購入し通勤したい。
466	1090	近場へは自動車利用をひかえ、できれば徒歩・バイク等に切り替える。 通勤も、自家用車だけでなくバイクも活用する。
467	1090	通勤は、健康管理も考えて必要以外は徒歩出勤とする。
468	1090	家族全員で動く(乗り合わせ)ようにしており、買い物等の外出は効率的に行われていると思う。 通勤でバスを使用すればもっと良くなると思うが、便(特に夕方)が悪いのでなかなかバス通勤する事が出来ない。今後バスの便が増便されれば利用したいと思う。
469	1090	通勤で車を使用しない。
470	1090	オイル交換はきちんとする。
471	1090	近いところに行くときは車を使わない。 友達の車に同乗させてもらう。
472	1090	移動距離が短ければ徒歩または自転車を使用する。
473	1090	同じ会社に勤務する人と、同乗して通勤する。 休日の近くの用事は、車を使わず、自転車(徒歩)にする。
474	1090	通勤は車でしか行けないので、買い物を帰り道にするようにし週2回程度に抑える。
475	1090	通勤は退社時間が違うので難しいかもしれませんが、 買物はかなり実行できると思います。
476	1090	クルマばかりに頼らず、運動がてら、徒歩を使う。
477	1090	出来るだけ徒歩や公共交通機関を利用しCO2削減に努めたい。
478	1090	なるべく車を使わない。 徒歩を実践する。
479	1090	・クルマを使った外出は、家族の計画を考慮して極力減らす努力をする ・徒歩や公共交通機関利用可能な外出は、そちらを利用する ・将来的(経済的余裕ができた時)には、その時のライフスタイル・家族構成を考慮し、より環境に優しいクルマの購入を考慮する
480	1090	できるだけ相乗りを実行する。
481	1090	1)長距離の移動は公共交通機関を利用する。 2)効率よく車を利用する。 3)近くは徒歩、自転車ですかける。
482	1090	近くは、徒歩、自転車を利用する
483	1090	・近場の用は、極力徒歩で移動したい。 ・同一方向への移動は相乗りを活用したい。
484	1090	バスの利用回数を増やす。(月1回を3回程度に) 複数の用事を1度に済ます。
485	1090	現状、取組は不可能。
486	1090	自転車を利用して通勤する。
487	1090	電車が1～2時間に1本しかない環境下での車は通勤等移動手段の大きなウェートを占めており即交通手段を変更することは困難であるが、 休日の移動は出来るだけ相乗りを実行したいと思う。
488	1090	通勤だがノーカーデーを増やすこと。(但し、当日は残業ができないという不便がともなう)
489	1090	通勤手段の変更
490	1090	できるだけ使用頻度を下げると共にガソリン消費を少なくする運転に努めたい。
491	1090	車の利用率を減らす。
492	1090	車の使用は通勤が殆どでありそれも長距離ではない。 しかし、通勤も車から電車、バスへの変更を心がけたい。

4.参加者コメント集

(エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 コード	交通行動計画
493	1091	公共の交通機関を利用し、通勤を行う。
494	1091	飲み会がある日は、公共の交通機関を使用する。
495	1091	ハイブリッドで魅力的なデザインの車ができれば乗り換えを考える。
496	1091	公共機関(バス、電車)の便数増加(終日)及び費用軽減対策等がなければ、実践は難しい。
497	1091	自宅の近くに買い物に行くときなど、徒歩及び自転車を利用する。
498	1091	通勤で数回/月は電車を使用したい。 自転車や歩くことを積極的に取り入れたい。
499	1091	必要以上に車を使用しない。買い物はまとめて行なう。
500	1091	バス、電車の利用または自転車の使用を考えたい。
501	1091	時間的に許せる場合は車使用を控えます
502	1091	自転車で移動可能な場合は実践する 用件は同一方向で効率よくまとめる(買い物も日にちを調整して用件に含む) 休日の親の行動パターンを極力あわせる 近所で余暇をすごすように工夫する。
503	1091	・自転車の使用 ・同じ行き先の場合、調整して同乗する。
504	1091	公共交通を利用するのは、今の現状では不可能である。今後は、利用出来る用に使数の増加等の対策をして欲しい。
505	1091	急発進・急加速を減らす。 アイドリングストップ。 渋滞しそうな場所に行かない。
506	1091	なるべく、クルマよりバイクや自転車を利用していく。
507	1091	現状では、近距離移動の際の自転車利用もしくは徒歩。
508	1091	距離に応じて、自転車等の利用を心がけたい(近所の買物等)。
509	1091	時間を気にしないでよい移動には、車を利用せずに公共交通機関を利用してみたいと思います。
510	1091	どうしても車を利用しなければいけない場合のみ利用するようにしたい。
511	1091	レジャーなど遠距離を移動する際は公共交通機関を利用するようにする。
512	1091	車の台数を削減する事、乗り合いバスを実施すること。会社の始業時間をこれによって余裕を持たせること。
513	1091	出来るだけ近いところは、自転車や徒歩などで行くようにする。
514	1091	「よりよい車の使い方」で自家用車の使用を減少することが大切とは思っているが、現在の公共交通機関の量・料金では自家用車の使用は仕方ない。
515	1091	近場へは自転車を利用する
516	1091	環境のため・・・はもちろんですが、車を使用しない！イコール自分の健康管理、ガソリン代の節約にも関連してくることなので、今まで以上に考えて車を利用していきたいと思います。
517	1091	できるだけ、車での、移動は、さけるべきだが、交通機関が、とても、不便なので、つい、車での、移動を考えてしまいます。 できるだけ、公共機関を利用できるように努力したいと思います。
518	1091	外出するときは、一度にすべての用事を済ませるようにし、何人かで行動する場合は、一台の車に同乗して、よりよい車の使い方をしたいと思う。
519	1091	不必要な車の利用は控えたい。
520	1091	できるだけ、徒歩や自転車を利用する
521	1091	身近なところへの移動は徒歩、自転車の利用を心がけたい。無駄なスピードを出さず、ラッシュ時をさけて運転することで燃費の向上をはかる。
522	1091	他の人の車に乗る。用事を頼む。
523	1092	車の無駄な使用を控えることで対応していきたい。
524	1092	車を使用することは避けられないので、燃費向上に努める運転をしたいと思います。
525	1092	1回/週は、車を使わずに自転車、徒歩で通勤する。
526	1092	通勤時にはお互いが同乗する機会を多くする。 通勤時に月1回程度は公共交通機関を利用するように努める。
527	1092	車による大気汚染を再認識できた。
528	1092	近くへの移動は徒歩にする。 遠出や旅行は列車の旅などを楽しむようにする。
529	1092	公共の交通機関の充実改善で利用しやすい条件になれば利用していきたい。 地球環境問題を考えれば、可能な限りで自転車通勤も考慮したい。
530	1092	近くへ行くときは、なるべく徒歩で行く
531	1092	出来るだけ歩く事を実践したい。
532	1092	できるだけ乗り合わせか公共機関を利用する。
533	1092	休日の外出には、最初に電車やバス、自転車が使えないか考える。(無意識にクルマを使わないように気を付ける)
534	1092	近場への外出の際は極力自家用車の利用を避ける
535	1092	今までではどこに行くにも車を使用していたが、環境のためにも、自分の健康のためにも、比較的近い場所へ行くときは徒歩や自転車の利用を心がけてみようと思う。

4.参加者コメント集

(工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 コード	交通行動計画
536	1092	20分以内で到着出来る所は徒歩で行く
537	1092	1. 職場での会合は、公共機関を利用する。 2. 休日は、あまり外出しない 尚 徒歩でいける距離を選定する。
538	1092	通勤時、週1度は自家用車以外を使用する
539	1092	近距離の移動に於いて自転車の利用と、ゴルフは出来るだけ相乗りを行いたい。
540	1092	近いところは、徒歩か自転車で。
541	1092	週に1~2回公的交通機関を利用しようと思います。
542	1092	数人で外出する時は乗り合わせにする。近くに行く時は、徒歩か自転車にする。
543	1092	近くの買い物とかは自転車か歩いて行く。
544	1092	通勤は基本的にバスか徒歩(約30分)とすることを目標としたい。
545	1092	自動車通勤を週1回くらい自転車に代替する
546	1092	クルマと公共交通機関をうまく使い分け、できる限りクルマの使用をひかえたい。
547	1092	できるだけ自転車・徒歩での通勤を心掛ける。
548	1092	相乗り 自転車への変更 徒歩への変更 但し、勤務中の外出は、自転車は制服では乗りにくく、徒歩は時間の無駄になるので、車使用がやむをえ
549	1093	無駄な自動車の利用はさける。
550	1093	自動車の使用のほとんどが仕事のためであり、公共交通機関での移動は都市部と違い困難なため、結果は出ませんでした。通勤やレジャーに関しては極力、交通行動改善を計りたいと思います。
551	1093	近所での買い物、または、集会などには、自転車あるいは徒歩で行きたい。
552	1093	遠方への移動については、バス、電車等の公共交通の利用を優先したいと思います。また、通勤については、公共交通を優先したのですが、バスの便が少なく、帰路の時間が20時半まででなくなり不便なので、バスが利用出来れば利用したいが、帰路の予定があらかじめ立つ場合にしたい。バス利用のほか、通勤には、私の体力と相談しながら、出来る限り車の使用を止め、歩行もしくは自転車を利用したいと考えます。
553	1093	今までのとおり、自転車通勤を継続する。
554	1093	今まで通り利用すると思います。
555	1093	公共交通機関を積極的に活用する。
556	1093	集に一度は実行したい。
557	1093	通勤など、日常的には使わない。
558	1093	近くは、徒歩・自転車等を利用したい。
559	1093	行動範囲により乗る機会を考える。
560	1093	目的地の近いところ、公共交通機関の利用できるところは、できるだけ自動車利用を控える
561	1093	近くへの移動には、自転車や徒歩で対応する。 自家用車には、できるだけ乗り合わせて移動する。
562	1093	自転車通勤には良い季節になってきました。 自転車の埃を払って、たまには自転車に乗ってみようかな。
563	1093	健康の事も考えて、近い場所へはできるだけ自転車や徒歩で出かけた。
564	1093	自動車での長距離旅行について、費用のを含めて鉄道利用等の検討をしてみる。
565	1093	家族間の乗り合わせ等を考えていきたい。
566	1093	自宅から1キロ以内の移動は、自転車で移動するなどして、車の使用量を減らしていきたい。
567	1094	現在生活の中で、まったくクルマ利用をしないことは、困難であるが、できるだけクルマの利用を制限していきたい。 <具体的実践項目> ・通勤での自粛
568	1094	用務先に応じて、自動車、公共交通機関の併用をすることと、意識的に、公共交通機関を月何回は使用するという目標としておくことが重要と考えます。そのためには、一人一人が意識を向ける環境づくりが
569	1094	週1日は電車通勤を行う。近距離はなるべく自転車・徒歩を心がける。
570	1094	通勤は、自家用車の利用が手放せないが、週1~2日はバスを利用するように努めたい。また買い物も近くの場合は、健康のためにも自転車を使用するように心がけようと思う。
571	1094	近距離の移動は、自転車又は徒歩とし、自動車の利用を削減する。
572	1094	週1回は自転車通勤を実施する。
573	1094	月に2回は公共交通機関を利用し、通勤する。また、近所のスーパーなどへの買い物には、できるだけ徒歩で行く
574	1094	月2回は交通機関を利用して通勤する。
575	1094	4km以内の移動は、徒歩・自転車を考える。 バスのダイヤの改正等で、時間的利便性が改良されれば、バス通勤を考えたい。
576	1094	車以外の交通手段が確保されていれば、できるだけそちらを利用する。
577	1094	自宅の生活圏において車のない生活は考えられません。次に買う時は低燃費の車に買い換えたいと思います。
578	1094	帰りに用事がなく、早く退社できそうな日は、バスを利用し通勤する。 目的地付近を、何箇所か移動する際は、折りたたみ自転車を利用する。
579	1094	可能な限り、自転車や公共交通機関を利用したい。

4.参加者コメント集

(工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所コード	交通行動計画
580	1094	バスの本数が増えれば通勤に使うことが増えると思う。そうすると休日のみの使用が可能になりそう。
581	1094	徒歩が可能な移動は、車を使わない。 通勤以外で、鉄道の利用が可能な地域への移動は、車を使わない。
582	1094	自転車の移動を心がけたい
583	1094	以前のコメントを見てもらえばわかるとは思いますが、自分ができることは、排出するCO2の量を抑えるために、少しでも燃料を使わない運転を心掛ける事です。
584	1094	通勤では自動車以外を利用するのは難しいと思う。自宅近くの店に行くときにも、自動車を利用することが多いので、自転車を利用したり、なるべく歩くようにしたい。
585	1094	一週間に1度は、公共交通機関を利用して通勤します。
586	1094	公共交通機関の利用率をあげる
587	1094	帰宅途中に寄り道をしない等、不必要な利用をしないようにする。
588	1094	通勤については可能な限りバス等を利用する。
589	1094	公共交通機関での通勤回数を増やし徐々に慣れていく。
590	1094	近くに買い物に行くときなど、車ではなく自転車や徒歩での移動を考えていきたいとします。また通勤も公共交通機関の利用を増やしていけるよう考えたいとします。
591	1094	毎月第2,4水曜日のノーマイカー通勤デーは、実践したい。
592	1094	環境率先実行計画のノーマイカー通勤を週一度実践する。 帰宅時間に余裕のある日をノーマイカーデーとする。 家の近隣地への用事は、自転車・徒歩で行動する。
593	1094	ノーマイカーデーには、極力自転車通勤する。
594	1094	近距離は歩く
595	1094	目的地に近い場合は、自転車などを利用する。
596	1094	・バスや電車の利用が実際だと思うが、時間的(渋滞によるバスの遅延の恐れを含む)や経済的にも困難だと思われる。
597	1094	ノーマイカーの実践、自転車、徒歩の活用、省エネ、低排ガスの運転の心がけ
598	1094	子供の送り迎えなどは、可能な限り、家族の協力を得る。
599	1094	車以外で移動が可能な場所については各種交通機関等を利用する。
600	1094	気候の良い日に自転車を積極的に利用する。
601	1094	通勤手段の全てを自家用車とするのではなく、公共交通機関や自転車・徒歩などを考えていきたい。
602	1094	近場への移動は極力徒歩か自転車を利用する。 複数人での同場所への移動は極力乗り合わせる。
603	1094	せめて職場でのノーマイカーデー実施に伴い、自転車+電車通勤を行う努力をしていきたい。
604	1094	クルマだけでなくも行ける距離であれば、クルマを利用せり、荷物を運ぶなど必要なときにだけ利用していきたい
605	1094	近場での移動は、徒歩、あるいは、自転車等で移動する。 月2度程度はマイカー以外の方法で通勤する。
606	1094	公共交通機関を利用したい。
607	1094	エコカーへの乗り換えなど…
608	1094	電動アシスト付き自転車を購入し、天気の良い日にはそれを利用して通勤する。
609	1094	自宅近くの用事は、なるべく自家用車を使用しない。
610	1094	自転車使用
611	1094	・常に自動車の整備に気を配り最高の燃費性能を維持する。 ・燃焼効率の良いハイオクガソリンを使用する。 ・急加速や逆に制限速度以下でののろろ走らないようにする。 ・自転車や原動機付自転車とTPOに応じて使い分ける。 ・長時間のアイドリングは止める。 ・こまめなエンジンストップは再始動時の空ぶかしを伴うので止める。 ・スムーズな走行を妨げる信号機設定について公安委員会へ是正を求める。
612	1094	今の居住地が割合便利の良いところに住んでいるので、退庁後に予定のない時は、バスの利用回数を増やして行きたい。
613	1094	実家が職場の近くなので、なるべく実家に帰ることにしたいとします。
614	1094	あいのり
615	1094	できる範囲で公共交通機関を利用する。
616	1094	通勤については、週2回程度、バス通勤をしたい。
617	1094	アイドリングストップの実践の徹底 1km以内の移動は車を利用しない。(徒歩)
618	1094	目的地に近い場所にあるときは、徒歩・自転車などの方法を使う。
619	1094	次に車を買換える時は、ハイブリッドカーにする。
620	1094	なるべく自家用車を、利用せずに公共交通機関を利用したい。
621	1094	マイカー通勤を極力減らす。
622	1095	いつも自家用車を使うのではなく、公共機関を使えるところはできるだけ使って移動するように努力をする。
623	1095	交通機関に思われているところと思われていない所では、車の使い方によって差があっても仕方ない面もあると思います。

4.参加者コメント集

(工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 コード	交通行動計画
624	1095	公共交通を使うのが望ましいが時間の関係上できる範囲で自動車を使わないようにしたい
625	1095	将来の子どもの卒園、または職場の異動(転勤)を機に考えたい。
626	1095	曜日または日にちを決めて、自転車またはバス通勤する
627	1095	急発進、急停止をしない
628	1095	通勤手段を変更することは考えていないが、その他の車の使用については考えていきたい。
629	1095	夏時間帯時には、極力自転車での通勤を考えていきたいと思う。
630	1095	便利な公共交通手段があれば、利用しようと思う。
631	1095	自家用車を利用する際はエコランに気を配る。
632	1095	パークアンドライドなどがしやすい環境(駐車場・駐輪場の整備など)が進めば、ノーマイカーによる通勤も増えるのではないかと。簡単に取り組めるような環境・制度づくりが必要だと思う。
633	1095	天気の良いときは自転車でいくようにする。またできるだけ公共交通を利用したい。
634	1095	公共交通機関での通勤が可能な時は、公共交通機関を利用する。
635	1095	バスなどの利用を増やしていきたい
636	1095	今後は、他の交通機関等の使用も考え行動していきたいと思う。 ただ、山間部に於ける交通手段のあり方も考慮して頂きたい。
637	1095	近距離に出掛ける時は、極力自転車・徒歩で行く。
638	1095	通勤以外は車の使用は控える
639	1095	目的に応じて、交通手段を検討し、使い分けていきたい。
640	1095	あい乗り等検討したい。
641	1095	職場の人と乗り合わせて通勤する。
642	1095	公共機関を利用する。
643	1095	さきに、記入しましたが公共交通機関の利便性が向上すれば、自家用車等の利用が減り、取り組みを実行に移すことが出来ると思います。
644	1095	職場に近い職員を優先的に配置し、地理的に車通勤しかできないというような状況をなくす。
645	1095	なるべく5速で運転しています。車もミッションです。今度買い換えるときもミッション車を探します。
646	1095	近距離の移動においては、クルマを利用しないようにする。
647	1095	休日の自家用車の利用を控える。
648	1095	車を利用しなくて済むところは利用しない。他の交通手段を考えて行動する。
649	1095	通勤以外の目的で車を利用するときは、別の交通手段を考慮することを考えてみたい。たとえば、家族旅行はほとんど車で行くが、電車やバスを使って移動するなど。
650	1095	近くへの買い物や用事はなるべく歩いて行くようにします。

4.参加者コメント集
(オ)自由意見

sq.	事業所 コード	自由意見
1	1071	頑張ってください。
2	1071	地方では車が必要です
3	1072	通勤は自転車にする等、できることはすでに改善していることもあって、これ以上の改善は難しかった気がする。
4	1072	今回のとり組みでどの程度効果があるか疑問である。移動手段の選択肢が少ない地方ではとり組みに限界がある。
5	1072	具体的にチャレンジ出来るような例を複数あげて体験してもらいたいと思います。一般的な交通機関を気軽に無理なく利用しやすい環境を作る方法も考えるべきだと思います。
6	1072	調査対象者において地域事情、社会的な事情等様々な態様があるため、一律の設問形式に工夫が必要と思われる。
7	1072	とり組み自体よいと思う。 大会社の通勤と運送トラックが先決と思う。
8	1072	公共交通機関の位置づけをもっと深く考えることが必要だと思う。
9	1072	交通網が発達した都会ではとても有効な取り組みだと思う。
10	1072	趣味地に住んでいる者には、不同意。健康な時はよいが、高齢・病式などで車に乗れなくなつたことを考えると、 <small>輪漕だ</small>
11	1072	設問1は、もっと具体的理由(ケース)がないと答え難い。例えば、知人の家に遊びに行く場合でも、お酒を飲むかどうかで違ってくる。
12	1072	今後の参考になりました。
13	1072	自覚をさせるという意味では大切な取り組みだと思うが、結局やっただけということになるのではないかと。新幹線の中でも、国土交通省の職員が乗り組み、乗客にボールペンを配付してアンケートを行ったと聞いたが、職員が乗り込んだ運賃や、乗客に配付したボールペン、紙代などの予算を使っただけの効果をあげることができるのか、大変疑問に思う。行政にありがちだが、アンケートに取り組み、結果を公表して終わりというような形にだけは欲しくないし、それだけみんなに労力を使わせたのであれば、具体的に効果が出るような方法も提示してもら
14	1073	こんかいのように、環境について具体的に自分に置き換えてかんがえる機会はこんごの参考になり、実践しようとおもいます。
15	1073	田舎と大都会で同じアンケートであればデーターがあまり意味のないものにならないでしょうか？
16	1073	私は島に住んでいる。買い物等で自動車からバス等に切り替えると言うのは理解できるが、そもそもバスのルートすらないのに切り替え様がない。そうなればCO2を削減使用と思ったら自動車よりCO2の排出の少ない、バイク、原付、自転車等に切り替えるしかない。自転車が一番いいのだから坂道が多いので使い勝手が悪い。島や田舎の場合は原付等を市町村で一月1000円くらいでレンタルして自動車より原付等の普及を促進するべきで
17	1074	啓発活動としては良いと思うが、そういう意味では、無作為に抽出し、送付回答をお願いした方がよいと思う。
18	1074	このような取組みをもっと広げていって欲しいです。
19	1074	職員に無理強いするより、幹部の姿勢を示して頂きたい。 公用車のアイドリングストップなど、目に見える行動を示して頂きたい。
20	1074	今回の取り組みでは関係無いかも知れないが、国民全体が車の排ガス問題・地球温暖化問題に関心を持ち、車の使用を控えるよう長期間にわたってキャンペーンをしてほしい。
21	1074	何かインセンティブがあれば好結果も出るかもしれない。ただ、公共交通の発達した(特に鉄道)都市部とその反対の地方では車への依存度がまったく違うと考える。便利なクルマを使用しないだけの何か理由がなければ減
22	1074	地球温暖化については、実感しておりますので、これを機会にクルマ利用を減らそうと考えております。
23	1074	車を保有している理由は、公共交通機関を利用する事が出来ないから車を保有しているの、常に省エネなクルマの使い方を実践していますし環境にも務若干配慮しています。又、クルマの利用が増えたのは必然的にクルマ利用以外の交通機関が無かったからです。
24	1075	日頃、便利さのあまり自家用車を利用する機会が多いが、この取組みを通じ、環境面、健康面等からこうした問題意識をもつことは有効であった。また、こうした認識を今後とも、引き続き持つことが改善に繋がると思う。
25	1075	地域性を考慮した取り組みが必要ではないでしょうか。どうも大都市主体の調査に偏っているように思える。ならば、当地に在住するモニターのアンケート等は無意味になる場合があるのではないのでしょうか。
26	1075	環境について考える機会になった。
27	1075	バス利用を心がけたいが、マイカーの便利さを捨てることは難しい。意識を強く持つことの必要性を感じた。
28	1075	取り組みの主旨は理解できたが、やはり実行するには地域によって公共交通機関の便利さに大差があり、地方に住んでいる者は良くても悪くても車に頼らざるを得ず難しいものがあると思う。
29	1075	車の利用を控えることは様々な面から良い事だと考えているが、実際に行動に移すと難しく感じた。常にこういったことを心がけることで変わっていかねばと思う。
30	1075	環境改善に対する意識付けには、大変有効で有ったと思う。
31	1075	田舎で生活する田舎者には今回の調査は無理があると思います。大都会で生活する人を中心に調査したほうがよかつたのでは？
32	1075	理解はするが、公共交通機関の少ない地域では自家用車に頼ってしまう部分大きい。地域全体で取り組む必要があると思う。
33	1075	公共交通機関の発達していない地域はどうしても自家用車に頼るしかない。
34	1076	車利用を一人一人が、考え直すいい取り組みだと思います。
35	1076	個人的な省エネのためどの程度環境に影響があるか等具体的な数字が表されると、環境について再認識することができました。
36	1077	あらためてマイカー利用を考える機会にはなった。
37	1077	その人の置かれた地域状況により、理念と現実とは異なることをご理解願います。

4.参加者コメント集
(オ)自由意見

sq.	事業所コード	自由意見
38	1077	上記の質問についてですが、石油燃料等を使用する車であれば利用を控えた方がよいと思いますが、電気自動車やソーラーカー、水素燃料を使用する自動車ならば環境への負荷が大幅に削減されるでしょうから利用を控えようとはあまり思えません。質問中の“クルマ”の内容が不明なので、その内容次第では回答が変わってくると
39	1077	次回も内容を変えて実施してください
40	1077	都心を中心に考えた質問が多い様に思える。地方では、地下鉄・電車などないところが多くバス又は自家用車に頼らざるをえないと思われる。
41	1077	地方では公共機関の便が悪い。
42	1077	クルマを控えようと思って公共交通機関が不便であればクルマを使用せざるを得ない。今回のアンケートも都市部を中心に想定しており、矛盾した回答にならざるを得なかった。
43	1077	地域の特性がありよく考えたい。
44	1077	無駄な自動車の利用は、さけるが、交通網を変更することが困難を極めることから、地方での脱自動車生活は実現しにくいと予想する。
45	1077	交通体系について地域の実情があり、移動手段が「クルマ」しかないのも、このような取り組みをしてもむだな地域もあり、今後はこの点を考慮し、公共交通機関に転換できそうな都会だけで「取り組み」をやってもらいたい。
46	1077	自動車には、移動手段はもちろん、プライベートルームとしての役割もあることを改めて感じた。
47	1077	今回のプロジェクトは、なかなか考えられておりおもしろいと思いますが、どうも都会中心のアンケートと感じられて仕方ありません。地方の生活の不便さは、近くのスーパーまで歩いて20～30分以上衣料品店で1時間もかかり、たくさんの荷物を持って行動するには自家用車以外(タクシー含む)に交通手段がありません。これは、地方で生活しないと解らないことだと思います。私は幸い田舎とは言いながら、県庁所在地に住居を構えているのでまだましな方ですが、少し離れると電車も自動車もなく、バスは日に数便しか無いところが沢山あります。皆、公共交通機関が正常に発達することを望んでいますが、補助金の削減や廃止等で、どんどん公共交通機関が縮小していく現状で、難しいことではないかと危惧するものです。皆さん頑張ってください。
48	1077	交通の便が悪い所では、今回の取り組みは無である。
49	1077	実際、公共交通機関の利便性がよくなることを望みます
50	1078	期間中マイカー利用を縮減しようと思いつつ、自身マイカーからの転換ができなかった。
51	1078	自動車に代わる公共交通機関や、家族構成にない人にとっては、環境面のみを考えると自己嫌悪のみが残り、非常に辛い。
52	1078	回答期限について少し面倒に感じた。 理由:送信していると思っていたものが送れてなかったため、催促があったことにもよる。))
53	1078	今回の取り組みは別にして、今やっていることを継続して行うということになると思います。この取り組みによって特に変わったということはありません。
54	1078	自転車・徒歩・バスに転換できる外出があると感じた。
55	1078	日頃、くるまばかり使用している実態がわかりました。時々、このような取り組みに参加して環境に対しての配慮を考えていくことはよいことだと思います。
56	1078	いろいろと考えるところがありました。ありがとうございます。
57	1078	居住地の環境によりどうしても自動車使用が多い
58	1078	参考になりました。
59	1079	お疲れ様でした。
60	1079	車の使い方よりも、効率の良い車の運用を心がける必要があると思います。車を使用しなければ良いというのは一つの究極論であって、実際には生活のままならない地域もあります。環境負荷の度合いでは都市部が圧倒的に多いのではないのでしょうか。本気で考えるのであれば、公共交通機関の発達している都市部の車の所有制限及び流入制限等、一般の人には厳しいであろう対策を真剣に考え、実践する人にはその行動に報い、実践しない人にはペナルティ(主に課金)といった厳しい対応も必要と考えます。自発行為に頼るのは結構ですが、人々の上記質問について、交通機関の発達している都会とほとんど交通機関のない田舎では回答に差がでる。環境のことを考えると自動車使用はさけるべきではあるが、田舎ではどうしても自動車に頼らざるえない。今後も出来るだけ自動車使用回数を少なくするように心がけたい。
61	1080	ダイアリー調査の休日の記入の数及び行動プランの作成数を増やしてほしい。なぜなら、今回の私の調査の結果が、よくなかったため。放出量が増えた。
62	1080	行動パターンに日付・曜日を具体的に指定して回答するのは、戸惑いがあった。
63	1080	車利用はなかなか急に变えるのは難しいが、再認識することはできました。
64	1081	地域により公共交通機関の利便性がかなり差があるため、全国一律の真同で判断するのは無理があるように思えます。
65	1081	地域の事情により車以外の利用が困難な場合があるが、可能な限りクルマ以外を利用できるよう努力したい。
66	1081	公共交通機関が充実していない地方都市で、今後取り組んでいくことには限界がある。日常生活、仕事では自動車でしか移動できない地域が多く、今後は低公害車の自動車を購入していくなど、違った形ではあるが、CO2削減に向けて努力はしていく必要がある。国としても地方における環境への取り組みを強化していくためには、マイカー使用の自粛を呼びかけると共に、低公害車導入促進に向けての税制面等での支援が必要と考える。
67	1081	自分の自家用車実態を認識していない人には良い機会かもしれないが、必要最小限の使用にとどめている者からすれば走行の多い方に認識を持ってもらうことがもっと必要なのでは？
68	1081	質問、調査内容都市圏を想定しているようでもっと質問範囲を広げて欲しい。地下鉄も電車も近所にはない者はどう答えればよいのですか。今回のプログラムは都市圏に住居している者のことしか想定していないと思えます。少数意見は大成に影響ないのであれば地方は意見照会は余り意味がないのでは。削減は非常に重要な地球規模の問題であるのは分かりますが、
69	1081	

4.参加者コメント集
(オ)自由意見

sq.	事業所コード	自由意見
70	1081	地方においては、空白地帯が多く、鉄道、バスが、不便で使用しづらい。
71	1081	都市部はともかく地方では、自動車の利用を控えるのは難しい。 広島などなら可能と思う。
72	1081	CO2削減の為、がんばりたい。
73	1081	私事ですが、三重生活(官舎・自宅・実家)をしております。移動距離が多く、車を使用することが多くなりますので、耳が痛い質問がありました。 しかし、車使用を控えさせる啓発活動は必要で、家族の中で、子供達にも取り組ませることも良いのではないのでしょうか。 小さいうちから環境保護に取り組ませることになるので、きっと良い結果になると思います。
74	1081	環境について日頃から考えておきたい。
75	1082	質問内容が良くない。大都会に住んでるのか過疎地区に住んでいるケースで内容も大きく変わる。都会であれば公共交通が充実しているし、過疎地区は車に頼らざるを得ない。日に2~3便しかなくても環境を考えてバスを待つのに4,5時間待つ人がいますか。
76	1082	今回の取り組みで車利用に関して意識改革ができた
77	1082	取り組み期間中、通勤を公共交通に変えようとしても、通勤手当が支給されないなど、事業所としてのバックアップ体制(本気さ)が足りないと思う。
78	1083	公共交通機関の整備状況は地域によって大きな差があるので、都市と地方では異なる取組とした方が効果的ではないでしょうか。
79	1083	何気なく使用している自動車の利用について考えるきっかけとなった。
80	1083	自転車通勤をはじめ、自転車が通りやすくなるよう段差解消や急に幅が狭くなる場所をなくすなどに配慮して道を整備してもらえれば、自転車利用が増えるように思いました。 自転車が歩行者と一緒に歩道を走るのは危険だと思いますが、これは自転車のせいだけではなくそのように道路を整備し、啓発してきたせいではないでしょうか。
81	1083	車を利用した場合のリスク(家計、環境負荷、行政負担、健康、安全、道路整備など)を数値化して示すことで、車利用のディスインセンティブがより一層働くとします。
82	1083	都心のように、交通手段がいくつもある場合には、車に頼る必要はないが、田舎では、車はなくてはならないものとなっている。
83	1083	心がけの部分は精一杯です。交通網の整備を望みます。
84	1083	アンケートは、大都市部を想定して作成したものではないか。 代替交通手段がなければ、車利用がやむを得ない地域もある。 そのあたりの「補正」がなければ、実感とか離れたものになる可能性があるのでは？
85	1083	自分としては特に難しくなかったが、他の参加者の一部から、回答の仕方がわかりにくいという声を聞いた。
86	1083	参加して、改めて自分の行動について考えました。 良い機会だったと思います。
87	1083	自動車以外の移動の選択肢をとれる地域は、都市圏の一部を除くと現実的でないところが多いと思います。 よって、今回のアンケートや行動の対象者の選択や成果に疑問があります。
88	1083	個人のデータを出されたことは、いいことだと思いました。 目で見ると、実際に環境に悪いことをしていることが再確認でき、非常に参考になりました。 昨日の幕張での車ショーを見て、新しい時代の車が考えられてることも つる側と使う側、双方が環境について考える時がきたと感じました。
89	1083	もともと必要がなければクルマは利用しないので、これからは移動手段は自転車や公共交通機関の利用を中心に考えていきたい。
90	1083	メニューの中に船がなかったので、今後取り入れてほしい。通勤で船を使用しているの、今回は実際の交通手段とは違う報告になってしまった。
91	1083	交通手段別のCO2排出量について、今回のように簡易に算定できるサイトがあれば利用したいと思う。
92	1083	こんなアンケートをとること自体、いろいろな意味でまさに無駄遣いである。 日本社会が拝金主義になり、国のあり方が経済最優先で運営されているから、あらゆるところにひずみがきているのが現代の姿である。 脱クルマ社会を目指すには何をどのようにすればいいのかを政策の中心とすべきである。
93	1083	自動車優先の道路整備、使用がされていて、段差、路肩や歩道への駐車等で自転車利用者にとっては使いにくい。会議の設定、業務の締切等でも自家用車(社用車)を利用することが前提の設定になっていることが多い。自家用車(社用車)を利用しないためには、自動車を利用しないことを前提にした時間の設定、代替手段を使いやすい環境づくりを進めないと状況は改善しないと思います。
94	1083	・日頃の車の利用について考えさせられ、いい経験になりました。 ・車の利用を含め、自分でできる環境に配慮した行動に努めたいと思う。
95	1083	社会、地域としての取組が必要
96	1083	取り組む必要性は感じるが、実践するのは非常に困難。
97	1083	田舎では公共交通機関の利便性が悪いことが一番のネックである。 個人として努力できる範囲で自動車の利用を自粛したい。
98	1083	こんな煩雑なアンケートは、やめてほしい。 それでもなお協力してほしいと言うのであれば、相当の謝礼を用意すべきである。
99	1083	大変でした。

4.参加者コメント集
(オ)自由意見

sq.	事業所コード	自由意見
100	1083	時々調査が来るので、前回の報告内容を忘れてしまう。 どんな調査内容か事前に概要でも教えてもらえれば取り組みやすいと思います。 回答内容をプリントアウトできるようにしてあげれば良いのでは。
101	1083	もう少し良い質問を用意していただきたい。
102	1083	質問項目等、かなり東京を想定したものになっていないか、 地方の状況を加味したアンケートや行動計画等の提起があって良いと思う。
103	1083	自家用車の使用は、田舎ではやむを得ない場合が多い。タクシーの利用は自家用車の利用と環境面での差違はない。公共交通機関の発達した都会で自家用車の利用制限をしてもらいたい。
104	1084	車の使い方については、国民的な課題として真剣に考える時期がきていると思う。
105	1084	また、機会があれば参加したい。
106	1084	がんばってください。
107	1084	中々良い取り組みだったのではないのでしょうか
108	1084	公共交通機関が充実しておれば、車利用を控えることができるが、地方都市では、なかなか困難な面がある。
109	1084	車の有効利用について、今後も有効な方策を検討したい
110	1084	個人それぞれの行動を見直してもらうには、こういう取り組みは有効だと思う。職場だけでなく地域の町内会組織でもしてみたらと思う。
111	1084	改めて 自分の自動車利用を考えるきっかけになりました。 このアンケートの回答にあたっては、期限に迫られ、少し億劫であったが、家族と一緒に参加出来た事は、非常に有意義であると思います。 今後、モビリティ・マネジメントの取り組みが、より多くの人々に認知され、共に考えられるようになることを期待し
112	1084	質問に設置されていた選択肢が実際の状況と合致せず、選択しにくい質問がいくつかあった。 クルマの利用について、見直さないといけないという意識はあるが、地域によってクルマ利用以外に他の手段がない場合もあり、一概にクルマ利用を控えるということは難しいと感じた。
113	1084	これを機に、クルマ以外の交通手段を考えたい。
114	1084	全体的に少し抽象的で分かりにくかった。
115	1084	自動車に対する依存度は各人により異なるので、なかなか統一的な対応は困難であろうが、各人ができる範囲の改善行動を試みていくしかないであろう。
116	1084	休日の行動パターンについて入力したが、平日と異なり、行動パターンは一定ではないはずで たまたま、私の場合、1回目のアンケートが遠距離移動が必要だった日であったため、2回目のアンケートの結果と比較して改善されたとの結果が出たが、もう少し回数を重ねるか、アンケートの質問事項を増やさないと、行動パターンの比較が難しいのではないかと思います。
117	1084	現在の日本の生活では、クルマはあって当たり前前の時代になってしまっています この認識を変えていかないとクルマの利用は減ることはないと思います
118	1084	ダイアリー調査の項目が答えにくい聞き方だったと思います。
119	1084	むしろ行動の提案が個人に対して出来ればよりよいと思う。
120	1084	交通手段について考えさせられるきっかけにはなるが、交通手段の変更にもつながるかという点難しい。 例えば、通勤について、通常クルマを利用している人に対して、住所を教えてください、可能な他の手段を提案し、実施日を決めそれがどれだけ実施できたかを把握し、参加事業所ごとの成績を発表するなどすれば、手段の変更につながるかもしれない。と考えます。
121	1084	今回のプログラムでは、取組中の行動を評価する内容がなかったのが残念である。
122	1084	都云々地方都市では公共交通機関の整備状況が違つ。地域の特性(住環境等)を踏まえたアンケート項目も必要と思う。
123	1084	移動に必要な要件は、日によって異なるため、期間ごとの取組状況の比較を、その時々での二酸化炭素排出量だけで行うことは必ずしも適切ではないと考えられます。同様な要件を設定した上での比較はできないでしょうか。
124	1084	公共交通機関として、電車でない列車、航空機、船舶の選択肢を設けるべき
125	1084	家族全員で外出する場合等、子どもの年齢が上がれば利用交通が変わるようになると思う。
126	1084	公共交通機関が発達していない地方都市の郊外業務の多い実態では、今回のチェック内容では、業務で工夫できる部分が少なかった。
127	1084	環境のやさしい使い方を考えるにはいい機会になった。こういった意識啓発が時々には必要だなと思う。
128	1084	実行することが大事。
129	1084	この取り組みを普及させていくことが地球環境の保護になると思いますのでこれからもよろしくお願いします。
130	1085	都市部と地方部では、公共交通機関の発達も違っており、全く公共交通機関のないところも多く、ケースバイケースでの車の使用はよくある。
131	1085	車を頻繁に使用することが、環境に良くないことは、認識を十分しており、アンケートの誘導的質問に賛同する答を書くことには、一応の理解ができるので、疑問はないが、実際問題となると、出来る限り公共交通を利用することにしたいが、地方では、バス交通等があまりにも不便で、相当、意思を強くもたなければ、公共交通を積極的に利用していくことにつながらない。意識だけでも多少の変化が見られればよいというのであれば、いいが。 環境に対する意識の高まりは全体としては分かるが、それが個人の生活上の不便さを我慢してまで、車を控えるには、何らかの相当な強引さや、車を控えることでの個人に与える具体的なメリットとなる何らかの施策がどうしても必要と考える。道路整備抑制や交通規制との連携、例えば、中心市街地への車の乗り入れ規制の住民合
132	1085	交通行動を考えるよいきっかけになった。より良い「車利用」について考えていきたい。
133	1085	公共交通機関が不便なところで、車を控えるのは難しい。
134	1085	交通の便の良いところ、悪いところで取組み方が相当違うと思います。
135	1085	自動車の使用を前提に街づくりがされていることを改めて感じました。

4.参加者コメント集
(オ)自由意見

sq.	事業所コード	自由意見
136	1085	田舎にすんでおり、車抜きの生活は考えられない。しかし、環境また自分自身のためできるだけ、徒歩、自転車の利用を心がけたい。
137	1085	なんとか車の利用を控えようとしたが、思い通り行かなかった。
138	1085	自分の気持ちが固まらず、そのつど脈絡の無い答えになってしまった。
139	1085	近所には自転車や徒歩で移動するように取り組む。車社会が環境に良くないという事をもっと宣伝する必要があると思う。
140	1085	この調査をどう活かしていくのかわからないが、強制的方法でしかないと思う。
141	1085	意義ある取り組みです
142	1085	自ら、可能な範囲で取組んで行きたい。
143	1085	良い取組みだと思う
144	1086	公共交通機関の本数が少ない地方においては、自動車を利用せざるを得ない面がある
145	1086	冬になり雪が降るとまた難しくなると感じます
146	1086	都心に住んでいるからこそ公共交通機関を利用することにしています。田舎の場所によってはバスやタクシーを利用する店舗が遠くのため車利用をせざるを得なく、バスを利用しても1時間以上に1本程度で、最終が20時前です。また、土日には本数も少ない状況です。時間的ゆとりがあれば、それも良いかも知れませんが、なかなか…。(言い訳かな?) 大型バスより小型バスをもっと走らせた方が良い。(雪が降れば大型が良いですが…。)
147	1086	今までの質問は、地下鉄等がある都心の人を想定されているのでしょうか。地下鉄も電車も無い(電車でなく自動車です)地域に住むものとしては、選択肢があまりに現実離れしていると感じました。 単線の自動車とバスの地域では車を使わずに生活することは非常に困難です。
148	1086	内容が公共交通機関の発達している都市を想定しているのではないかと。 地方では、公共交通機関が発達していない上、近所のコンビニも片道5kmという状態では、自動車の利用はやむを得ないと思う。 アンケートも都市部と地方で交通環境が違うことを考慮されるべきと思う。
149	1086	設問が大都市中心に考えられているようだ。 地方都市、農村地帯など、居住地域を考慮しないとイケないのではないかと。
150	1086	環境問題と自分自身の生活スタイルを考えなおす機会となった
151	1086	日々の車の利用を少しだけ控えるだけで環境への負荷が大幅に削減される。車の利用について考えるいいきっかけになったと思います。 これからはどのくらい実行できるかわかりませんが、少しずつ心がけていきたいと思います。
152	1086	わかっているけど、便利さに負けてしまう。 強い信念をもって、環境への取り組み推進を図ることに努力したい。
153	1086	都市部と違い交通機関の発達していないまた利用しがたい地域もあり、この取組の結果をもとに、住民の使いやすい交通網が整備される方向を示唆してほしい。
154	1086	プログラムすべてが大都市を中心とした設問となっている。公共交通機関の発達していない地方では、かえって自動車の必要性を確認させるだけのプログラムだと感じた。地方の実情にあったプログラムに修正する必要がある。
155	1086	自動車の普及に伴い、環境問題が副次的に起こった。 経済活動に伴う問題のうちの1つにしか過ぎないが、環境について言えば、調和の取れた発展をしていくために、利用者の心がけがほしいで、この調和は限りなく可能に近い。 自動車を利用することで、環境への負荷がどの程度あるか知ることが必要で、これを踏まえた利用実践を考える必要がある。
156	1086	・アンケートに回答するたびに、改めてあまりにもクルマに頼り過ぎていた生活を感じた。 ・最近、家族がどこかへ出かける際に、自転車やバスを選ぶなど、我が家も自然にCO2排出削減のための行動を始めている…ような気がしている。 ・ただ、土地柄これから冬に向かいクルマが手放せない季節になるのが残念である。
157	1086	自分の行動を数値的に評価され、自分に対して戒め的に考える部分があった。このような取り組みの幅を広げてはどうかと思った。
158	1086	車の使い方について、少し考えさせられました。
159	1086	アンケートのスキームが大都市～一定の規模の都市若しくはもしくはその近郊の住民を想定して作成されているため、多肢選択式の設問では、回答不能に近いが「その他」を選ばざるを得ないものが多かったように思う。 今後このような取組みをされる際には、居住地の環境の差に考慮していただけたらと思う。
160	1086	徒歩、自転車、公共交通機関の利用を考えさせるようにすることが重要。
161	1087	車と公共交通機関を比較することでどうしても車を選択せざるを得ない。他に、車以外の手段を考える意識は高まった。
162	1087	日常の交通手段を変更する事はなかなか難しいと感じました。 また、バスなど地方都市の公共交通機関を利用するには利便性を向上させる必要があると思います。
163	1087	公共交通機関が整備されている都市では、通勤等においても別の手段がすぐ出てくるが、不便なところでは、この取り組みは難しいと思う。現に、なかなか変えることはできなかったわけで、それなりの公共交通機関の整備を進めることがまず第一である。そうでないと取り組めない。
164	1087	今回の取り組み参加者には自分の行動を客観的に見直すことになり効果が考えられるが、この結果を他に効果的に生かしていく方法は?
165	1087	公共交通機関の利用便がもっとよくなれば、利用することが多くなると思うが、現在の状況だと利用しづらいので改善していただければと思います。
166	1087	今後の環境問題について考えるうえで貴重な経験となった

4.参加者コメント集
(オ)自由意見

sq.	事業所コード	自由意見
167	1087	大都市と異なり、公共交通機関があまり整備されていない地方においては自家用車等が大切な交通手段であり、その利用を控えるのはなかなか困難です。利用者一人一人の行動も必要ですが、地方の実情を考慮した公共交通機関の整備などの交通政策も必要であると思います。
168	1087	公共交通の普及に地域格差があることを考察に入れていただければ結構です。二酸化炭素の排出量の増加は全世界的に見ると中国の工業化を考えると増える方向で間違いのないと思います。ですので、今回の結果だけで車の利用だけを観点にせず森林を増やす等二酸化炭素の処理、炭素の循環サイクルを考えてみるべきではないでしょうか。蛇足ですが鳥取市ではプラスチックごみは圧縮して埋め立てています。これでは炭素の循環はありません。燃やして二酸化炭素にしてしまえば、木の呼吸で炭素の循環になるのにと考えています。ですが今回の取り組みを通して車の利用を考えると契機にはなりました。
169	1087	公共交通機関の少ない地方は、自動車にたよってしまい、気持ちはあっても実行することがむづかしい。
170	1087	鳥取のような場所では、自動車無しでは行動できない。
171	1087	地理的条件や個人によって、公共機関を利用できる状況が違うため、クルマの利用がどうしても不可欠なので、取り組み方に制限がある。そのため、CO2の排出量だけをとらえての調査では的確な状況把握ができないと思
172	1087	公共交通機関が発達すれば、車利用を控えると思うが、今現在は車を利用せざるを得ない。
173	1087	移動の手段は自家用車という概念が今までありました。しかし、バス等の公共交通機関を利用することで自分で運転するというわづらわしさから解放され、またそれがCO2削減につながりことを思うと家計と地球にやさしい行動ができ、今後も継続していきたいと思っています。
174	1087	実際鳥取のような公共交通機関が発達していないところでは自動車に頼らざるを得ないが、この取り組みを通じて自動車利用を控えようとの意識づけにはなった。
175	1087	公共交通機関が充実していないため、その利用について考えることは難しいが、出来るだけ自転車や徒歩などエネルギーを消費しない方法により移動するように心がけることとしたい。
176	1087	環境面からいうと、車の利用はなるべく控えたほうが良いとは思いますが、日々の生活をする上で車なしではとても生活できない。しかし、日頃から意識しないよりは意識することで、多少は良い方向に向かうのではないかとと思う。
177	1087	車利用の場合、都会では地下鉄が整備され時間的にも早く便利であり、利用が主であるが、ここ山陰の鳥取などは、公共交通機関はバスが主で、地域性ということも考えれば、自動車にたよらざるのが、実態である。
178	1087	私の所は、他の交通手段が便数の少ないバスしかない所であり、取り組む意志があっても現実では難しいと思います。ただ、環境問題を見つめ直すいい機会でした。
179	1087	車利用のない生活を考えていきたいが、実際にはとても困難だった。
180	1088	クルマの使い方を考えてみるきっかけになった。環境のため、健康のため、節約のため、クルマの使い方を考えてみようと思う。
181	1088	今回の取り組みにより、参加者には“かしこいクルマの使い方”について考える良いきっかけになったのではないのでしょうか。これが、参加者以外の者へ、そして、皆が実践に取り組むようになるまでには、個々人はもちろんのこと職場、何よりも社会全体の意識の高まりが必要であると考えます。
182	1088	工夫してクルマの利用を控えることが大切である。
183	1088	問題意識を持つために有意義であった。
184	1088	今後も、取組が進むように祈念しております。
185	1088	心がけ次第で少しずつでも削減に協力できることがわかったので、クルマの使用を減らしていきたい。
186	1088	地方の小都市に住む者にとっては、自動車の利用率はかなり高いものになりますが、仕方ないことだと思いま
187	1088	自分としては、自分の健康を重視して、行動したいと考えている。重い荷物がある時や雨の日、或は急いでいる時は、車を使うべきと考えている。
188	1088	車は、生活に不可欠であり、人や環境に優しい利用となるよう、調査結果が反映されることを期待する。
189	1088	きっかけづくりには良いと思う。
190	1088	田舎の公共交通機関が不便な地域では、実質的に、公共交通機関の利用は困難である。むしろ、燃費効率の良い車への転換が効果的な対策である。
191	1088	質問が都会向きで、田舎にはあっていない。質問も工夫されていない。
192	1088	自動車の使用がいかにかに多いか実感できた。
193	1089	意識付けとしては良い手法でした。全国一律で調査するには無理がありすぎる調査内容でした。
194	1089	自動車を使わない生活は不可能。
195	1089	何事も実践することが大事。国民全体での取り組みができるような仕組みを早く作ってほしい。
196	1089	実際にどれだけの取り組みができるのかわかりませんが、CO2削減の意識は高まると感じます。実現可能なものから取り組んでいくのが現実的だと思います。
197	1089	私の住んでいる地域で車の使用を控えるのは難しいが、意識を向上させるきっかけになった。
198	1089	システム上仕方がないのかも知れないが、主催者により指定されたパスワード等で個人を特定出来、誰が答えて誰が答えていないという指摘があり、本アンケートに対して、否定的な意見が聞かれた。複数回にわたるということもあり、なかなか協力を得るのは難しい面があった。個人的には環境面などでクルマ利用が及ぼす影響等を知るよい機会になったのではないと思う。

4.参加者コメント集
(オ)自由意見

sq.	事業所コード	自由意見
199	1089	このメニューを考えられている方が、かなり都会にお住まい又は勤務地が都心の方と思われますが、外出が「たまに買い物」程度に限定しない限り、田舎のものに車の利用を否定するのは難しいです。ちなみに「近くのコンビニ」は徒歩20分。子供と一緒に30分以上かかります。弁当を買いに行くだけで所要時間が1時間以上になり
200	1089	自分の自動車利用について考えることが出来たのでよかった。
201	1089	今後、実践出来ることは取り組みたい。
202	1090	これまでの自動車依存の生活を再度認識した。地域の実業やライフスタイルにあつた取り組みを可能な範囲で行いたい。
202	1090	趣旨は理解しているつもりですが、アンケート回答は、結構面倒臭かったですね。もっとシンプルな設問にしないといい加減な回答が多くなると思います。
203	1090	都市部で地方の公共交通機関の利便性に疑問は与えてこの環境問題を与えないといけない。地方では、車は必需品である。
204	1090	今回の取組みのように、自家用車の利用者に対して、環境に配慮して自家用車の使用を自粛するように呼び掛けるのは、行政のエゴである。スローガンを掲げるだけでは状況は好転しない。インフラの整備を全面的に行い、自家用車を使用する必要のないような社会を作るべきである。その上で、ユーザーに対して精神論での自家用車の自粛を呼び掛けるべきである。
205	1090	そのようなインフラを整備する熱意や費用が出せないのであれば、このような取り組みは意味がないので、止め
206	1090	地域柄、車の使用は必需。 ・身近にCO2削減に貢献できる自家用車の利用を控えることが、エコライフの実践と考えるが、公共交通機関の発達した都市部と地方では大きな乖離があります。 ・都市部は費用対効果もあってインフラの整備が十分に進められているが、地方にも将来構想を描き十分な配慮は必要と考えます。
207	1090	一人ではなく、家族ぐるみでの取組みの必要性を感じた。
208	1090	大変勉強になりました。 また環境に関して考える機会を持ちたいと思います。
209	1090	一時的に意識は変わっても継続するのが難しいと思う。 もっと図や挿絵写真などを使って、訴える方がインパクトがあると思う。 今回のような字の羅列だけでは心に響くものがない。 対象者に訴えよう、意識改革させようという、熱意は伝わって来ないので、アンケートを実施したという実績さえ残せれば良いのかなと思ってしまう。
210	1090	・質問の前提条件が都会に住み公共交通機関の利用がより容易な環境に住んでいる人を対象としているように感じた。地方のより不便な環境に住んでいる人に対してどのような手段や考え方が可能か提示して欲しい。 ・高齢化社会を迎える時代において、郊外型スーパーが定着している地方都市に住む者としては生活物資の購入等でクルマ無しでの生活は難しい状況にある。そういう社会において採用可能な方法を提示願いたい。
211	1090	「車があるのに」という考えが抜けません。 時間の節約という考えは、どこに行ったんですかね？ (バス、電車を乗り継げば一日かかることが、車では半日で可能です) 限られた時間で多くのことをやれることを無視して、車を使うことだけの善悪を論ずることは、多少ピントが外れていると思います。
212	1090	この地域での公共交通機関へのシフトは料金の高さや、便数の少なさできわめて困難です、いきおい安くて、早い車の利用が主流です。 その中で劇的に車の利用を減らすのはむづかしい状況で個人てきには燃費のよい車の利用がCO2削減には最も効果あるとおもいます。
213	1090	各人それぞれ地域差(都心、ローカル)がある。その温度差を同じ土俵で考えるのは無理があると思う。特に、ローカルについては自動車での移動は欠かせないと史料する。都心について重点的にこの取り組みをすればメリットは大きいと考える。
214	1090	大都市と地方では、もう少し調査の仕方、設問の書き方が違ってくるのではないのでしょうか。
215	1090	公共交通手段が、十分になく 使いにくい。
216	1090	他項目で回答済。 意見等の項目が多すぎるし質問内容がくどい。意見等は最後に集約して欲しい。
217	1090	交通網の発達を希望します。アンケートは都心のライフスタイルに思われます。私の地域では地下鉄等なく、取引先への交通手段は殆どクルマでしかいけません。
218	1091	車の利用に関して、あらためて見直すことが出来たので良かったと思う。
219	1091	地方と都会では、目的地に行く時の、徒歩距離に違いが大きい。 地方では、電車を降りて、2Km歩いて目的地に着く場所が沢山ある。こんなことを考えたらどうしても、自動車を使用したくなる。電車とバスの連携がうまくいく時間を考えてほしい。
220	1091	こういう活動は都会だけでやって欲しい。
221	1091	自分としては車使用に対して抑制意識が少し芽生えてきたが、全体から見れば小さなことに過ぎない。 根本は交通機関の整備を急ぐこと、そうしないと自動車使用に走ると思う。

4.参加者コメント集
(オ)自由意見

sq.	事業所コード	自由意見
222	1091	今回のないようにつき、賛否両論だと思います 1個人からとしては、共働きで幼児がいて…となると、なかなか実践しにくく、しかたない面もあるかと思ひます。 また地域事情で公共機関の利便性の問題もあろうかと思ひますが、考えるきっかけや、すこしでも意識して行動することが大事なのではと思ひます。 できることから無理をせず息の長い行動をしていきたいと思ひました
223	1091	良い取組ではあるが、地方の交通機関の運行状況を考えると車の使用を抑える事はかなり困難である。しかしながら、CO2削減・健康管理の面で、少しずつでも車の使用を抑えて行きたいと思ひます。
224	1091	質問事項等この周辺の環境を考えたものにして欲しい。
225	1091	このプログラムは、都市部用のプログラムで地方用ではないと思ひます。 「都市と地方では交通事情が異なるのに同じプログラムで調査すること」又「2回のサンプル」で有意性があるのかどうかと思ひます。
226	1091	やってみて思ひましたが、2回の調査では評価が難しいのではありませんか？しかし、自分の行動を見直せたといい点では、良かったと思ひています。場所的に車に乗らないというは無理ですが、なるべく環境にやさしい乗り方をしていけるよう努めて行きたいと思ひます。
227	1091	普段の足として自動車を主に使っているが、環境・健康からも、出来る範囲は自転車をうたいたい。
228	1091	実際に公共交通機関を利用してみる日を強制的に設定してみるのはどうでしょうか？
229	1091	このアンケートの統計結果及び意見を閲覧させていただければ幸いです。
230	1091	車の使用を抑えることも大切とは思ひますが、車を使用することがなくなることはありえないので、早急な電気自動車の普及も必要かと思ひます。また電気自動車購入の際には補助金制度があればよいかと思ひます。
231	1091	現状の公共交通機関の量・料金では車は控えられない。
232	1091	東京のように、交通機関(電車・バス・地下鉄など)が発達してるところなら、車を使わないで生活していけると思ひますが、山口県のように、1時間に1本しか電車が通らなかつたり、バス亭が近くになかつたり乗り継ぎが不便だつたら、今のまま車を使用するしかないと思ひます。(遠くに行く時は電車等を利用するが…)。 まず、みんながよりよい生活ができるためにも、交通機関を発達・充実させる必要があると思ひます。 人の意識は変わるとは思ひますが、実際に行動にうつすかというところ、そうはいかないと思ひます。
233	1091	昔は、お盆を過ぎるを朝夕はめっきり涼しくなつていましたが、このところ、10月になつてもまだ暑い日があります。人間がもっと考えて行動しなければいけないと思ひます。
234	1091	まず意識するということが大切だと思ひます。なかなか実践するのは難しいこともあるが自分でできることを見つけて実施していくことが大切だと思ひるので今回の取り組みに参加できて良かったと思ひます。
235	1092	公共交通機関の不便な地方での取組方法を考慮しないと絵に書いた餅でしかないと思ひます。
236	1092	車と生活スタイルは地方に行くほど、切つても切れない状況にあります。 例えば、今の公共機関のダイヤでは、会社の帰宅途中の何処かに行くところ、あくる日に帰るケースもあります。やはり公共機関の整備と自転車、電気自動車をもっと活用する取組があればと思ひました。あとは公共機関を使用するためには、時間に追われる生活スタイルのなかで、如何に時間の余裕が作れるかではないかと思ひます。
237	1092	交通の便が悪いところは取組みが難しいと思ひました。
238	1092	環境について考える良い機会となりました。
239	1092	このアンケートを利用し、何か具体的にされるのでしょうか？
240	1092	車を使用する機会を削減することが前提となつた質問内容であり現在生活している地域の公共交通機関のレベルにより取組む内容に違いがあつても良いと考える
241	1092	自動車通勤(約25年)してきた為今回の行動について も一度健康及び環境について勉強できたと思ひます。
242	1092	今回の取り組みにおいて、真剣に地球環境問題を考え、車をあまり使わないよう行動したいと思ひます。
243	1092	交通網の充実している都会、大都市、1時間に1度の公共交通機関があるかないかの対象を一律に調査、啓蒙することは、得るべき成果が期待できない取組みである。 市町村毎の単位で、調査、啓蒙を行い具体的な成果を得るべきです。 とは言うものの、地球環境の問題は切実な問題であり、机上の空論を実施に移したことに限っては一定の啓蒙効果があつたと思ひます。
244	1092	有意義な取組みであつた。
245	1092	交通手段の少ない田舎に住む我々に自家用車を使うなと言うなら、それなりの具体的な代案がないと話になりません。 ただ協力しろと言われても、無理です、無策すぎます。 役人の方、税金を投じてこの様なアンケートは即断中止願ひます。
246	1092	環境に真剣に取り組まれている姿勢に、敬意を表します。 アンケートは結構負担になりましたが、参加者の意識の高揚には大きな効果があつたと思ひます。 当工場もISO14001等で環境に大きな関心を持ち、いろいろなことを実施しています。また、来月より、宇部市ではバス利用モニター募集や、事業所送迎バスの計画もあり、そういう行政の取組みに企業・個人としてもできるだけの協力をしたいと思ひます。日本全国にこういう運動が根づくといいですね。マスコミを利用してアピールすると効果大と思ひます。
247	1093	自家用車を使わなくても良いような公共の交通機関の整備が必要なのでは… また、低公害車やハイブリッド車が普及しやすいような取組(補助金・優遇税制)の強化を考えてみては…
248	1093	都心には、いい取組みだとは思ひますが、田舎では交通機関等があまりにも不便すぎて、どうしても車にてよりがちになるので、低排ガス車の利用の有無なども、調査すべきではないでしょうか。

4.参加者コメント集
(オ)自由意見

sq.	事業所コード	自由意見
249	1093	アンケート項目数が予想外に多く、回答する以前に読みかたびれてしまいました。もう少し簡潔な質問項目にしてもらった方がよいと思います。 環境に対するコメントが具体的でなく、インパクトが少ない。
250	1093	環境問題を考える機会を与えていただき、ありがとうございました。 今後も、意識して、車を使いたいと思います。
251	1093	これから先環境のことを考えなければならないと思う。
252	1093	回答回数が多く疲れた
253	1093	アンケート当初、取り組みのねらいを良く把握しないで参加した部分があり、途中から意識しながら取り組んだため、ねらいどおりの結果が出たのか疑問を持っていたが、結果として少し協力できたようである。
254	1093	第2回のアンケートに回答できず、行動計画を立てられなかったのが残念です。
255	1094	「分かっちゃいるけどやめられない。」という人が多いのではないかと思います。意識や周囲の環境が変化していけば、CO2削減につながっていくと思いますので、今後の啓発にぜひ役立ててください。
256	1094	今回の調査結果が今後の自動車利用を控えることへの具体的な取組に結びつくことを願っています。
257	1094	車利用について、環境面、健康面からもよくないとは思いますが、その改善に向けるとなると利便性から非常に困難である。
258	1094	しかしながら、現代から次世代へ向け、少なくとも現環境の維持をはかる努力をすることは現代人(自分)に課せ 都会に行ったら交通網がとてもし便利(便、方法がたくさんある)なので車を使うことは考えられないです。田舎ではどうやったら環境にやさしい暮らしを実現できるか考えていきたいと思っています。
259	1094	行動プランを立ててから、あまり実践できる日がなく、結局実践できなかったが、今まで出かける際に何も考えず車に乗り込んでいたのが、他の交通手段で出かけることを少しだが考えることができるようになった。 実際、車以外の交通手段で行動できる場合は限られているが、環境の影響が最優先であることを考え、多少不便であっても車利用を控えていかなければ二酸化炭素の削減は達成できないと思った。
260	1094	真にCO2削減を目指すのなら、なぜ、地球規模で自動車製造関連産業ヘムスを入れたい、規則を違反した労働者の賃金にも直接影響があるようなシステムを作らないのか。金じゃなく人類のためと思うが。
261	1094	意識の啓発面において収穫があったと思う。ただ、職場が「環境部」という立場であったことが強い要因である。前回は書いたことであるがCO2削減の根本策は、それが可能となる環境整備(鉱油から脱する自動車開発と低価格化での購買力の強化。利便性の高い交通形態の構築など)と個人の意識改革による協力体制を改心することの並列による取り組みが必要と考えている。 これらのことは、理想論的であり具現化することが極めて困難であるが、各自動車製造会社もハイブリッド化と水素エンジンなどの実用化がなされつつあるなど、ハード面での取り組みは進んでおり、低価格化が出来れば普及が促進されると思っている。
262	1094	自身の自動車の利用を考える機会となった。
263	1094	今まで、自分の車の利用方法に疑問を持ったことがなく、むしろ必要なのだから、と開き直って利用していたところがありました。 必要なので、利用しなければいけないところはありますが、その利用の方法を真剣に考えさせられたプログラムでした。
264	1094	自分の生活がいかに車に頼ったものか自覚できた。 100%改善とはいえないと思うが、少しずつでも努力していきたい。
265	1094	車の利用を控えたいという気持ちはあるが、地理的な理由もあり、なかなか実践できませんが、今回の取り組みによって多くの人にそういう気持ちを喚起させることに繋がればよいと思います。
266	1094	公共交通機関が整っていないためにやむをえずマイカー通勤をしている人も多いと思います。 通勤時間の電車の本数の確保など、していただけたらと思います。
267	1094	理想を言えば、自動車使用を控えると言うことは大切な事だと思う。しかし、人によって、可能な人不可能な人がいる。自分はどちらかと言うと不可能な方だが、不可能な人は、このようなアンケートやノーマイカーデーなどを強要されると、自分自身に悪いイメージを持つと思う。人によっては悪いイメージを抱えた人は環境問題取り組みに興味がなくなると思う。「強要」や「あなたは実行できてません」はマイナスだと思います。全ての人にノーマイカー強要や実行率を出すのではなく、自分ができる他の環境問題取り組みを考える等の策を取ってほしい。
268	1094	これを契機に、皆さんが考え方を少しでも良い方向に変えていければいいと思います。 勤務時間の短縮、サマータイムの導入などが実際に施行されれば、車を利用しない通勤形態が十分可能になってくると思われます。
269	1094	交通事故も減ると思うので、国でそのようなことを本格的に検討されない限り、改善は難しいような気がします。あとは、各職場等でどのくらい強制力をもった徹底ができるかどうかだと思います。 ただ、日本経済は自動車が発展してきた以上、これに逆行する政策が果たして受け入れられるものかどうか、この点も大変難しいものと思われ、結論としては、ハイブリッドカー、電気自動車へのスムーズな移行、促進しが打つ手はないのではないのでしょうか。 最後に今後もこのようなアンケートをされるのであれば、各回の調査期間をもう少し長くにとってやったほうがよいと思います。 あまりにも短い期間の中では、人間の意識はそんなに変わるものではありません。 調査の合間合間で関連情報を絶えず流すなど日々意識させながら、最終的に結果はどうだったか、行動は変わったかという視点で分析していく方法がよりよいアンケート結果につながるものと思います。 いろいろと書きましたが、今回の調査が今後の政策等に役立つよう祈念いたしまして、私の意見とさせていただきます。お世話になりました。
270	1094	プログラムが大都市用になっているので、地方都市用に修正したものがあると良い。
271	1095	交通環境がみな違いますので、使用しないほうがよいのは、わかっています。

4.参加者コメント集
(オ)自由意見

sq.	事業所 コード	自由意見
272	1095	いい取り組みだと思います 田舎よりも公共交通機関が発達しているところでもっと取り組みをふやしたらと思う。田舎は自家用車しかないの
273	1095	車利用者全ての人にアンケートを採り、CO2排出について再確認させ、自意識の改善を促す取り組みをさらに強化すべきです。
274	1095	私の在住している場所は、田舎でもあり交通手段が町場みたいになく、地理的にも国道2号線があり危険で、どうしても車にたよらなければいけない面が多量にある。よって今回の取り組みにはむりな面があった。
275	1095	【質問1】の設問が分かりにくく、あまり良いと感じなかった。移動手段はそれぞれの「目的地」との位置関係・距離によって変わってくる。また交通網の整備状況で交通手段の選択肢も変わってくるので、それぞれのの実情で回答することにあまり意味を感じなかった。
276	1095	この取り組みをして、もうちょっと田舎の方も公共交通機関を増やしてほしいと思った。1時間に1本の電車やバス。乗り継ぎの時間が合わなくて1時間以上の乗り継ぎ待ち。わざわざ公共交通機関を利用して生活に支障をきたすぐらいなら自家用車を使用したほうがいい。
277	1095	真向の内容が自分に当てはまらず、回答に苦慮した。都市部と山間部での内容の違いがあってもいいのでは無いかと思う。
278	1095	この度の取り組みは、非常に参考になりました。これからも今回のことを活用し、極力自家用車等の利用を控えることが出来ればと思います。
279	1095	田舎にこのような取り組みをさせるのは無意味だ。環境が整っている都市部でのみ可能だ。
280	1095	車社会をみんなが考える良い機会だった。
281	1095	クルマの利用のあり方を考えるよい機会にはなったと思う。
282	1095	自家用車の利用について考えるいい機会だったと思う。
283	1095	歩くことが健康に良いこと 車の便利なことと排気ガスのこと 改めて勉強になりました。ありがとうございました。
284	1095	地域差があるなと思います。